滿洲日報
發行人・編輯人・印刷人　大連市東公園町卅一番地　株式會社滿洲日報社
定價　一ヶ月金一圓二十錢
廣告料　普通一行金一圓三十錢　特別一行金二圓六十錢

若槻首相參内して 闕下に辭表捧呈

きのふ午後五時卅分

【東京十一日發】若槻首相は安達内相の辭表提出に依り全閣僚の辭表出揃ひたる爲め宮中の御都合を奉伺した結果、午後五時半參内御學問所にて天皇陛下に拜謁仰せつけられ全閣僚の辭表を捧呈したが何分の沙汰ある迄職に止まり國務を見よとの有り難き御諚を賜り若槻首相は聖旨を奉戴して退下再び閣議に臨んで各閣僚に聖旨を傳達した

若槻内閣辭職理由

【東京十一日發】若槻首相の畏き邊りに捧呈したる辭職理由は左の如し

現内閣は外交、財政共に多難の秋に當り國務に努力し來つたが時局に當り閣内に意見の相違を來し爲めに閣内の不統一を來せり依つて責を負ふて骸骨を乞ひ奉る

西園寺公けふ參内 御下問に奉答

【東京十一日發】宮中における牧野内府、一木宮相、鈴木侍從長、河井皇后宮大夫協議の結果は時局重大なるに鑑み西園寺公を上京せしめ御下問あらせらるべき旨奉答したるを以て畏き邊りでは西園寺公に上京すべき旨勅命あらせられた、西園寺公は明日午後二時二十三分新橋驛着宮中に參内御下問に奉答する事となつた

【東京十一日發】西園寺公の入京は時局重大なるを物語るもので西園寺公は明日入京の上政情を見届け御下問に奉答すべきが、今日政友單獨内閣は無力なるを以て若槻、犬養兩氏の手による協力内閣を奏請するやも知れぬと觀らる

牧野内府參内し 御下問に奉答す

宮中重臣ら出仕協議

【東京十一日發】畏き邊りでは政變來の空氣に鑑み給ひ鎌倉に在る牧野内府に即刻出仕を命ぜられ十一時内府は參内した

【東京十一日發】政局急轉直下的に進展し一木宮相始め鈴木侍從長、奈良武官長、關屋次官等の宮中重臣は午前十時前後して出仕、牧野内府も午前十一時過ぎ參内し陛下に拜謁仰せつけられ種々御下問に奉答し内大臣府に入り三十分から一木宮相、鈴木侍從長等訪問し重要協議をなした模樣である

若槻内閣の 最後閣議

安達内相挨拶

【東京十一日】若槻第二次内閣最後の閣議は十一日午後三時五十分開會、安達内相の出席を待つて特に若槻首相より

閣僚諸氏の御承知の如き事情に依り現狀維持をもつては政務に當る事が出來ぬ事になつたに就き何卒御諒解を乞ふこれは自分の不徳の致すところで眞に申譯がない次第である

と極めて悲痛なる面色で全閣僚の諒解を求めたに對し安達内相は「皆樣に御迷惑をかけたことは重々御詫致します」と簡單な挨拶をなし、次いで内閣總辭職の理由書内容に就き種々協議打合せをなし若槻首相以下閣僚それ〲辭表を提出し午後五時二十分一旦休憩若槻首相は直に全閣僚の辭表を取纏めて宮中に參内辭表を捧呈骸骨を乞ひ御前を退下、再び閣議に出席右の次第を閣議に報告した

民政黨幹部會

【東京十一日發】民政黨は十一日午後七時半幹部會を開き

内閣は總辭職したが我黨は此の際一糸亂れず結束し時局に善處する

と申合せ、近く有志代議士會を開く事となり午後九時散會した

若槻内閣總辭職と 各方面有力者の意見

政變に關せず 廿日前後に出發

内田滿鐵總裁は語る

内田滿鐵總裁は十二日午後四時半出入記者團との會見において若槻内閣の總辭職決定の報に關し左の如き感想を洩らした

自分の手許にはまだ確報は來てゐないが、辭表の捧呈はほんとうにもう濟んだのかね、現下の政局が一黨で押切るがよいか、協力内閣で行かねば打開出來ぬものかどうかそれは自分には判らぬから言明出來ぬ、國際聯盟の方も漸く一段落となつたが大體日本側の主張が容れられて閉會となつたのは結構である、調查委員一行の來滿に際しては充分にありの儘の滿洲を正しく彼等に認識さすやうに注意しなければならぬ、上京期は最初の豫定通り政變などには關係なく廿日前後に出發したいと思つてゐるがまだ決定しない、社債その他今後必要に應じて事業資金を調達するかも知れぬが目下のところ差當つて增資を行ふやうな計畫は全然ない

貴院から一二名 連れ込み組閣か

宇垣朝鮮總督語る

【京城特電十一日發】内閣總辭職の報を齎して宇垣總督を問へば意外の面持で左の如く語つた

何れは斯うなるだらうと思つてゐたが案外に早かつた、輿論が強力なる内閣の出現を望んでゐる際だから矢張り擧國一致内閣といふことになるだらう、隨つて新内閣は何うしても貴院から一、二連れ込むことになるかも知れない、然し後の内閣が出來るまでには大分暴鬪つきはせぬかと思ふ

尚總督の乘り出し説について無遠慮に質して見たが笑つて答へなかつた

滿蒙問題に理解ある 内閣出現を望む

小川大連市長の話

大連市長小川順之助氏は語る

後繼内閣の大命は犬養政友會總裁に降下するか或ひは何人に降下するか豫測を許さないが直接影響の大なるのは經濟界であらう、金の輸出再禁止なども叫ばれやうし金に對する銀の關係や弗の關係なども大分變つて參りませう、そして對滿蒙政策にも相當押し強い内閣、強い外交の出來る内閣が出來るであらう、今滿洲には新政權樹立問題なども起つてゐるが私はこの新政權の樹立が從來張學良が有してゐた南京政府に對する關係の如きものでなく新國家新獨立國として認められるものとしたいのである、而して新獨立國は東北四省の蒼生を基礎とし治安の維持は日本に於て引き受け日本は從來の如く南京政府を相手に條約が何うの權益が何うのと交渉せず建設された新國家を相手として種々の條約を締結し以つて日支共存共榮のため兩國民は何國人の制肘をも受けないで居住出來る所謂一大樂園としたい考へであるから今回の政變によつて出來る内閣も私から云ふ迄もなくこの滿蒙問題に對し理解あり相當强硬であつて慾しいと希望する次第である

勿論財界に 大影響

楊井正隆專務談

いま現内閣が變るといふことは無論財界に大影響があります、併し財界の變動に就いては勿論金輸出再禁止するや否やにあるのですが後繼内閣が決らない以上それが判らないし又假令決つたところ果して在野時代に唱へてゐた金輸出再禁止を直に實行するかどうかは從來の例から云つても明言出來ない、だからそれがはつきりするまで如何に財界に對する影響があるかも今直ぐに云へないことでせう

金輸出禁止は 覺悟を要す

鄉男は語る

【東京十一日發】鄉男は語る

政局の變動は財界に打擊を與へ寒心に堪へぬ、若槻内閣が總辭職すれば内閣は當然政友會が組織する譯だが易々と政權も政友會には行くまいと思はれる事情がある樣に聞いてゐる、一度び政變となれば金輸再禁止が行はれるものと覺悟しなければならぬその時對外爲替は三割位は下るだらうから再禁止の場合平價に引上げる事は至難で結局平價切下げが行はれる事態にたち至るものと思はねばならぬ

諸株益々昂騰

【東京十一日發】當地株式市場前場引には利喰ひも一服となつたが午後に至り政變の愈々動かす可からざる事が傳へらるゝや利喰ひ一巡と共に再度猛烈となり長期市場諸株は一齊に一、三圓より四、六圓高となり短期諸株も各續騰したが、殊に新東は三十四圓八十錢まであがり四圓七十錢に引け、鐘紡は高値七十八圓五十錢、引け七圓七十錢、新鐘七十五圓ドタ、四圓四十錢と引けた

軍隊慰問の 塚本關東長官

きのふ奉天で語る

沿線軍隊慰問のため塚本關東長官は室田秘書官、磯海警部等を帶同し十一日十五時半着急行にて着奉、驛頭には立川奉天署長、藤田商議會頭、岡田地方課長、木部奉天郵便局長、軍部側代表その他官民多數出迎へあり、直に吹雪の中を自動車で軍司令部に本庄軍司令官を訪問し挨拶を述べヤマトホテルに投宿した塚本長官はホテルで語る

自分の用向は沿線軍隊の慰問のためで十二日は衛戍病院奉天分院に傷病兵を見舞ひ、同朝遼陽に赴き多門師團長を訪問し更に同地の衛戍病院の傷病兵を見舞ひ同日歸奉、十三日は公主嶺に森守備隊司令官を訪問する事になつてゐる、今回關東廳では漸く二百名の警官を增員する事になつた、しかしまだ〱充分だとは云へないがこれで幾分でも警備の補充が出來るわけである、時局に際しこれまで不足な警備で管内各員とも不眠不休軍隊と同樣警備の重大任務に當り責務を全うしてゐるのを見て非常に感激してゐる次第である、またこの手不足な警備ながらも管内各員の獻身的努力と軍隊在鄉軍人と協力して警備に當つてゐる賜である、滿洲における警察官にせよ在鄉軍人にせよ秩序整然として規則正しくよくその使命を果してゐる事は内地のそれの比ではないと確信してゐる、一方かく努力してゐる警察官に對し各地各方面から多大の同情を受け慰問狀や慰問品等數限りなく送られてゐるその厚意には自分も心から感謝してゐる次第だ、關東廳も赤字補塡のため行政整理が行はれるがそれもやむを得ない事で何時實施されるかまだ確定してゐない【奉天電話】

民政黨總裁を 若槻男辭せず

【東京十一日發】若槻首相は桂冠後民政黨總裁を辭すべしとの說あるに對し川崎翰長を通じて依然民政黨總裁の位置を去るものに非ずと聲明した

與黨總務會

【東京十一日發】内閣總辭職に先だち與黨は十一日午後二時半本部に引續き總務會を開き山道、富田賴母木氏より政局に就き報告あり協力内閣に就き贊否兩論に分れ協議の結果左の申合せをなした

申合

政界は極めて重大時機に臨んでゐるから我黨は一致結束之に善處する

斯くて午後三時半休憩、この間賴母木氏は若槻首相を訪ひ幹事會の經過報告の上首相の意向を徵する處あつた、更に午後八時幹部會を開き總辭職に對する善後策に就き協議する筈

黨總裁として ますく奮勵

民政黨員に對する

若槻總裁の聲明

【東京十一日發】若槻總裁は左の如き聲明をその黨員に發表した

黨員諸君に告ぐ、内外重大の時局に際し余は鋭意之が打開に努力し以て事難匡救の重責に任じ來りたるも今や骸骨を乞ひ奉るの已むなきに至れるを遺憾とす然れども一意奉公の至誠に至りては些も代る處なし、即ち余は黨總裁として今後益々奮鬪以て君國の爲めに盡さん事を期す、黨員諸君に於ても一致結束此の時局に善處せられん事を切望に堪へず

民政黨有志 代議士會

【東京十一日發】民政黨は現内閣總辭職前に今後の歸趨の見越しがつかず十一日午前十時本部に有志代議士會を開き有志代議士六十餘名出席、岡崎久次郎氏を座長に推し討議の結果結局左の如き決議をなし午後の總務會に進言するに決し十一時二十分散會した

決議

既定方針に基き與黨一致結束を固くし時局に善處すべし

各省政務官 申合せを提出

【東京十一日發】各省の政務官は十一日午前九時より政務官會議を開き政局に鑑み左の申合を爲し直に若槻首相並に黨幹部に提出した

申合せ

政黨政治の本義を破壞する小才の陰謀を排斥黨の結束に關し首相若槻總裁指導のもとに立憲的に善處せられん事を期す

與黨分裂の 不祥事

發生を憂慮

【東京十一日發】與黨内は協力内閣贊成と現狀維持の二派に分れてゐるが首腦部中富田顧問、賴母木總務、山道幹事長、中野正剛氏其の他總務多數は安達内相を支持して協力内閣贊成なるため有志代議士會の現狀維持贊成決議も何等核心なく大勢は既に内閣總辭職の已むなきを認めたゞ與黨の分裂の如き不祥事を避けんと苦心してゐるこの空氣は別項有志代議士會でも否決はされたが富田幸次郎氏除名動議が提出された程である

時局重大なる折から 事茲に到れるは遺憾

若槻首相聲明書發表

【東京十一日發】若槻首相は十一日午後九時總辭職に際し閣議を經て左の聲明書を發表した

曩に大命を拜して内閣を組織するや濱口内閣の政策を踏襲し國家の難局に直面し鋭意これが打開に務め内に在りては行、財、税の整理を斷行し財界の基礎を鞏固にし、外に在りては滿洲事變の對策及び聯盟の關係に深甚の注意を拂ひ幸にその經過は有利なる展開を見、内閣及び與黨一致結束して近く第六十議會に臨む準備成らんとする秋に當り、たま〱安達内相は内閣の機構に關し異なりたる意見を樹てよろしく他の政黨と協力し新に内閣を組織し以て時局を匡濟すべしと主張せり、余は熟考の末民政黨を基礎とせる現閣がその主義、政策を異にする反對黨と聯立協力して新内閣を組織せんとする如きは言容易なりと雖も現下の政情に於てこれが實現は殆んど不可能の狀態にあることを看取しこれを閣僚に圖りたるに右見解は安達内相を除くほか閣僚全部が同意したるところなり、依つて安達内相に對し詳さに條理を盡し贊成を求めたるもこれに應ぜざるを以て已むを得ずその辭職を求めたるにまた拒絶するところとなりたるを以て現閣はこゝに現狀の儘國務を遂行すること能はざる難關に逢着するに至れり、よつて余は直に臨時閣議を招集し閣僚の意見を聽取し辭表を取り纏めこれを闕下に捧呈し骸骨を乞ひ奉れり、今や國步艱難にして時局極めて重大なる折柄事こゝに到れるは余の深く遺憾とするところなり

蔣介石氏の下野說 後任主席には汪精衞氏

【南京十日發】蔣介石氏は四圍の事情不利なるを察し二、三日中に下野を聲明するとの說あり、下野通電起草中といはれるがこのため政府部内俄に動搖の兆あり國民政府主席の後任は汪精衞氏が擧げらるべしとの說が高い

蔣氏下野せずば 執監會議不出席

廣東側の意見一致

【上海十日發】廣東派の孫科、伍朝樞、陳友仁、李文範氏等の一行は午後一時半プレジデント、クーリッヂ號で到着、午後四時より孫科氏邸に右四氏並に汪精衞、鄒魯氏ら參集、南京派を交へず會議の結果、蔣介石氏が下野を實行せぬ中は斷じて南京に開かれる新執行委員に依る第一次執監全體會議には出席せずといふに意見一致した旨發表した

廣東三代表 陳銘樞氏と會見

【上海十一日發】廣東代表孫科、陳友仁、李文範三氏は十一日午後二時クーリッヂ號で來滬午後五時から孫科宅で南京代表陳銘樞氏と會見した

川崎翰長以下 辭表提出

【東京十一日發】内閣總辭職に伴ひ川崎翰長、齋藤法制局長官始め各省政務次官、同參與官及び岡警保局長、高橋警視總監及び各大臣秘書官はそれ〲所管大臣の手許に辭表を提出した

拓省廢止中止か

【東京十一日發】拓務省は新内閣となれば存置されることゝなるべく、同省三百名の官吏は若槻内閣總辭職の形勢にほつと安堵の胸を撫でゝゐる

金輸出禁止 準備を整ふ

萬一を慮り

【東京十一日發】井上藏相は政局の危機と共に切迫せる金輸出再禁止問題を憂慮し十一日午前九時半江木氏を訪ひたる後藏相官邸に入り荒井文書課長を招いて財界の推移を聽取し萬一の場合金の再禁止の大藏省令を公布し得る事務上の手續き取調を命じた、而して井上藏相は十一時前の市場は不安人氣に包まれ爲替は取引一切杜絶の狀態で圓賣り弗買ひも行はれずまた急速に再禁止を必要とする程の危機に迫つてないと見て居り閣議席上最惡の場合の手筈は整つてゐるが目下正金には一切爲替を賣らしめず且つ年末金融繁忙の際巨額の正貨現送を行ふ資力を有する者はないから總辭職するとしても今明日中に再禁止をなす必要はないと閣僚諒解を求め金再禁止問題は靜觀するに決した模樣である

幣原外相參内 聯盟の經過奏上

【東京十一日發】幣原外相は十一日午後二時四十分宮中に參内、國際聯盟理事會が日支紛爭問題に關する決議を爲した經過を奏上した

張學良の別働隊 犇々と滿鐵線に接近

その數五千名を算す

張學良別働隊の滿鐵線附近の來襲漸次猛烈を加へ十日午後新城子驛西方二里の達連屯に多數現はれ、また石佛寺西南方三里の張馬天臺附近に六百五十名その他五六ケ所合せて五六千名に及び漸次滿鐵線に接近しつゝあり【奉天電話】

錦州方面へ軍需品 盛に輸送して對日示威

【天津特電十日發】北寧鐵路は昨今風雲急を告げ張學良は連日錦州方面に武器彈藥を輸送八日來鐵甲車二輛に食糧其他軍需品を盛んに輸送し對日示威を行つてゐる

外國武官を 支那側瞞着

錦州より歸來せるもの、談によれば東北軍步兵第二十旅は先月末より本月四五日頃にかけ溝帮子以東にあり、その有力なる一部隊は法庫門迄到着してゐるが、北平方面より外國武官の現場視察團錦州に到着の當時優勢なる兵を新民屯附近に留め置くは對外的に不利なるにかんがみ錦州方面に引揚げを命じたと、この爲鐵道沿線のものは四五日頃より撤退せるも僻遠の地にあるものは依然現狀のまゝ駐屯してゐる、七日には奉天より數名の外國武官錦州に向ひ東北軍の兵力並にその配備狀態を調査せるところ支那側は遼河方面の第二十旅の撤退を實證するとて武官のその地に到る前にそれぞれ他處に兵を移し一行を瞞着するに努めた【奉天電話】

丁超、作相系の 軍隊に兵變

ハルビン來電に依れば

一、ハルビン西方滿溝驛に在る丁超の護路軍第六八〇團第二營は丁超が密かに張學良、張作相と聯絡し何事か畫策しつゝあるに憤慨し八日朝兵變を起し六十名は逃亡した

二、吉林省長官熙洽氏は彼は彼に服從せざる李振聲、丁超、張作舟等に對し省民の苦惱並びに大局を洞察し速かに和平統一を圖られたしと打電し、若し之を容れざる時は相當の決意あるべきことを附言した、而して熙洽氏は着々實力の養成に努めつゝある

三、濱縣に在る張作相系吉林政府は漸次動搖を來し政府要人の意見一致せず、張作舟の第二十五旅第一連は兵變を起し連長引率して逃走した、また主席代理李振聲も張作相に對し不平の嘆聲を漏らしてゐると【奉天電話】

學良軍康平で 戰鬪準備

學良の第二十旅第一團は康平に來りわが軍に對し着々戰鬪の準備を進めてゐる【奉天電話】

張景惠氏愈よ 乘り出さん

一週間内にチチハルへ

【松浦鎭十一日發】黑龍江省の時局收拾に關する張景惠、馬占山の關係は本日呼海鐵道沿線松浦鎭に於ける呼海鐵道總局に於て極めて緊張裡に行はれ、兩巨頭は長時間に亘る懇談の結果双方の誤解も解消し意見一致し會談を終つて別室に於て和氣靄々裡に午餐を共にして固き握手を交して別れた、右會見の結果馬占山は近く張景惠を黑龍江省政府主席代理に推戴する旨通電を全國に發する事となつた、斯くて北滿の疑雲も一掃され張景惠は一週間以内に愈々齊々哈爾に乘り出す事となり馬占山も軍隊整頓の上多少遲れ齊々哈爾に入城する筈

北平爆彈事件

【北平十一日發】海軍武官室爆彈事件に關し矢野參事官は張學良に嚴重回答を督促した

王一民對日 戰鬪を決意

【天津特電十一日發】錦州方面緊張したるに對し天津公安局長王一民は部下に對し日本租界の占領は三時間にて大丈夫、その後これを特別第四區とする考へだと豪語し對日戰鬪の決意を示した

社說 中央政局の重大化 對外方針は變らず

東京に於ける政界は俄然險惡の色を呈し來つた。過日來度々噂に上つた謂はゆる協力內閣說は、一時現內閣の申合せで沙汰止みとなつたが、一昨日來此說が再び擡頭し、中央の政界は、爲めに時ならぬ風雲を捲き起すに至つた。或は本日の新聞が讀者の手に配達する頃には、若槻內閣が既に總辭職を決行してゐるかも知れぬ。時節柄頗る遺憾の至りである。

◇

いふまでもなく現內閣は、衆議院に於て絕對過半數を占めてゐる。貴族院の形勢は未詳ではあるが、必しも最近大に惡化の樣にも見えぬ。況んや去る九月に行はれたる府縣會議員改選の結果は、與黨の大勝に歸し、國民の大多數は依然現內閣を信任するかに見える。從つて表面から云へば現內閣の基礎は頗る鞏固であるべきだ。然るにも拘らず現內閣の大黑柱たる安達內相が、突如として內閣の改造を主張する。これは何故であるか。

唯今まで吾人の讀取つたる通信にては、安達內相が今日內閣改造の必要を强調する理由が判りせぬ。之に反して政變を不可とする井上藏相の理由の方が寧ろ明瞭である。井上藏相の「時局多端の際、特に議會を控へての政變は不可である、宜しく一致結束して邁進すべきである」といへる方、寧ろ合理的の樣に聞える。されど政界には何れの場合でも底に又底あり、表面に現はれぬところに政治家の大なる苦心の存するものであるが、今回も夫れ相應に困難の潜在することゝ思ふ。

◇

今や我國は對外的に、或は未曾有ではないかも知れざれども少くとも稀有の難局に直面してゐる。されど國際聯盟に於ける我國の風向きは、最近大に良化してゐる。現に一昨日の公開理事會で全會一致可決せられた決議案は、大に我國の主張を容れたものである。而して滿洲に於ける我陸軍の行動は、殆んど無人の境を行くが如くである。而して國民は實に擧國一致して軍部の後援をしてゐる。故に吾人は時局多端の折柄とはいへ、對外的には左程憂慮するに足らぬ。現內閣の苦惱するところは、多分財政經濟に關してであらう。

◇

本紙のこれまで屢報せし如く本年度の歲計豫算は、意外の歲入不足を示した。來年度の豫想に至つては更に甚しきものがある。之れが爲め現內閣は誠に大に行政財政の整理に努力したれども、全部其の赤字を補塡する能はず、終に六千五百萬圓の公債と四千萬圓の新稅を計上するの已むなきに至つた。是れ實に現內閣の財政經濟上に於ける甚しき難局を物語るものである。新稅は啻に之を徵收せざるのみならず、寧ろ惡稅廢止と、負擔輕減が、民政黨內閣の生命であつた。非募債主義も亦現內閣の傳統的政策である。然るに昨年來の甚しき不況は、現內閣をして此重要なる政策を二つとも抛棄せざるを得ざらしめた。のみならず、金輸出禁止に於ても現內閣は甚しき苦境に立たざるを得なくなつた。一昨年濱口內閣が金の輸出解禁を斷行するや、今の井上藏相は之が爲めに左程多くの正貨は流出せざるものと斷定した。然るに其後假令豫想外の事件が續發したとはいへ、我が所有の正貨は約半減するに至つた。これが爲め我經濟界は今や全く行詰るに至つた。かくて現內閣は財政經濟の上に於て甚しき難局に立つに至つた。これが果して今回の政局重大化の眞因か否かは知らざれども、現內閣が此點に於て非常な難局に立つたことは掩ふ可らざる事實である。

◇

安達內相は時局多端の爲め、擧國一致內閣を組織すべしと主張す。之が果して注文通り實現するや否やは、固より未定なれども、若し其の希望通り行くものとすれば、今日より更に一層有力なる內閣が組織せらるゝ譯である。假令この目的が外れて現內閣が爲めに崩壞することありとするも、其後に來る內閣は時局に對しては、依然强硬なる政策を繼承するの外あるまじ。何となれば是れ以外の方針は、目下の大勢に於て、國民が承知せざればなり。何れにしても中央政界の異動如何に拘らず、我對外政策は毫も變動あるべからず。此點は吾人の大に安心し、且つ樂觀するところである。

アメリカ政府の銀會議招集を力說 上院でピットマン氏

【ワシントン十日發】上院外交委員會銀專門委員會長ピットマン氏は銀問題に對する上院の注意を喚起するため本日アメリカの對外貿易減退を示す統計を引用し、政府がこれに對し何ら對策を講じ得なかつた事を非難した、氏曰く

斯くアメリカの對外貿易が激減したのは從來アメリカより物資を購入してゐた

諸國の 爲替相場が下つたからである、アメリカのこの立場はイギリスの金本位停止により更に一段と著しくなつた、我々は最早輸出市場に於てイギリスと競爭する事が出來なくなつてゐる、イギリスは國際會議に對してアメリカの如く興味を有してゐない、これはイギリスが外國市場において爲替の上で三割方有利な立場に立つてゐるからである、然しアメリカ政府としては銀會議を招集し世界各國をこれに招待する義務がある、さうすればイギリスもまた出席するであらう、若し我々が他の諸外國と

貿易を 續けんと欲するならば我々はイギリスの如く金本位の水準を低下せしむるか或は他の國の爲替を昂騰せしむるやうな方策を講じなければならぬ而して若し他の諸國が銀貨の品位低下又は鑄潰し等を中止するならば銀貨は需要供給の原則に依つて必ず正常なる地位に復する事とならう

又上院議員シップステット氏は次の如く述べた

この儘で行けばフランスとアメリカ丈が金本位國として殘され他の諸國は總て銀で取引を行ふ樣になるだらう又各國は巨額の戰債をこの不足せる金を以つて支拂ふ事は不可能である

更にフロリダ洲選出議員フレッチャー氏は

世界にある金の量は限られてゐる然し通貨としての銀の使用を增加せんとすれば何等かの國際協定を結ばぬ限り金本位が危ふくされる事となりはせぬか

との質問を出したが、これに對しピットマン氏は銀問題を研究せずしては世界貿易の問題を解決する事は出來ないと述べた

獨大統領選擧

【ベルリン十日發】次期ドイツ大統領選擧は來年三月十三日を以て執行する事並に其際ドイツ憲法の規定せる絕對多數を獲得するものなき時は更に同四月十日を以て再選擧を施行すべき旨本日發表された

市立商工學校改革主査會議

大連市立商工學校の改革問題に關する市の主査會議は十一日午後二時から市役所助役室に於て開かれた、同案に就いて石井係員の說明あり、審議の結果大體に於て乙種商業學校三年修了の改革原案に同意し同三時三十分閉會したが、近く學務委員會の諮問に附し更に同意を得ば參事會に附議し市會へ提案される筈である

居留民大會から滿洲代表等歸る 一致の結晶を土產に

在支邦人は一つに結束して……このスローガンのもとに上海において去る六日開催された在支日本人居留民大會に滿洲より出席した時局後援會代表小澤太兵衞氏、滿洲青年聯盟代表小山貞一氏、在鄕軍人代表西川荒太郎氏、滿鐵社員會代表粟屋秀夫氏等は打連れて十一日入港

大連丸 にて歸滿したが、同大會は四十五團體、遠くは汕頭、宜昌、重慶、長沙、蕪湖、溫洲をはじめ全滿各地より參集したもので會場たる上海老耙子路中部日本小學校は曾てない日本人的な感激の渦を卷き既報の如き聲明書を中外に發表し五項に亙る決議をなし大成功を收めたが、歸滿した一行を代表し小山貞一氏はサロンで大要次の如く語る

大會は六日に開かれたが非常な盛會であつた、殊に滿洲からは時局後援會の小澤氏が先發して居られたので非常に都合がよく滿鐵社員會の粟屋課長、在鄕軍人會同志會の西川大佐夫々その道の

消息通 が集つてゐた事とて大いに面目が立つた、大會の空氣としてうれしい事が二つあつた、滿洲事件を單なる滿鐵の問題とせずに現國民政府の對日侮蔑橫暴政策が北には今日の事件を起し南には經濟絕交を激成したとの認識を持つに至つた事と、大會は眞に全支日本人一致の結晶であつてローカルカラーが少しも無かつた事の二つである、これは政府に對しても外國に對しても心强い現象であると思ふ併し長江筋の人の認識の程度には自ら段があるそれは環境が違ふ故であらう、それは仕方ないと思ふが我々の論議により或程度の諒解を得た、それに意外だつたのは

大會の 空氣が何となく重光公使不信任に向つた事で群衆心理とは案外正直なものである蔣介石氏の下野、廣東派の連中が今日邊り上海に着く筈だが何とも情報が入つてゐないかれ何でも中立地帶は英佛米の共同管理に附し更に天津租界を列强の管理に附し以て北支と滿洲との間に列國の共同管理地帶を造つて日本の鋭鋒を避けんとした學良の魂膽が廣東派から素ッ破拔かれて顧維鈞は困つてゐる樣だ、報告會は十二日に開く氣だ

【寫眞は居留民大會の記念撮影】

戰債委員會の復活を提案 ―米大統領の批准勸告教書

【ワシントン十日發】フーヴァー大統領は本年六月ドイツ財政救濟に關し各國政府間の債務支拂猶豫を實施したが、本日これが批准案を上院に提出、批准勸告の教書を送つたが、教書中に於いて世界不況依然猛烈で現下の情勢に徵し更に戰債賠償金支拂ひに就き一定的取極めの必要に迫られてゐる事をほのめかし、兩院に對し戰債の一時的調整を施すべき事を求め戰債委員會の復活を提案してゐる教書は倘日支紛爭初め外交問題常設裁判所加入に言及し更に軍備制限の要を說き次いで佛ラヴァール伊太利グランヂ兩氏の訪問に及び兩氏との會談の結果刻下の國際的時局問題は極めて有意義なる効果を齎したと述べてゐる

聯盟決議案可決で 米國務長官聲明書發表

【ワシントン十日發】スチムソン氏は聯盟理事會の決議案可決一段落を告げた事に對し十日左の如きステートメントを發表した

今回支那調査委員が設置せられた事は複雜多岐を極める問題に最終的公平な解決を與ふる上に極めて重要な建設的意義を有する事は疑ひを容れぬ處なり、支那、日本が同意した調停方法は紛爭を時の經過に依つて緩和し得べき最もモダーンな方法である、然し最終解決は日支兩國間の協定に基き適當な方法に依つて完成されねばならぬ、その解決方法はアメリカの加盟せる條約に違反せず世界平和を危機に瀕せしむる惧れなく武力壓迫の結果を招く事なき方法に依らしむる事に關心を有す

十一月中の對支貿易 =大藏省發表=

【東京十一日發】十一月中對支貿易額左の如し(單位千圓)

	輸出	輸入
滿蒙	八〇六	四、二一五
北部	一、七〇二	三、九六〇
中部	二、二四三	二、三八九
南部	二三	三五二
計	四、七七〇	一〇、九一六
關東州	四、七一六	五、〇八五
香港	九三〇	六四
合計	一〇、四二五	一六、〇六五
差引入超		五、六四〇

これによれば前年同期に比して三分の一方輸出が減少した

伊藤氏奔走

【パリー十日發】伊藤述史氏は匪賊討伐權に關する日本代表の留保宣言に對し他の理事が反對聲明をしないやう今朝來各理事國代表を訪問大いに奔走したがスペイン、ノールウエー代表は共に良く日本の立場を諒解してゐた趣きである

調査委員詮衡に着手

【パリ十日發】起草委員會は直に顏觸れ決定に着手したが支那調査委員には今の處イタリーのシャゲル(前公使)氏一人決定してゐる

米委員候補 デヴィス氏有力

【パリ十日發】前米國陸軍長官にして近く比島總督の地位を去るべきドワイト、デヴィス氏がアメリカ側調査委員として呼聲が高い

熱して冷めぬやう 高木生

◇由來日本人は熱し易いがといはれてゐる、滿洲事變突發以來既に三閱月、敢て長しとはいはないが、國民の熱誠は日

英勞働黨提出の不信任案を否決 チエンバレン藏相雄辯を揮ふ

【ロンドン十一日發】ボンド下落に關連し勞働黨の提出せる政府不信任案討議中、藏相チエンバレン氏は左の通り雄辯を揮ひ大喝采を博した

イギリスは依然世界に於ける最大の債權國である故に世界の形勢が安定したならボンドは國際金融界の主要なる標準貨となるであらう、一方イギリスの豫算が本年大々的不足を示すべしとの一般の懸念に對しては何等根據がない、來年度に對しては尚更の事である、政府は本年度の收入に依り總ての支出を賄ひ得ると信ずる、同時に債務償還についても多額を振り當て得ると信ずる

かくて不信任案は採決の結果四十四對四百三十九票の壓倒的大多數を以て否決された

なつた【奉天電話】

上海で戒嚴令

【上海十一日發】本日は廣東暴動四週年記念に當るので當地警備司令部は朝來戒嚴令を布き反動派共產分子の策動に備へてゐる

兩女史赴奉

十一日に來連した久布白、林兩女史は豫定を早めて十三日夜赴奉するので十四日の豫定であつた聖會の講演は中止すると

昭和六年度歲出入現計

【東京十一日發】大藏省發表昭和六年度歲出入現計(九月現在、千圓單位)

歲入	四三三、八三七
歲出	四八七、一六八

なほ國庫金やり繰窮屈のため臨時部歲入に於て[illegible]處置法納付金償還金、賠償金繰入れ並に三千九百萬圓の剩餘金繰入れを繰上げ斷行し計六千七十二萬圓の增加を計つてゐる

大觀小觀

第一線に立つ滿鐵社員(4) 食事は一日一回 お漬物は贅澤品 大興戰當時の思出

七日 鄭家屯にて 五百旗頭佐一

七日午前六時半毛布の中からモックリ頭を持上げるともう三四人が起きてゐる、ストーブの火が消えた合宿の中は極端に冷々とする早起のものがストーブの火を燃やす、バタ〳〵と皆が起きる、毛布が綺麗に積重ねられる不文律の內に氣持良く統制のとれた合宿生活だ、七時半朝食、以下少し飯の話を書く

◇

仕事が一段落となつた今ではこの鄭家屯合宿所も廿人足らずの宿泊人ではあるが、戰時氣分橫溢した忙しいころは五十人以上の人が泊つた、三十疊に五十人全く芋の子を洗ふやうであつたとは尤もな話だ、でその當然の結果として襲つてくるものは毛布と寢具の不足である、一日中で一番寒い明方になるとストーブの火はすつかり消え寒い蒙古風が窓の隙から遠慮なく吹込んでくる、しかも毛布の配給が充分でないためその頃になると無意識のうちに毛布の爭奪戰が起る「オ、寒い!」と思つて氣がつくとお隣さんが毛布を鷲摑みにグーグー熟睡をやつてゐる、取つたり取られたり到頭朝まで完全に熟睡がされなかつたなんてことは合宿員の誰もが幾度か經驗した苦鬪?であつた

◇

「その頃だよ、飯の度每に臨いだのはまあ一杯目はどうやら有りつけるとしても二杯目になれば大騷ぎさ、おかげで飯の早食ひだけは大いに修養を積んだね、砂の交つた飯を本當に美味しく食つたのはその頃だよ」と一人は語つた、この時大興の總攻擊當時に同方面の中間驛で働いた某氏が口を入れた、その要點を書拔いて見る

◇

總攻擊の當時同方面で働いた人々は一日二回の食事にありつければまあ好い方で大抵が一日一回それも漬物なんて贅澤(?)なものは一度もなく味噌汁の一點張、またその味噌汁は純粹の味噌汁でお湯と味噌と醬油だけ、たまにカヤクがあつたと思つたら味噌の豆であつたといふ「一ケ月振りに洮南に歸り初めて飯らしいものにありつきましたよ」とは彼氏の率直な告白である

「飯の有難さといふ事は大袈裟だが本當にそれを感じましたね、時局一段落後もそれ飯だと聲がかゝるとどんな仕事でもさし措いて一目散に飯のあり場所まで驅走ですよ」

◇

次は矢張り奧地から歸途にあつた一機關士の話である「いや恥しい話ですが客車の着く度に列車內を「何か食べ物は無いかな」と搜したり、兵隊さんが發つた後にはすぐ飛んで行つて殘り物を拾つたこともありました、全く乞食同然に食ひ物にいぢきたなくなつてしまひましたよ」眞黑な麥飯を如何にも美味しさうに猛烈な勢ひでその機關士はかき込んだ【寫眞は樂しみな食事】

新緊急令公布後の獨逸 極めて平穩

【ベルリン十日發】物價切り下げに關する新緊急令公布以來二日を經たるもドイツ國內は一般に平穩で憂慮された國粹黨社會黨方面の策動も現はれず政府の覺悟した戒嚴令も此の分ならば施行の必要はなさそうである、なほ緊急令中債務に關する部分は單にその利子につき二分の一乃至三分の一減となつて

賠償金改訂で米國へ覺書 佛國政府から

【ワシントン十日發】フランス政府は本日アメリカ政府に左の如き覺書を正式に通告した

賠償金改訂は如何なる場合でも必らずそれに相當して戰債の削減を伴はねばならぬ

土肥原大佐けふ上京

奉天特務機關長土肥原大佐は中央よりの招電により十二日十五時半

市況(十一日)

株式 內地株堅り 當市續騰

特產 銀高乍ら一般大保合

錢鈔 金低落 當市續騰

商品 綿糸急騰

市場電報

チフスが下火になつて 猩紅熱の流行期に入る

安東博士發明の新豫防注射液 試驗の結果素晴らしい成績

一時全滿殊に州内に於て猖獗を極めたチフスがやゝ下火となつてホツト一安心の間もなく今度は滿洲特有の猩紅熱が流行するシーズンとなつた、滿洲に於ける猩紅熱は毎年十一月頃から患者を増し冬季は最も流行する

滿洲に 於ける傳染病中チフス、赤痢、に次で第三位を占める恐るべき傳染病で幼兒に最も多い、然し滿鐵衞研安東博士は數年前から熱心に滿洲猩紅熱豫防注射液の研究完成は心血を注ぎ從來の豫防注射液を分析精製し高度の免疫效果を有し且副作用なき獨特の注射液を完成し本年度始めから滿鐵學務課と協力して幼稚園、小學校、公學校及び普通學校生徒に實施した處頗る顯著な效果を示し流行期たる十一月に至つて昨年の六十二名に對し本年は僅々十五名、十二月に入つて四名の

患者を 出したに過ぎぬ、然も罹病者の多くは幼稚園兒以下の豫防注射を受けてゐない幼兒であることが判つた、これに依つて安東博士の同豫防液が確實にその效果を證明されることゝなつたので滿鐵では今後引續き毎年定期に實施することゝなり滿洲から完全に猩紅熱を驅逐する方針で進むと右に關して千種衞生課長は語る

猩紅熱の感受性ある兒童は約四十パーセントで他の六十パーセントは感染の恐れのないものである、この四十パーセントの兒童に對しては一週間乃至三週間に一回の三回連續注射を爲し尚

免疫と ならぬものには四回目の注射をなし尚之等兒童は三ケ年間テストを爲しかくして凡ての兒童を完全に免液とする方針である、かくして免疫となつたものは生涯罹病しないことゝなるので完全に猩紅熱を驅逐することが出來る、但し現在ある患者の多くは幼稚園兒以下の幼兒であるから各家庭に於ても是非自發的に之を實行して貰ひたい、さうすれば遠からず滿洲から該病を完全に撲滅することが出來る、右注射液は何等副作用が全くなく絕對に安全であるから安心してよい

荒れ性の方でも手入れ一つ

これなら大丈夫—綺麗になれます

＝脂肪＝ の少い方はこれから寒さに向ふと自然皮膚が荒れ顔手などカサカサになり主婦などはお炊事をいたしますのでカサカサの手に汚れが浸み込み大へん穢なくなり一寸人の前に出し難くなりますが荒れ性の方でも手入れの仕方では相當綺麗な手を保つことが出來ます、脂肪分の少い方はお風呂に入る時も石鹸でゴシゴシ洗はぬ樣石鹸を用ゐるとしましても上等の泡立ちのよい品を選ぶ樣にします、ホーサン石鹸など

＝皮膚＝ に大へん良いのです、然し石鹸の上等なのを使用するにもタオルにつけて強く洗はずに先づ手で泡立たせてそつと洗ふ樣にします、然し洗顔には洗粉もありますけれど洗粉、石鹸などよりは糠の方が大へんよろしいのです糠は皮膚の脂肪分を除去する許りでなく皮膚に脂肪分を與へ皮膚を養ひます、入浴後は皮膚をそのまゝ寒風に曝さないでクリームを塗る事を忘れてはなりません、生地のまゝでクリームも何もつけないでゐますと皮膚がひつぱり

＝痛い＝ 場合がありますがこれなどはあまり洗つて脂肪を取り過ぎたゝめなのでその結果顔に縮緬皺ができます、それだけでなく白粉ののりも惡くなります、入浴後は脂肪性でなくとも乾性の人でもクリームでも好いのです、外出する場合は先づ微溫湯で洗顔します(熱湯は皮膚のためによくありません)或は蒸しタオルで顔を蒸すか糠で拭きとつてのちハイゼニッグコールドクリームをつけて脫脂綿で拭きとつてのちハイゼニッククリームか、水クリームをつけて薄く

＝化粧＝ いたします、近頃の樣にすぐ煤煙で汚れる季節はできるだけ厚化粧は避けて薄化粧にいたしたいものです、外出して歸つたら早速微溫湯で垢を洗ひ落さないと顔についた塵は落さなくなつて顔を汚くしてしまひます、又寢る前も洗顔して塵を除去しておきたいのです、寢む前にコールドクリームをつけ脫脂綿で拭きとつて休みますと荒性の方でも綺麗に汚れは取り去られカサカサにはなりません、洗顔は幼い時から水で洗ふ樣に習慣づけられた人を除いては冷水で洗ひたくないのです

＝殊に＝ 入浴後冷水で洗ひますと急に収縮して皺をなります

手にヒビの切れやすい方も始終水に手を入れなければならぬからと面倒がらず、水を使用後は手の水分を綺麗に取り去つて油性クリームをつけたいのです、水のついた手をそのまゝ放つておきますとざつとガサガサにヒビが切れますから出來るだけ手入れをし寢む前にはコールドクリームか油性クリームを塗つて荒れを防いだら相當荒れた手も綺麗になります

十二月

瀬戸明

一
指折り數へた
クリスマス
爺さん何を
くれるかナ

二
爺さんくれた
おみやげは
でんでんたいこに
しようのふえ

三
まだまだあるく
キヤラメル
チヨコレートも
はいつてゐたよ
うれしいナア

新年懸賞寫眞募集

課題　『新春』滿蒙を背景にしたもの
印書　八切以上(臺紙に貼附せず裏面に畫題住所姓名撮影場所を明記)
締切　十二月二十日限り
宛名　本社編輯局(應募印畫は返却せず)
賞金　一等一名五拾圓、二等一名二十圓、三等六名五圓

滿洲日報社

アサヒノボル

中満しんいち作　河野ひさし画

(七)

一　ホラ　オカヘリダト　オカアサンガ　トヲアケルト　ユキダルマノヤウナ　オホオトコ

二　イキナリ　オカアサンヲ　カカヘルト　スバヤク　ユキノナカニ　キヘテ　シマツタ

三　アトヲ　タイチヤンハ　イソイデ　オヒカケヤウトスルト　ドアヲ　ポーント　シメラレタ

四　アマリ　アワテタノデ　ドアデ　オデコヲ　ポコリ　ヘウシヲクツテ　シリモチヲ　ピチヤリ　クヤシイ

童話 濱のお家 (四)

八木橋ゆじう

「お母さん」

お母さんの姿を見ると、久は晴れ晴れしい聲で呼びました。

魚の干ぼしを造つてゐたお母さんは、久を振りかへつて見て、びつくりしました。

「久さん、どうしたの？そんなに體をビショビショにしてさ」

「お母さん！僕海なんちつとも恐くなくなつたんだ」

「恐くなくなつたつて？まあ、久さんはどうしたつて言ふの？」

「僕れ、母さん！海にとびこんで女の人助けたのよ」

「助けたつて？海に飛びこんで」

「さう、海恐くないれ、母さん」

「まあ、久さん、それほんと？」

「ほんとよ！」

「さう？あゝこんなに母さんは嬉しく思つたこともないよ久さん。これで、亡くなつたお父さんに申譯がたつと言ふもの、あんなに海の恐い久さんではねえ」

お母さんは久の體を抱きかゝえて頰づりしました。

そんな事があつてから、久は、海を恐くない子になりました。

それから十幾年かの月日が經つた海の色は相變らず青々と深さ廣さを見せてひろがつてゐました

しかし、久さんはずいぶん變つてゐました。あの海に恐かつた久さんは今は立派な海軍士官になつてゐました。

遠洋航海に出た練習艦隊は、列を揃へて、果てしなく廣かつた海原を壓して進んでゐました。

陽は、まぶしく照りかへつてゐました。

水雷防禦の演習が濟んで、休憩に入つた艦内は、しーんと靜まりかへつて、はたはたと打ち寄せる波の外、何も聞えません。

時々、信號手の振る旗が光つてゐます。

一人の青年將校が、にゆーつと大砲の突き出てゐる廣い甲板の欄干にもたれて、さつきからじーつと海を見つめてゐます。

それは久さんでした。久さんの眼に廣々と陽がはれかへつてゐる海が寫つてゐました。

「お父さん！」

久はそーつと「お父さん」を思ひ出して、さう言つてゐました。

ヒタヒタと鋼鐵板にぶつつかる小波の音です。

「お父さん！久を見て下さい。久はこんなに立派になりました。お父さん！」

久さんは獨りでつぶやきました

すると深い深い水底から、お父さんの笑顏が浮び上つて來ました。

「おー、お父さん」

久さんは、欄干から、兩手を出して呼びました。

眞黒い覺者のやうな鋼鐵艦は、素晴らしい勢で海を割つて行きます。

お父さんの微笑んだ顏が、艦と一緒に海上をついてきます。

「お父さん！久はお父さんと一緒にいつまでも海の上で暮らします お父さん、見て下さい。このピッチリ身に合つた海軍將校の洋服を、こんなに恰好のよい短劍を、これこんなにりつぱな双眼鏡を胸にぶら下げて。

お父さん、淋しかつたでせう。これからは淋しがらせはしませんよ。久は、いつまでも海の上にゐるんですから。お父さん、お父さんに海軍士官として久の敬禮をしますよ。アハ……」

久さんは、海の上に浮んでゐるお父さんの顏に りつぱに姿勢を正して、擧手の禮をして見せました。お父さんは感謝するように、ニコニコ笑つて、顏を少し下げました。

公主嶺

花街の不景氣

當市の柳界は滿洲事變勃發と同時に軍隊の出動警察隊と共に活躍した靑壯年者の緊張に殆ど休業狀態に陷り各旗亭の營業主に對し同情に堪へぬものがあつた四圍狀況に小康を得た昨今斷續的に客足がつき愁眉をひらきつゝあるも忘年會の如きも鳴物ぬきの極めて質素なものとなり年の瀨の難關を氣遣はれてゐる一方市內敷島町に新開業の料亭が許可となりしきしまと名乘りお手輕安値所謂兵隊さん歡迎一枚一本式で大向ふを張るべく近々內地より數名の美形が來公するとのことで一般不況の折柄殊に時局に際しての開業なので如何なる結果を齎すであらうかと花柳通の下馬評をそのまゝ

見聞一束

▲若松騎兵第二聯隊長は去る七日午後七時より公會堂に於て故吉澤將校斥候と山田一等兵の奮戰昂々溪附近における激戰の講演會を開催聽者は場外に溢ふれた▲同日午後一時興發園に日支官民を招待盛宴を張つた刀圭術の權威者當地滿鐵病院長新井博士は昨年の本月市內春日町糧棧を襲ひ殘虐を極めた馬賊の逮捕に向ひ奮鬪腹部に貫通銃創をうけた孫深捕の腸切斷の大手術により九死に一生を得た記念として支那側商務會長外多數官民より贈られた一視同仁と大書した美術を盡せる額面の答禮であつた▲九日の午前午後に亘り飛行機が二機不時着陸したこれは當地における未曾有のことで一機は大朝のもので一機は大每とあるが該機は大破損解體汽車便にて送ることゝなつた

奉天

醫大リンク開き

滿洲醫大では同大學グラウンドに理想的インドアスケートリンクを建設中の處今回一切完備したので十三日午後六時十五分から盛大なリンク開きを行ふと尙當日の種目は外人チーム對醫大ホッケー試合フィギュアー及びスピード、一般滑走等である

日本人大會

全滿日本人大會奉天本部では十一日午後四時から特別委員會を開催し席上十二日上京出發する上京委員をも參集せしめ上京運動の方法その他に關し評議する筈である

撫順

高女の學藝會

撫順高女第九回學藝會は十日午前九時より父兄一般多數來觀いと盛大に催された、定刻まづ植村校長の開會の辭につぎ全校生徒の校歌合唱午前午後を通じて三十三回に亘り齊唱自作朗讀、オルガン獨奏三重奏、手藝談話、童話家事實習英語會話等々各方面に亘つて行はれた

なかでも最も喝采を博したのは四年辻トヨ子外八孃の三重奏「千山の秋」三年行德和子外六孃の史劇「出山の釋迦」四年野崎蔡子外五孃の舞踊「タランテラ」卒業生山上ハヤ子、四年山上さよ子二孃のピアノ連彈「ミリタリーマーチ」「ワルツ」補習科全部の合唱「庭の千草」等であつた

同校學藝會も年と共に異常な進境を見せつゝある事は指導者並に生徒自然の精進の程も偲ばれる、斯くして午後三時冬に似合はぬ麗かな卿に全校を包終了した

佛教婦人會

佛教婦人會、淨土宗、金光教、天理教、本派婦人會の聯絡撤して…

の野にお國の爲健闘しつゝある軍部慰問の爲と國防資充實の爲との獻金運動に十二日より着手した

安東

金井氏の不幸

日際公司主金井佐次氏は今夏令閨を喪ひ淚の乾かざる內に時局勃發し日支間に信用厚き故を以て安東維持委員會の創立を觀るや選ばれて同會の顧問となり安東の治安維持に努めつゝある際母國遊學中の令息が病氣に罹つたとの報に接せるも時局多端の折なればとて歸省看護も令弟に委し且病も秘し續いて自治委員會指導員として國家のため盡瘁してゐたが八日午前十時令息逝去の報來るや金井氏に同情するもの日支人間夥だしく且同氏の人格に對し一層敬服してゐる

遼陽

婦人會の役員

遼陽聯合婦人會に加入せる團體は二十二の多きに達し會員總數九百廿一名で八日午後一時から各團代表者會が開催され多門師團長夫人を聯合會長とし各會當番幹事及び聯合會各係左の如く決定した

▲東本願寺婦人會六十八名當番トク子▲興國寺二十名本間ウメ子▲基督教二十五名松野晴江▲友の會十七名杵淵八重子▲金光教三十名佐々野トモ子▲郵便局二十名星野フヨ子▲處女會二十五名出雲房子▲醫療婦人卅二名長山マサ子▲天理教卅名江口ハル子▲電燈公司十三名中村シツ子▲立正婦人會齋藤ハルエ▲倶樂部婦人會二百六十名田中ヒサ子▲居留民會婦人團廿四名細矢ミセ子▲將校婦人團四十名宮城經子▲白百合會六十名田中ヒサ子▲木曜婦人會十五名齋藤ハルエ▲青葉會廿五名宮田チワ子▲滿紡四十五名玉木芳子▲社員會婦人部卅二名小野かの子▲記錄係宮城、細矢▲庶務田中、玉木、長山、中村、星野、松野、高木▲慰問係安藤、林、本間、佐々野、江口、高田▲會計大串、齋藤、出雲、計畫係杵淵、小野

遺骨遼陽出發

第二師團各部隊戰歿者の芳骨は十三日大連發ハルビン丸で故山に歸還と確定遼陽步兵第十六聯隊武者少尉以下四十四名の分も十二日午前八時四十五分發列車で北方部隊と共に出發に付在住者は當日弔旗を掲げて敬弔の意を表すると同時になるべく多數停車場に見送られたしと因に不井神職と町野東本願寺主任は爾後新發田まで遺骨を見送ることになつて居る

關東長官招宴

塚本關東長官は十二日午前十一時四十分着列車で來遼正午から多門師團長天野旅團長を始め師團旅團の幕僚及遼本聯隊長輕井衛戍病院長其の他を領事館に招待午餐會を催すと

鞍山

遺骨鞍山通過

北滿に於て戰死した第二師團管下の戰歿者遺骨は十二日午前九時廿四分鞍山驛通過に就き市民は多數驛頭に於て敬送せられたしと

十一月の人口

鞍山警察署管內十一月の統計人口調查表左の如し

	戶數	日本人	鮮人	支那人
鞍山	三、八四四	六、一九六	三六八	七、[illegible]
立山	七一	一五六	七	九六
千山	[illegible]	[illegible]	―	[illegible]
湯崗子	[illegible]	[illegible]	―	[illegible]
大孤山	[illegible]	[illegible]	―	[illegible]
櫻桃園	一〇四	四四	一	九三三
計	三、一八〇	六、六三六	三五五	九、五七一

鞍山人口移動

鞍山警察署管內の十一月中人口移動を示せば左の如し

	日本人	支那人	計
出生	一七	一三	三〇
死亡	五	一	六

●製鐵所工產品

鞍山製鐵所十一月中主要工產品統計左の如し

品目	數量
銑鐵	一八、九七〇、四七
燒結鑛	三一、五二七、〇〇
骸炭	二四、五一二、〇〇
粉骸炭	二、六八〇、〇〇
硫安	三七〇、三〇
ピッチ	五三三、二九
タール	一、一四四、八六
特製タール	三三、七八
粗製ナフタリン	五〇、七九
精製ナフタリン	二六、五一
クレオソード	一九四、六九
ベンゾール	二一五、〇〇
耐火煉瓦	一八九、三一
硫酸	五一七、〇五
鑄鐵	三、〇三七、〇〇
日本酒	二〇石〇〇
高粱酒	三三二、〇〇

大石橋

青聯臨時總會

當地靑年聯盟支部は昭和四年以來支部長幹事等殆ど轉勤異動等に依り全く有名無實の狀態なりしが時局の重大性を加ふると共に其の活動に期待する處甚大なるものあり全滿聯盟の趣意もある事故數日來同志間に於て協議の結果十日午後六時より公會堂に於て盛大裡に臨時總會を開催し左記の通り支部長顧問幹事の選擧を行つた

大石橋靑年聯盟支部長愛甲直剛▲同顧問小林才治、平尾康夫、赤倉總次郎、山下義明、齋藤準一郎、齋藤輪之助、日野熊雄の七名▲幹事猪之崎勇、前田龜吉、井上敏治、藤井正一、山下君藏、佐藤照、高梨源三、小林龍男、美座時省の八名

地委月例會

本日午後一時より大石橋地方委員第一回月例會を地方事務所に開催せり決議事項左の如し

議長小林才治氏は總て統制し爾今部門を三門に分ち專攻委員左の通り定む

第一門 教育山下義明、蒲生川西重作

第二門 産業（農商工）愛甲直剛 楠川益三

第三門 土木（公共施設）赤倉總次郎、川村勝之進

而して月例會五日前に各門の意見を取り纏め協議事項として提出すべし

普蘭店

護國祈願祭

普蘭店婦人團護國祈願祭第一日の十日の朝は惠まれた天候で近來稀な無風狀態であつたので小さいお子達の手を曳いた婦人連續々南山社頭に參集九時半には既に九十餘人の多數を算するに至つた定刻三宅神官の司祭によつて開式修祓供饌祭文奏上あり次で東利夫人婦人團を代表し玉串を奉奠一同列拜午前十時嚴肅裡に無事第一日の祭典行事を終了した

驛員非常召集

交通狀況調査中敎化にて遭難殉職した伊東高次氏の遺骸が十日午前六時七分營驛通過南下に際し普蘭店驛に於ては同五時三十分驛員の非常召集を行ひ非常時に於ける訓練をなすと同時に一同驛頭に整列して伊東氏の靈に對して敬弔哀悼の意を表する處あり夫れより全員南山の普蘭店神社に參拜護國の祈願を捧げて解散したが時節柄各自緊張した氣分で終始し召集通知後五分間にして全員漏れなく集合驛長の命令一下各部署に就いた其成績は誠に良好であり[illegible]であつた

旅順

遺骨を見送る

十二日午後一時三十分旅順驛發列車にて離旅する步兵第三十聯隊井上大尉以下二十九名の遺骨に對し同日陰山助役は市を代表し大連迄見送りを爲し十三日大連にて催さる慰靈祭に際しては永山市長西野內藤兩市會議員は市民を代表し赴連參拜を爲すと

黄金臺

◇

修養團旅順支部では十一日午後六時半から民政署倶樂部にて向上會例會を開催「滿洲時局視察談」中川第一小校長「修養團に就て」吉村第二中教諭の講演があつた

◇

旅大道路老座山隧道內三キロの電燈施設案は愈々實現する事となり近かく起工の豫定で竣工の上は五〇〇ワット五個が取付けられる

第二の反抗 (101)

三宅やす子

阿部金剛畫

女同士（五）

「氣を落さないでれ。死ぬなんてほんとに、いつだつて死れるんだわ」

佐枝子は、ついさつきまで自分が決心して居たことだ、お靜に向つて止めだてして居るのだつた。

「れ。あたしも、あなたも不幸な女なんだから、一緒に考へませう力になりあつて」

「御親切にありがたうございます——あたし、奧樣のやうに、やさしく云つて頂くと、つひ、まだどうにかなるやうな氣がして」

「なりますとも——大丈夫よ」

「それに、今は、大事な人の形見を、生んで育てたい氣がして來ました」

「よかつたわ、それがいゝわ」

「でも、そんなこと、考へて見るだけで——第一、これからさき居るところもないし——父は私がこんな身體だと知つたら一日だつて置いてはくれませんもの」

「ぢや、私んとこにいらつしやい」

佐枝子は何の心配もなく、云つてのけた。

「………」

「今からでもいらつしやい。私の用たしして貰ふつてことにして、人目に立つやうになつたら、東京にさう云つて、居場所を作つてあげるわ——」

それだけは——とお靜は、すぐに斷りが唇を洩れるのだ、佐枝子の親切に對してどうしても云ひかねた。

「ありがたうございます、——でも」

「遠慮することは無いのよ。ほんとに私の自由になるのよ。私だつて、さうすれば、どんなに氣丈夫かしれないのよ」

「ほんとに、御言葉を無にするやうですみませんけど」

「あゝ、さう、うちぢや具合が惡いつて、いふの？」

佐枝子は、察しをきかせて

「お父さんが承知しないんでしよ、さうでせう」

「お宅樣には、いろく御厄介をかけてますさうで」

「だつて、そんなこといゝのよ。私が勝手にたのんで來たことにすれば何でもないのよ。私はこれから其位の自由はすることにしたんだから」

「實は——」

そうく何とか斷りの口上をつけなければならなくなつた。

「近所の人からお邸に御奉公に上るやうにつてすゝめられましたけれど、父がお斷りしたすぐあとなので」

「うちで？人が足りないつて云つたの？」

「世話する人の話では、そんな——」

「うちはほんとは女中は足りてるのよ、どうしたんでしよ。何かの間違ひぢやない？」

「………」

「斷つたあとだつていゝことよ。私が賴んで承知して貰つたつてことになれや、良人だつて何とも云やしないわ」

「………」

お靜は若い顔で

「父は明日、私を東京の方にやる約束をして、明日私を受け取りに——私は東京に連れてゆかれるんでしたわ」

お靜は明日に迫つたことを今更のやうに思ひ出し、さめぐと泣いた。

歳末同情週間の實施方法決まる
大連婦人團體聯合會後援の下に大々的に金品を募る

大連民政署方面委員會は歳末同情週間實施その他の件に關し十一日午後三時より滿鐵社員倶樂部において協議會を開催したが、辛島民政署長をはじめ日支參事委員その他二十九名參集、先づ中山民政署地方課長起つて過去一ヶ年における方面委員の事業報告あり、續いて議事に入り歳末同情週間

實施に つき左の如く決議した、即ち同情週間は滿洲社會事業協會、關東廳方面委員の主催、大連婦人團體聯合會の後援のもとに十二月十七日より廿三日迄を期間として大連市における貧困者に對し同情金或は同情物品を得てこれを配給する、これが募集方法としては同情袋、同情箱を婦人聯合會に委託して一般市民の同情を受けるもので、立看板ポスター等により大々的に宣傳をする事になつてゐる

配給法 並に配給方面は方面委員によつて調査された貧窮兒童及び貧困者、それに中國人側には慣例の避寒所事業に配給し尚現在市中の各社會事業團體にも交給する事となつてゐる、然してその配給期日は十二月廿八日よりの豫定、次に定期船乘船に關する便宜取計らひの件は船會社側との折衝により入船券を利用する樣に決定

カード 階級者に對する葬儀費特約も特に安値に取扱ふべく葬儀取扱ひ者との間に契約成立第五項たる方面委員の請求に係る戸籍謄抄本に對してはこれを方面員で便宜を與へ無料とする事、最後に第一方面を中川委員、第二方面を永井委員、第三方面を福田委員より取扱ひ實例につき報告あり午後六時十分散會した

小銃射撃大會の役員決定す
第一回の射撃者受付人數三百名に減らす

大連市民射撃會本社共同主催の全大連射撃大會第一次小銃射撃大會はいよいよ十三日午前九時より大連春日池射場に於て擧行される、時局柄本大會の開催は各方面の視聽を集めて居るが十一日午後四時半より佐渡町帝國在郷軍人會大連聯合分會に於て秘書、濱田、松野松田、豐永、上田、土尾、藪内、財滿、西村、加藤、河野島等斯界權威者、本社側より秋山事業部長等參集のうへ種々協議の結果左の如く役員を決定した、尚既報規定中に第一回射撃者受付人數を四百五十名としたが昨今の天候及び今回は特に一般人に重きをおいた關係上受付人數を減じて三百名としそれ以上超過の場合は來る二十日に於ける第二次拳銃射撃大會當日これを行ふことに決定した

▲射場係 中田敏雄少佐（大商）中島智能大尉（大商）石井文三大尉（一中）▲警備係大場春吉（大連署）大連署より若干名▲受付係市崎政照（市役所）小山田茂喜藏（市役所）上田胤三（民政署）下茂芳夫（滿日）▲呼出係憲兵隊員若干名、吉田辰（滿日）▲監的係沙河口青年訓練所生徒▲記點係松田松次郎（滿鐵）青訓生▲彈藥係穗刈十一郎（在郷軍人會）濱田幸太郎（大連市民射撃會）▲成績調査係松田松次郎氏（滿鐵）松野新一（滿銀）前田春一（大連射撃會）▲初心者教育係憲兵隊員豐永和郎少尉（二中）財滿鋼澄（民政署）▲接待係藪内丈平少佐（工專）中尾大次郎（市役所）奈良大尉（一中）平光治二（小崗子署）門脇誠郎（小崗子署）岩非鐵吉（沙河口署）滿日社員▲會計及び賞品係河野茂（滿鐵）濱田幸太郎（大連市民射撃會）

使の役目を果し滿日婦人團代表
昨夜奉天發歸連の途へ

滿日婦人團員が先月廿八、九の兩日晝夜の別なく遊冬の街頭に立つて行人に求めた恤兵獻金及び警官慰問金を携へ森本、高山兩幹事、安武理事の三代表は十一日八時半着列車で佐藤本社編輯局幹事、太原奉天支社長等の出迎ひを受け直に飛雪紛々たる中を

忠靈塔 に參拜、忠勇なる戰士の英靈を弔ひヤマトホテルに小憩のうへ先づ奉天警察署を訪ひ折柄滯奉中の松田高等課長に對し森本幹事より慰問の言葉をのべ携帶の慰問狀に添へ現金三百圓を寄贈、松田課長から懇篤なる謝辭あり、奧地出動の警官等が嚴冬中晝夜を分たぬ辛勞の實狀を聞き今更ながら感激を新たにし午後一時半辭去、次に衞戍病院を訪れ兵站院長に見舞の言葉をのべ所員の案内にて病室を訪問し慰恤行の

造花を 贈呈、折柄晝食時間なるより兩手不自由なる勇士のために飯を運び茶をすゝめた、それは片時の心盡しであつたが涙ぐましい感激的シーンが描き出された、しかも大興にて凍傷のため兩脚首切斷のやむなきにいたつたと云ふ小豆畑二等兵、巨流河の戰鬪で左腕に貫通銃創を受けた竹下少尉、飛行機操縦中左大腿部に貫通銃創を受けた大針中尉等の武勇傳を聞き一行感激これを久しくした更に又森島領事夫人、安藤中學堂長夫人その他駐割隊守備隊將校夫人等が家事を打棄ての懇切なる

看護は 涙なくては見られぬのであつた、かくて午後二時軍司令部を訪問したが本庄軍司令官は午前に引續き重要會議中にて一切の來客を謝絶したるとの事で三宅參謀長に會見、恤兵獻金一千

滿洲で横行する馬賊は人類の敵
英國武官シ氏視察談

【京城特電十日發】日支衝突事件の眞相調査を終へ歸東の途にある駐日英大使館附武官シムソン中佐は十日朝京城を

通過 したが左の如く記者に語つた

滿洲へ視察に行つた事は頗る有意義であつた、視察の結果を素直に述べられぬのは甚だ遺憾であるが各地視察の結果最も深く感じたのは無政府狀態にある滿洲において日本軍が嚴然たる規律の下に如何に滿洲の治安に努力しつゝあるか同時にまた支那兵が如何に頼むに足らないかといふ事實である、兵匪馬賊の殘虐な事は眞に

想像 以上で彼等こそ人類の敵であることを痛感した、滿洲の治安を維持するためには先づ馬賊を絶滅すべきであるのを十分に知つた、奉天で解散してから錦州へ行つたが物騷で歩けなかつた、張學良が錦州にどんな兵備をなしてゐるかは不明だが錦州軍が東進して日本と衝突を起しても致方あるまいと思はれる

二千の賊團新民へ移動

公太堡附近を荒す梯字房頭目の率ゐる二千名の賊團は漸次新民附近へ移動せる報あり目下警戒中、十一日午後一時飛行機は賊の部隊を偵察新民府を旋回して引揚げた【奉天電話】

史家堡の籾を搬出
鮮農一同感泣

遼原西南方約四里の史家堡には鮮人同胞數百戸あるが曩に兵匪の來襲を受け籾もその儘放棄し鐵道沿線に避難中のところ去る七日守備隊長田所中佐は大隊の主力を指揮し史家堡附近に到り兵匪を討伐したる後星中尉の指揮する一個小隊を四日間同地に滯在せしめ稻こぎの掩護をなし籾約二千石と鮮農を掩護しつゝ十日滿鐵沿線に引揚げた、南滿在住の鮮人同胞は毎度のことゝ乍ら關東軍の特別保護に對し感泣してゐる【奉天電話】

匪賊は益々勢力増大

十一日午後三時公太堡よりの報によると匪賊は益々勢力を増し十一日車口營子、七公臺に五、六十名の賊滯在中の報あり、警官隊は討伐に向つたが賊は斥候の報らせで北に逃げた、兩村とも大部分避難して人影なく賊に占領されてゐる逃げて來た者の話では賊は多數の武器を持つ三百名の騎馬隊で各地で加入する者多く大部隊となり附近はために混亂してゐる、なほ遼河の西の百餘名の賊は河東の自警團と對峙し何時河を越すかわからず危險は迫つてゐる、十一日白警團を河西に加擔せしむるため錦州より派遣したといふ二名の學生は

時局の生んだナンセンス
水上署高等係員大慌ての事

時局柄針の樣に尖つた水上署高等係員が慌てさせられたナンセンスもの、十一日午前埠頭構内を一名の店員風支那人が白革トランクを重そうに吊つて行くのを發見した水上署員は有無を云はせず本署に引致取調べると該トランク中より「敵國的日本」「中國經濟史」なんて云ふ排日文字を羅列した書籍がギッチリつまつてゐたのでさては目星に違はずと直にこれが本據を突きとめたところ何の事はない右は我が軍部滿鐵その他より見本として上海より排日書籍を購入したものでこれを持ち出さんとしてゐたものと判明、即座に該店員劉某は釋放されたが時局柄一時は騷がれた

ラヂオや映畫で滿洲軍を慰める
◇―陸軍がお正月用に

【東京十一日發】在滿軍の正月を慰めるため陸軍は慰問金の内三萬圓を支出しラヂオセット百三十組、活動寫眞機二十四臺を購入急送した、一方中央放送局は四、五日後より大連放送局中繼で對滿放送を爲すと

好評を博す
朝鮮に於る本社主催の滿洲事變映畫と講演會

【平壤特電十一日發】平壤に於ける本社主催の滿洲事變映畫並に講演會は十一日午後一時より歩兵第七十七聯隊演武場に於て特に軍隊のために開催し多大の感銘を與へ又夜間は午後七時より在郷軍人平壤分會、平安南道平壤府、平壤每日新聞社、西鮮日報社の後援にて公會堂にて一般に公開

大好評 を博した、十二日は總督府の希望により再度京城に引返し特に在京城各國外人のために京城ヤマトホテルに於て開催されるが、この際は森本社記者の講演は英語に通譯される筈で、歸城した宇垣總督並びに今井田政務總監も來會するとのことである、尚先日京城にて開催の際は畏くも李王大妃殿下の思召により昌德宮仁政殿東行閣において李堈公妃殿下の臺覽に供したが

妃殿下 には李王職關係者並に各朝鮮貴族を從へさせられ終始御興深げに森本社記者の説明を通譯官を介してお聽き遊ばされつゝ御覽になつた

傷病兵の大連到着時間變更

大興、昂々溪の激戰で名譽の負傷をした小河原中佐以下傷病兵の大連到着時間は奉天方面より十二日午前七時大連着、旅順より十三日午前八時四十分大連埠頭各到着と變更既報十四日午前八時十分着列車は削除された、尚到着の傷病兵は七十一名となり内十四日午前十時出帆の貴州丸で内地原隊へ送還されるのは四十名とこれまた變更された

夜店まで出して慰問金を募る
大連第一中學校の生徒が校内に恤兵部を組織

派遣軍隊に對する慰問品、慰問金の募集は內鮮滿を問はず各種團體が殆ど總動員して活動し日毎に增加する恤兵金品の數は國民の擧國的關心の縮母しいバロメーターとして軍部始め各方面に非常な心强さを與へ、殊に第二國民たる中等學校、小學校男女生徒の涙ぐましい活躍は非常な感激をもたらしつゝあるが、大連第一中學校五年生第一種（鐵業課目）生二十五名もこの國難に際して協力奮起することゝなり十一日校內に大連一中恤兵部を組織し、タラスメート二十五人が協力して來る二十日より卅一日まで年末贈答品その他日用品の販賣を始めることになつた、この販賣の方法は二十日より毎日午前十時より午後十時まで校內恤兵部（電話七三四八）にて市民よりの注文を受け多少に拘らず各家庭にまで直に配達するといふ熱心さでこの

利益金 全部を慰問金として寄贈するものである、同時に一層の成績をあげるためクラスメートの一部は街頭に進出し大山通遼東百貨店横に露天店を出すことゝなつてゐる、勿論品物の價格は市中で販賣されてゐるものよりも安く、高い物で市中と同價格で、大體左の如き品物を扱ふ筈である蜜柑（一箱特印八十錢、天印七十錢福印六十錢）鰹節（箱入り五圓、四圓、三圓）荒卷（百目二十錢）鹽鮭（百目十二錢）數ノ子（百目上四十錢、並三十五錢）味付ノリ（一箱三個入一圓二十錢）北海スルメ（百目九十錢）劍先スルメ（百目二十八錢）羊羹（三本入五十錢、五本入八十錢）卓上日記（八十錢）組合文具（五十錢、一圓、一圓五十錢）萬年筆インク（特大三十錢）封筒（百枚二十錢）便箋（十錢）鉛筆（一打二十錢、十五錢）

お役人のボーナス
民政署と遞信局

官廳方面は最高二十三割最低十六割、平均二十割見當と云ふ關東廳の御布令に依りこの率を標準に交給される事となつたが、直接民政署の手から渡される人員は約一千名で金高は署員全部が二萬六千五百圓で小學校、公學堂關係が七萬七千圓、合計十萬三千五百圓である、既に判任官以下は十一日午後四時からソレソレ手渡された、遞信局關係は判任官以下が十一日に手渡された、判任官以上はまだ辭令だけで現金が見られないとの事、世帶が大きいだけ相當の額に上るであらうがまだ計算が濟でないから判明しないと藤川庶務課長は語つてゐた

大連市役所は二十日ごろ

大連市役所は昨年と同樣最高十二割、最低八割、平均十割となつてゐる、一寸聞けば嬉しい樣だが年二回貰へるのだから官廳方面と大差がない、人員約二百七十名、この金額約一萬圓見當で來る二十日ごろ渡される模樣である、吏員達は鶴のやうに首を長くして待ちあぐんでゐる

奉天の大雪
積雪四寸に達す

十一日朝よりの降雪は終日降りつゞき夜もやまず午後五時の積雪量は四寸奉天では近年に稀な大雪となつた【奉天電話】

ゆふべ零下九度今冬のレコード
けふは漸次恢復しよう

雨から雪に變り雪は吹雪と化し十一日夜に入ると共に大連市は全く降雪の荒れ狂ふに任せた、凍結し切つた街頭は午後十時の聲を聞く頃より全く通行の人の足を斷つてしまひ、路面は鏡盤の如く十六メートル北々西の風に煽られた飛雪が物凄い叫喚を街頭に放つてゐる、午後十時の觀測所の觀測によると溫度は零下九度、正にこの冬に入つてのレコードを破り朝のうちあんなに暖かつたのが急激にこんなに寒くなつたのは珍しい現象といつてゐた、電車々輪の空廻り、タクシーのエンジンも一寸放つておけば凍結してしまふ、十一日夜入港豫定の諸艦船も遲れ勝ち、人ッ子ひとり通らない街上吹雪のうちにボンヤリ街燈がゆれてゐる、觀測所では「十二日には漸次恢復するだらうが、これが大連の本當の冬らしさです」とある

北滿激戰の戰死者遺骨
きのふ奉天着

昂々溪、チチハルの激戰に名譽の戰死を遂げた第二師團歩兵第四聯隊五體、騎兵第二聯隊六體、工兵第二大隊一體の遺骨十二體は十一日午後五時二十五分着奉、驛頭には歩兵第二十九聯隊、守備隊將校團、川島憲兵分隊長以下の將兵、宗教團體、町內會、學生團、婦人會など三百餘名整列、奉天寺の僧侶の讀經裡に遺骨は靈柩車より下され貨物自動車で燒香後奉天寺に向つた、奉天寺に安置された遺骨は多

因縁の軸を床の間に飾つて
東京の郊外和田堀に平安な落合隊長の留守宅

滿蒙の風雲いよいよ急を告げ、○○電信隊と共に急遽出征した自動車隊々長落合忠吉少佐の留守宅を東京市外和田堀に訪れた。掃き清められた淸楚な玄關の樣子も軍人の家族らしい

氣持 が見える、刺を通じて、留守中の樣樣をたづねれば孝子夫人と、少佐の叔父君須永少將とがニコやかに迎へて孝子夫人は次の如く語るのだ廿九日に奉天に着いたと云ふ電報が參りましたきり、その後何の便りもございません。先達つて動員の命令が出ますとさう急ぐ出發でございました。餘り急だつたので、ゆつくり御話も出來ませんでした。出發の時は皆樣方の御見送が一杯で、私達は憲兵の方に賴んでやつと近づいて御別れだけ致しました。主人も皆樣方の盛んな御見送りに大へん感激しまして、非常に心强いと云つて出て行きました、それから須永少將は流石に毅然として曰く

出發 に際しましても荷くも輕率の行爲の無い樣に、君國の爲に捧げた體を充分に大切にする樣に申し渡したことが有りまして今歸つた處です

落合少佐の家庭は、滿洲と非常に關係が深く現在郷里の栃木にゐる少佐の實兄は、日露戰爭の時、二年志願兵として出征し、叔父君須永四郎少將も日露戰爭には

滿洲 に出征するし、又シベリヤにも出征して武功を立てた猛將である。滿洲軍の話が出ると、須永少將は本庄軍司令官とは陸軍大學で同級だつたが其の頃から、あの人は秀才で光つてゐた、其の時支那語の學生の時又一「しよになけ…

…樣な次第です當人は家に居れば時々漢詩などをやつてゐました酒は親讓りで相當にやりますな今日、長男の廣一が入つてゐる岳東少年團（筑紫中將を名譽團長にし、和泉小學校長が團長）に於て皇軍の戰勝を祈る祈禱會

ましたが、本庄さんの明敏な頭腦、高潔な人格には我々等しく敬服して居る

と往時の追懷談をする、床の間には猛虎を描いた見事な軸がある、孝子夫人にきくと叔父が、日露戰爭に出征中かけたものだと云つて叔母が贈つてくれましたので早速かけて居ります

といふ因縁ある軸である、落合少佐の家庭には長男廣一君（一）次男治男君（一）長女とし子さん（一）つまり

三人 の愛兒があり、皆揃つて元氣である。殊に次男の治男君は、騎兵志願者で父君の少佐出征の際には「一緒に戰爭に行くんだ」と頑張つたとかなかなかの元氣ものである【寫眞は後列右落合少佐、同左長女とし子さん、前列右から長男廣一さん、夫人孝子さん、二男治男さん】東京特信】

高師入學試驗

技術協會例會

事故係で獻金

曙の鐘 (135)

倉田潮　作
河野想多　畫

幸福（三）

新聞が廻って來た。

綴ぢこみだって一と月分もある。上の一枚は殆ど讀めないほど手ずれがして、その三分の一はボロ〳〵になってゐた。が、春木とたえ子は寄りそって、その新聞に眼を吸ひつけた。

大山家の事件は當日の夕刊に「大山剛太郎氏殺さる」と云ふ大みだしで詳しく出てゐた。犯人はまだ誰とも判明しないが、恐らく長男壯三の所爲だらうと記されてある。次日の新聞には昨日の中に壯三が逮捕されたが、彼は犯行を否定して、斧で打ったことは事實であるが、餘程加減して打ったので、その爲に父剛太郎が死んだなぞとは思ひも及ばないと申し立てたと報ぜられてゐた。しかし大山剛太郎の平常の素行には一行もふれてゐないし、たえ子や春木の名も出てゐない。犯行の原因は父子日頃の不和からで、當日の午前中父子は烈しく窓の内外で爭論したが、剛太郎は己の居屋に子息壯三を入れることをかたく拒絶した。で、壯三は夜陰に乘じて、剛太郎居屋の壁を斧で破り、そこから室内にちん入したと記されてあった。壯三は犯行を否認してゐるが、司直も新聞も壯三の言葉を信じてゐないやうな書き振りである。

二人は待ちきれないやうに、次日の紙面をめくった。何も出てゐなかった。で、またその次日の紙面を、顫へる手でへがして見た。何も、一と言も出てゐない。更にその次日の紙面を……まるでたくんだやうに、新聞は三日目からこの事件に對してフッツリと口をつぐんでゐる。

警察の方から事件探索の都合上新聞に書かないやうにと頼んだのだらうか。それともこんな事件は世間にザラに起こるので、一二日の記事でもう澤山だと云ふのだらうか。とにかく今迄の、いや、綴じ込みにあるだけの新聞では、春木やたえ子は別に心配すべきではなかった。名さへのってゐないところを以てすれば、見當外れのけん疑なぞかかってゐないと思ってもよい。

しかし、一度新聞を見ると、春木もたえ子も次日の新聞が見たくてたまらなくなった。この村には二日に一度しか郵便の配達がないので、東京から取よせても三日前の新聞でなくては手に這入らないが、と云って廻覧を待ってゐたのでは二十日に一度も見られないかもしれない。で、二人は新聞を東京から取りよせることにきめたが剛太郎やよもぎにはいろ〳〵世話になってゐるので、木田良子に譯を話して秘密に新聞を送ってくれと云ってやることにした。

正月は目の前に迫ってゐた。宿の主人は毎晩遲くまで繩なひや蓆あみをして良い年を迎へようとしてゐた。が、仕事にあきると時々二人の部屋へ遊びに來た。とは云へ、二人の身を察してゐるのか、そうそれにはさはらないで、村の百姓の苦い話なぞをして歸って行った。この附近は草深い田舍なので、まだ小作爭議はないらしかった。が、隣り村では既に「やらかしてゐる」と主人は話た。

また利根川に一丈ぐらゐの緋鯉がゐて、それが「川の主」だと云ふ話もした。或人がバケツ一杯の小さな緋鯉を川にすてると、川の主が三尺もある口を開いて、パクと一息にのんでしまったとか、深い淵は底に「主」が沈んでゐる爲とか――主人はそれをそのまゝ信じてゐるらしかった。

春木はその話を眞面目に聞いてゐながら、自分もまた草の奥に深く埋まってしまったことをしみ〴〵と思はせられた。しかも、川へ行く度に彼は時々「主」の姿を見やうと深い淵をのぞいて見るのだった。

或る日春木が夕方散歩から歸って來ると、たえ子が奥から狂ったやうに走って來て、袂をつかんで彼を家に引きあげた。

「何うしたの」

と彼が訊いても、たえ子は返事もしないで手に持った新聞を顫へる手先に差し出した。

滿日俳壇

島田青峰選

寒の月

寒月や塔をめぐりて傾けり　大連　北斗
戰跡の壍壕深し寒の月
橇走る鴨緑江や寒の月　大連　露峰
冬枯の枝にかゝれり寒の月
病院の窓を照しぬ寒の月　長春　宮本鮫岳
寒月や城門堅く閉されて
寒月やことりと音す饗蓮函　旅順　上倉木賊
驢馬の鳴く夜を白々寒の月　奉天　田中扇浦
泊り船並ぶ河口や寒の月　北翠
寒月に客待つ車夫の息白し　旅順　虚翠
寒月や木立の馬子の唄冴ゆる

新刊紹介

▲刀劍研究（第十二號）備前刀の銘の研究（川口陟）鐔の話（加州鐔金工）（大臥山人）秋風雜記（池畔生）刀劍鑑定會（平田生）僕の「初學講話」へ三浦義邦）刀劍研究の一利用法（山陰生）價五十錢、東京市下谷區茅町二ノ三南人社

▲レコード（十二月號）價三十五錢、東京市神田區小川町四十一

▲新興佛教（十二月號）價二十錢東京市外高田町雜司ケ谷龜原六〇佛旗社

▲偉人（クレマンソー傳記）價十錢、東京市本郷區上富士前町五

▲つはもの（第三二一號）價四錢東京牛込原町三ノ八つはもの社

けふの放送

大連　JQAK　十二月十二日

▲午前七時　ラヂオ體操
▲午後六時五十分　ニュース
▲獨逸語講座「テキスト第二十九課」大連語學校講師荻榮
▲箏曲「冬の曲」箏富森大檢校、同高木夫人
▲長唄「綱館」唄藤田夫人、三味線杵屋六榮、同池田夫人
▲映畫物語「問軍次郎」瀞愛好
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース

東京　JOAK　十二月十二日午後六時卅分

▲時事講座「滿洲事變の推移」陸軍參謀本部陸軍少將建川美次▲琵琶「新曲扇の的」水藤錦穰▲ヴァイオリン獨奏（一）ウンボコトリステ作品一七ノ三スーク作（二）アルレス歌舞曲作品一七ノ四スーク作（三）ジプシーの唄ドアォルザーク作（四）スラブ舞曲三ト長調（五）同一ト長調ドアォルザーク作（六）民謠四イ長調（七）我祖國よりスメタナ作、アレキサンダーモギレフスキー、ピアノ伴奏ナデジタロイヒテンベルク▲連續浪花節「尾花丸終席」早川辰燕

新年俳句川柳募集

◇俳句　課題「新年雜詠」五句以内、東京市牛込區若松町八一島田青峰氏宛（滿日俳句と朱書の事）
◇川柳　課題「福」五句以内大連市能登町十高橋月南氏宛
◇締切　十二月十五日
◇賞金　俳句川柳とも天五圓、地三圓、人二圓づゝ

滿洲日報社

滿洲日報
コクヨ印 帳簿

滿洲問題と英外相の演說

…を以て滿洲問題を解決し得る…なる希望があると述べた

若槻内閣遂に總辭職に決定

（東京十一日發至急報）協力內閣問題に關する本日の臨時閣議で愈々總辭職に決した

異常なる緊張の裡にけさ緊急閣議を開く

【東京十一日發至急報】協力內閣問題で暗礁に乘上げた若槻內閣は愈々總辭職の最後決定を爲すため午前十時極度の緊張に達した首相官邸に召集され、九時三十分小泉遞相を先頭に渡邊、原、井上、南、安保、町田、幣原の順で何れも緊張の色を浮べ來邸、次いで十時二十分田中、櫻內兩相はそれ〴〵民政黨の長老山本達雄男を訪問懇談の上來邸した、之で閣議不出席を通告した安達內相を除き全閣僚の顏觸れ揃ひ最終閣議は愈々若槻首相出席の上開會、懇談の結果總辭職斷行前、安達內相と會談今一度協議することゝし閣議は零時卅五分休憩した

內相に更に飜意交涉

【東京十一日發至急報】若槻內閣最後の態度を決すべき閣議は午前十時半より安達內相を除く閣僚出席若槻首相より昨十日富田幸次郎氏の訪問を受けて以來協力內閣問題の經緯特に安達內相の態度を詳述し

安達內相は昨夜十時歸邸後は再三の招致に應ぜず電話にて今朝九時會見の約をなしたるに今朝これを拒絕した、安達內相の意見はこれで極めて明瞭であるが、安達內相の態度に變改なき限り現狀維持不可能である、今日强ひて安達氏と會見するも昨日と同樣と思ふから閣內不統一の故をもつて總辭職の外なしと述べ熟議の結果兎も角今一度安達內相と懇談し血路を開くことゝなり井上、田中兩相が安達內相を訪ひその協力內閣に對する飜意を求め安達內相若しこれに應ぜれば單獨辭職を促しこれを拒絕されたる場合總辭職決行との手筈を整へ各閣僚は辭表を若槻首相に提出し零時三十五分散會した

安達內相交涉を拒絕

【東京十一日發至急報】井上、田中兩相は午後一時十五分安達內相を私邸にさひ會見は一時四十五分終了したが、內相は協力內閣を飜意せざる旨述べ、交涉は決裂、辭職勸告に對してもその理由無くとの理由で拒絕した、尙內相の辭表は總辭職決定の上提出すると申し出た

斯くて閣議は午後續開總辭職を決定した

與黨の態度を協議

總務會、政務官會議開催

【東京十一日發】黨出身閣僚側では十一日の定例閣議に先立ち、安達內相を加へた黨出身のみの閣僚會議を開催し、內相の最後的決心を聽取の上政府としての方針を決定することゝなつてゐたところ內相は今朝九時川崎幹長に對し表面所勞と稱し今朝黨出身閣僚會議に出席する積りで昨夜返答へしてゐたが自分は身體の具合が惡いので今日の閣議には出席出來兼ねるからと、若槻首相初め各閣僚にお傳へを乞ふ旨の電話があつたので、川崎幹長は直に首相に報告の結果、黨出身閣僚會議は暫く見合せ午前十時半より定例閣議を開會する一方、民政黨の態度決定のため午前十一時より丸の內常盤において緊急總務會を開催し、尙午前十時から首相官邸で緊急政務官會議を召集し態度につき協議した、なほ與…

後繼內閣の觀測

協力內閣說が有力

內政外交の難局に鑑み

【東京十一日發】協力內閣問題に關し政府は暗礁に乘上げた、歲末では…內外多事の際として非常な衝動を與へるを以つて一日も早く政局の安定を圖られねばならぬ

安定期待

貴族院側觀測

【東京十一日發】協力內閣問題…化し政界は俄然重大化して來たが右につき貴族院側は左の如く…てゐる

政局速に

…黨の風見章、杉浦武雄、川崎…山田道兒、田中養達諸氏は今朝…時半麻布廣尾の自邸に安達內相を訪問し內相の意嚮を聽取した

【東京十一日發】若槻內閣の總辭職は決定的のものとなり後繼內閣がいづれに落着くか、政局は刻々微妙な空氣に支配されつゝあり、組閣の大命は西園寺公に御下問あるべく、過般の安達、久原兩氏の西園寺公訪問で相當諒解を求めたことは事實なので、時局多端の際激烈なる政爭を避け兩黨協力して政局に當る諒解の下に降下するものでないかとの觀測が政界有力者間に行はれてゐる、而して重臣、樞府、貴族院方面は內政、外交共に難局なれば單獨內閣では對議會關係において幾多の支障あり協力內閣待望の空氣濃厚で結局政權の落着きどころはこの變化と見られてゐる

大命再び若槻男に

降下を政府首腦部期待

【東京十一日發】協力內閣問題は一俄然政局を重大化し將來若槻內閣は閣內不統一の責を負ひ總辭職を敢行する事は確定的となつた、後繼內閣に關しては政府首腦部は大命再び若槻男に降下するものと期待してゐる

久原、安達兩氏

新黨樹立說

政、民分解作用を豫想

【東京十一日發】安達內相、富田一派は後繼內閣は高橋是清翁に降下あり、之により政民兩派の協力內閣が出來るものと確信して居る、同時に政友會より久原幹事長、民政黨より安達派が離脫し分解作用を起し新政黨を作つて新內閣を支援する事になるであらうといつてゐる、然し此場合新政黨に入るものは優に議席の半數以上に達すべく議會の解散なくして政局を處理し得べしといつてゐる

黨出身各閣僚

今朝來奔走

【東京十一日發】井上藏相は十一日午前八時半青山に江木前鐵相を訪ひ財界諸般の關係から協力內閣の反對を力說し、午前九時過ぎ同じく江木前鐵相を訪問した櫻內商相と三人鼎座し善後策に就き熟議した結果、櫻內商相は更に午前九時半山本達雄男を訪問、また井上藏相は午前十時江木邸を辭し直に若槻首相を官邸に訪ひ、また田中文相は午前九時半山本達雄男を訪問し、原鐵相は同時刻に町田農相を訪ひ各閣僚それ〴〵協議を凝してゐる

奉天に着いた鐵道聯隊の一部隊（きのふ奉天驛にて）

內相民政黨を脫黨

同志八十餘名に上らん

【東京十一日發至急報】安達內相は民政黨を脫黨することに決定したもの〻如く郎黨は八十餘名に上るといはる

余の主張鐵の如し

閣議不出席の安達內相語る

【東京十一日發】所用と稱して十一日の重要閣議に出席を斷り麻布廣尾の自邸にある安達內相は左の如く語つた

我輩の主張は鐵の如き固い意志を以て今後と雖も終始する方針である、今日は病氣のため閣議には出席しなかつた

西園寺公の意中

犬養總裁說も傳ふ

【東京十一日發】後繼內閣は若槻男に大命再降下說、高橋是清氏に對する協力內閣說等行はれ居るが一面犬養政友會總裁への大命降下說が行はれてゐる、卽ち西園寺公は國論一致には若槻內閣をして自信を遂行せしめたが可いと漏らした事あり、此點より園公に勅問ありたる時は憲政の常道よりして園公は政友會の犬養總裁に大命降下方を伏奏するのでないかとの見方である、然し園公は絕對に協力內閣を不可とするものでない、政治には無理があつては可くない、大勢に順應すべきものであるとの議論であるから協力內閣が大勢となつて來た以上、園公が强て之を阻止する事はあるまじく國事多端の場合國內の紛糾を避くるため議會解散、總選擧等を無くするため協力內閣の內容を以て新內閣を組織するに至るやう取計らはるのでないかといふのである

機を觀て學良下野

【天津特電十日發】當地各方面では反張運動日に日に熾烈となるので張學良は部下を處置し機を見て下野通電を發するものと觀てゐる

學良失脚近く

天津動搖

【天津十一日發】奉天より當地に避難し來つた人々は年末に至るも事態斯くの如き狀態にあるので全國各團體に向け張學良攻擊通電を發した、一方學良失脚近きにありとして支那敗殘兵の侵入掠奪を慮り當地では自宅に鐵條網を張つて警戒してゐるもの多數で、公安局より電工出張してこれを取除くも又これを張り直してゐる有樣で一般市民は如何に奉天軍を毛嫌ひしてゐるかゞわかる

蔣、汪妥協

成立說

【上海十日發】支那側の情報によれば廣東派中の汪精衞氏等改組派と蔣介石氏一派との間に妥協成立したと傳へられ、右が事實とすれば第九次全國代表大會で選ばれた執行委員の頭數より見て蔣、汪兩派を合して過半數の四十名以上を占むる事となり、蔣、汪兩派の聯立政權が確立さるゝ事となり胡漢民氏一派が置き去りを喰ふ譯である

吉林政府の交涉署

吉林長官公署に交涉署が設置されその署長に謝介石氏が任命され長春延吉にも公署辦事處を設置することになつた【奉天電話】

支那內政上の重大なる一轉機として成行は最も注目されてゐる

錦州軍依然

戰鬪準備

錦州方面の敵は依然戰鬪準備を行つてゐるが十日皇姑屯に在つた枕木一千噸を戰鬪作業に使用のため大虎山附近に輸送した【奉天電話】

林總領事歸任

【東京十一日發】去月十七日外務並に軍部との打合せのため上京した林奉天總領事は十日午後九時四十五分東京驛發、奉天に直行した

號外發行

聯盟理事會並政局重大化に關し十一日號外を發行す

日支紛爭の解決には特殊の方法を執つた

ブ議長の結論英代表も贊成

公開理事會の議事

【パリ十日發】最終の聯盟公開理事會は本日午後四時四十五分（滿洲時間十一日午前零時四十五分）佛外務省に開會、芳澤日本代表は匪賊並にその他不逞分子討伐權を留保聲明した

支那代表の聲明要旨

次いで施支那代表は左の如き留保聲明をなした（十一日號外續き）

六、支那は中立國オブザーバー及び他の諸國代表の報告に關する現在の制度を繼續し且つ改善せんとする目的を諒承するものである

七、日本軍の鐵道地帶への撤退を期する本決議案に同意するに當り、支那は軍隊を鐵道地帶に維持する事に關し支那は從來の立場より決して讓歩するものでない事は諒解されねばならぬ

八、支那は其領土的或は行政的保全に影響する政治的精神の紛糾を齎らさんとする一切の日本側の企圖を以つて誓約の明瞭なる侵犯行爲であると見做すものである

次いで英のセシル卿起つて理解ある態度で日本留保を支持し次ぎの如く述べた

余は日支が決議案を受諾した事を感謝するものである、日本は決議案の二項につき聲明されたが滿洲事態は極めて困難且つ例外的のものである、從つて日本人の生命財產が危殆に瀕する場合、日本軍は匪賊討伐の必要が生ずるであらう

而して事態回復すれば直ちに之を停止する事を明かにした事を多とするものである

次いでスペイン代表マダリアガ氏はセシル卿の言に贊成し述べて曰く

余はセシル卿と同感である芳澤氏の演說に深く感銘した、芳澤氏の言は決議と何等矛盾する所はない

ブリアン議長は次いで決議案を表決に附し十四國代表全員一致贊成した、時に五時十分、それよりブリアン議長は滿洲事變の發端より解き起し日支紛爭の全般的結論をなして曰く

理事會は撤兵につき何等期限を確定しないが、我々は可及的速かに撤兵の行はれん事を希望する、今回の紛爭は九ケ國條約、聯盟規約並にパリ不戰條約にも關係あるが、極めて特殊的事情に鑑みかゝる特殊方法を執らざるを得なかつたのである今回の紛爭に對する聯盟の功績は戰爭に對する脅威を回避し戰鬪の脅威抑制に寄與した、今後事態の起る事は絕對に避けねばならぬ、又起らざる事を期待する權利を確實に有するものであると確信する最後に余はアメリカが理事會に協力した事を多とするものである

次いでセシル卿は再び起つてブリアン議長の結論に贊成演說を爲しに非公式會議を開き本日の決議に基き調查委員の件並に滿洲事態の進展に引續き接觸を保つべき件に關する取極めに就き種々協議した

次いでペルー代表ブラダ氏は何れの國家も他の國家に對し武力を以つて條約を承認せしむる權利を持たない又一旦他の領土を占領して直接交涉に入る事は畢竟武力の下に之を開始せんとするもので之亦正當でないと述べその他グワテマラ、ポーランド代表の簡單な演說に次ぎブリアン議長再び施基氏を壓き施代表は不戰條約聯盟規約が滿洲に適用されざるを不滿とし、更に鐵州軍隊集結を否認し最後にブリアン議長の功績を讚へ斯くて波瀾重疊の第三次聯盟理事會も二十五日の後茲に幕を下した、時に午後六時二十五分

わが主張貫徹

萬事上首尾で愈よ終幕

【パリ十日發】本日の理事會公開會議は豫想通り徹頭徹尾日本の主張通り終結、一ケ月に垂んとする第三理事會々議の幕を閉づるに至つた、日本の主張は實質的に總て通り最後まで一の未解決問題として殘つた匪賊討伐權の問題も芳澤代表の留保條件に對しセシル卿とマダリア氏が好意的發言をなしたのみで小國代表も亦日本に都合宜しき發言をなさず萬事上々の首尾であつた

非公式會議

【パリ十日發】公開會議終了後更…

調查委員會構成

兩三日詳細に協議

【パリ十日發】一月二十五日まで厄介な問題から開放された理事會各代表は早速卽夜パリ出發、歸國の途に就く事となつた、英代表セシル卿は明日パリを去る、一方起草委員會は今後兩三日パリに留まり調查委員の構成を詳細に協議を遂げる事となつた、英側は駐佛英大使チレル氏がセシル卿に代り起草委員會に出席する筈

米國決議案同意

ドーズ米代表言明

【パリ十日發】日支兩國を含む全員一致の贊成に法的效力を發生した理事會第二次決議案に對し米代表ドーズ氏も同意承認の旨言明した

調查委員

任命協議

十二ケ國會議

【パリ十日發】公開理事會の後十二ケ國會議を再開し支那調查委員國を任命する事になる模樣で同委員國代表はブリアン議長に對し同委員國政府に向け委員の人選を提案せん事を要請すべしと期待されて居る

ド大使歸還

【パリ十日發】ドーズ大使は午後三時ドラモンド氏と會見、日本の主張する支那軍を關內に撤退せしむる件につき協議したがド氏は今日中に解決の見込ありとし十一日正午當地發ロンドンに歸還の豫定であるといつて居る

廣東側救國會議

汪氏の名で召集通電

【上海十一日發】廣東代表一行は十日着滬後孫科氏宅で汪精衞、鄒魯兩氏及び陳銘樞氏を交へて廣東四全大會の經過を報告し廣東委員入京は蔣介石氏下野を前提とする旨を告げ約二時間に亙つて協議したが何等決定を見なかつた、尙昨日附汪精衞氏は個人の名義で全國各級黨部政府及び民衆團體に宛て國民救國會議の召集を提案した電報を發したが、之は南京側で問題となつてゐる國難會議と同樣の性質を有するもので汪氏が南京廣東間を何とかして聯絡せしめんと企圖せるものと觀らる

顧部長辭意固し

蔣氏の勸告に應ぜず

【南京十日發】顧維鈞氏は蔣介石氏の勸告を固辭し本日又辭表を提出したが、明日の國民政府會議では多分顧維鈞氏の辭表を承認に決するものと觀られ、顧維鈞氏の外交部長は三日天下に終る形勢である

人事

▲豐橋陸軍教導學校一行山田每中佐外四名　十一日入港はるびん丸にて來連
▲林歌子女史（婦風會副會長）同
▲久布白落實女史（同理事）同
▲第十師團管下在鄉軍人代表秋育彥氏以下十二名　同上
▲加藤湛温氏（日蓮宗社會課長）同上
▲平間壽本氏（滿洲開教司監）同上
▲橋本康平氏（旅順第十六驛逐隊主計長）同上
▲船石晋一氏（滿洲醫大教授）同上
▲原田甲之氏（帝國在鄉軍人聯隊後月郡聯合分會副長）同上
▲瓜谷長造氏（特產商）同上
▲池內直清氏（檢察官）思想事情視察の爲二週間の豫定で十一日出帆長春丸で上海へ
▲村上義一氏（滿鐵理事）十一日朝奉天より歸連
▲首藤正壽氏（同）同上
▲藤井津三氏（大連署保安主任）事務打合せのため十一日開原訪問

蛇角

國際聯盟理事會決議案、聯盟の主張通り。練りに練つて遂に可決、大體…

◇

國聯は何を爲した、支那は國家の概念にはあてはまらぬ國である事、滿洲は世界の特殊地域である事、聯つて日支關係には第三者の立入り難きものである事を世界に知らしめた。

◇

我芳澤代表は此處に全く男を揚げた、實際其功績たるや…

◇

支那學生團の暴動愈々險惡、京政府危殆に瀕す。

◇

蔣汪聯盟運動く、三民主義…語る、內戰にも飽きた支那…日、苦るしい蔣介石更生の策…

『東亞の謎』休載

打倒國民黨を目標に國家主義青年團指導

胡漢民氏から資金を受けて擴大する學生運動

【上海特電十日發】學生運動の取締り彈壓に就いては政府はこの上の惡化を恐れて彈壓を差控へてゐる狀態であるが當局は施す術なく昨夜の眞茹驛の線路破壞等鐵路局側の學生制止の苦肉策で濟南の砲彈列車爆發も同じ手段だと云はれる、而して學生運動今後の發展如何によつては內政上重大結果を齎すものとして注目されてゐるが、之が中心の指導者は北平及び上海地方に勢力を有する國家主義青年團で打倒國民黨を目標に廣東胡漢民氏から資金の供給を受け目下市黨會方面五十餘の公會と連絡をなさり上海の全罷市を行ふ可く策動してゐると云はれ形勢は豫斷を許さざる模樣である

南京暴動化せん

北平濟南から四千七百名到着　要人の身邊を嚴戒

【南京十日發】濟南及び北平の大學生四千七百名は本日午後五時相ついで南京に着京し金陵、中央兩大學に分宿したが、途中我領事館前に於て先づ打倒日本帝國主義その他のスローガンを叫んで入京の挨拶代りの第一聲を擧げたが、明日からは南京學生も合同して更に大騷ぎを始むべく恐らく暴動化するに至るべしと豫想され人心恟々として既に國民政府各機關要人の身邊等は今夜から嚴重警戒され南京は學生運動のため全く恐怖の街と化した

日支問題の武力解決を叫びハンスト決行

日貨取扱者を罰する

【漢口十日發】當地學生は滿洲問題に對して無力なる國民政府の外交交渉を不滿とし一部のものは十日朝よりハンガーストライキに入り日支交渉は宜しく武力によるべしとなし募兵に應ずるといきまいてゐるが日貨ボイコットは更に猛烈となり沒收した日貨は一寺院に集めて監視を附し日貨取扱者はきびしく罰してゐる、なほ漢口政府の山地山嶽地帶は共匪盛に出沒し無警察狀態を呈してゐる

上海の各租界嚴重に警戒

けふの廣東記念日に大々的大示威運動說傳はる

【上海十日發】今朝まで市政府に集つて威嚇を擧げてゐた學生團は張群市長から公安局長陳其宗氏を逮捕三日以内に處分する旨の

約束

と學生の愛國運動を阻止せぬとの聲明を聞き又昨日行方不明となつた河南大學學生代表の身柄を引渡したので張群市長の意を諒とし凱歌を擧げて十一時すぎ全部解散したが、張群氏は右の事實を南京に報告すると共に責任を負つて辭表を提出した、一方學生團は午後二時から南洋大學内に大會を開催今次の事件並に之等の最後要求に對する蔣介石氏からの回答に就き審議をなしつゝあるが大擧赴京する事に決するだらう、なほ學生は昨日南京代表と北平代表を攫はんとした

一味

の一名を取押へ目下取調べ中だが市黨部から使嗾された事を自白し居り學生の市黨部に對する感情は益々惡化した、斯の如く學生が運動を開始するに至つた裏面には當地にある汪精衛氏以下廣東一派の煽動もあると云はれ明十一日の廣東事件記念日を期して更に大々的示威運動が行はれるとの風說が傳へられ支那側始め各租界共特別警戒を行つてゐる

罷市を要求

市長各校長連袂辭任

【上海十一日發】市政府占領に勢ひを得た當地學生團は昨日交通大學で大中學緊急會を開き大學二十七中學四十三の代表二百餘名會合し國際聯盟起草案拒絶を國府に電請する件等討議し可決之を國府へ打電した、然し二十四時間に回答を要求の電報に對する政府回答に對し大學側は之を不滿とし商工業罷市を要求するに反し中學校は政府回答に滿足し罷市に反對し茲に兩者の分裂となり形勢緊張を示したが結局中學側が說き伏せられて一先づ散會この問題は本日意見を纏め明日又聯合會で決定の事となつた、なほ學生騷動の責を負ひ昨夜上海市長張群氏が再び辭表を提出し關係各大學中學校長連袂辭職を提出し混雜を極む

上海市長の擁護決議

學生團打電

【上海十日發】學生團は午前十時に至り漸く鎮靜に歸したが市長張群は南京政府に對し昨夜の騷擾の責を負ひ辭表を提出したこの報に接した學生團は緊急會議を開き「學生團の要求を容れた張群を擁護すべし」と擁護的決議をなしその旨國民政府に打電した

雨から雪へ。。けさ中央公園で

軍隊慰問團來る

駐滿軍隊慰問のため第十師團管下在鄕軍人聯合支部では十四萬在鄕軍人代表として步兵大佐狩野育彥氏を團長として一行十三名が意氣頗る盛んなところを見せて十一日入港はるびん丸で來連した、また豐橋陸軍教導學校教官山田梅二中佐外四名は軍隊慰問のため十一日入港はるびん丸で來連した（寫眞上圖在鄕軍人慰問團、下圖教導學校慰問團）

滿蒙平和の確保を打電請願

昨夜の奉天市民大會

全滿日本人聯合會本部主催緊急奉天市民大會は十日午後六時半より春日小學校講堂に於て開催された時節柄會場目ざして參集する市民會場に滿ち、先づ萩原氏の挨拶に次いで大會の決議文を朗讀し滿場一致贊成し、終つて錦州事件に關した大演說會に入つたが、萩原、青山、上田、鯉沼、吉田氏等を始め十餘名交々立つて熱辯を揮ひ大いに意氣をあげ、九時過ぎ散會した、なほ決議文は左の如くであるが、直に各關係要路に宛て六十六通を打電した

わが皇軍が遼西より撤退したる後、舊東北軍閥は數萬の正規兵を關外へ進出せしめ敗殘兵と馬賊を集結し之に金錢及武器を與へ、隨所に出沒して邦貨掠奪をほしいまゝにし我軍の守備區域を侵し我れに挑戰の態度に出づる等、不信義にして暴虐なる行動を執りつつあり、爲めにわが鐵道沿線並びにその附近は之が脅威を受け、極度の不安を感じ我軍警は之が討伐に惱めり、而して舊東北軍閥錦州假政府の存在を看過するは東北省の治安を維持するの途に非ず政府はこの際皇軍をして關外に於ける舊東北軍閥を徹底的に掃討し、錦州假政府を解消せしめ、以て滿蒙の平和を絕對に確保するの途を講ぜられたし、右奉天市民大會の決議を以て要望す【奉天電話】

三年修了の乙種商業學校に

市立商工學校の改革成案をけふ主査會議で協議

大連市政三大案の一つと云はれてゐる大連市立商工學校の問題に關しては廢校すべきか或は存續すべきかは市調査係に於て鋭意調査中であつたが、此程いよいよ成案を得たので十一日午後二時から主査會議を開き提案される事になつた廢校は何時でも實行可能の事故別箇の問題として考慮し存續する事を前提として調査した者であるが存續するとすれば現在のまゝでは生徒數も尠なく從つて一人當りの經費も多額に上る割合には教育的効果が尠ないので自然改革を必要として來るが調査後では學校以外の利用として婦人會、授産所學校として職業學校、工業學校等種々立案して見たが結局商業學校乙種三年修了を最適の案として結論を得た模樣である

なほこれに對し五年終了の說もあるも調査後において強て三年制としたのは年度を短縮し時代の趨勢に適せしめ一般職業智識を授け以て教育の實際化を圖り實質的人物を養成し就職を容易ならしめんためで經費の點並に現學校の校舍および運動場の收容力をも考慮に容れての案らしい

右案による時は現校舍並に運動場が二百四十名の收容力あると假定し現教職員數を以て例へ二級を受け持たしめても何等の支障を來さないから二級制（一級四十名定員）を採る事とすれば豫算も一年度は從來と大差なく二年度は四級となるから教諭二名を增員し三千圓三年度は六級となり教諭十二名を要する故四名の增員を必要とするから六千圓を增額すれば足ると

滿鐵全社員が醵金し慰問

戰死者遺族傷病兵を

滿鐵社員會は同胞の生命財産並に權益擁護の爲犠牲となつた戰死者遺族並に傷病兵に對して適當な慰問方法を講じ感謝の意を表すべく研究中であつたが全社員が擧つて多少に拘はらず醵金してこれら遺族及び傷病兵に贈るのが最も効果的であらうと云ふに一致し近く社員會から全社員に通牒することゝなつた、醵金は本月の給料中から差引くもので月給の百分の一を一口とし一人數口を大體の標準として任意に口數を申出ることゝなつてゐる

滿鐵忘年會中止

時局に鑑み內外共に

滿鐵本社では毎年暮には滿鐵に關係深い官公吏、實業家、新聞雜誌社長等各方面の人士をそれぞれ招待し盛大な忘年招待會を催す例となつてゐるが本年は中止すると又社內首腦部の忘年會も時節柄中止すると

大連青年團慰問使

女子部も派遣

大連青年團では滿洲事變獻金募集をなした募集金が一千二百餘圓に上りこの際軍隊慰問使を派遣することゝなり同時に今回青年團女子部を創立し等しく代表を選み團長小野實雄氏引率のもとに一行十二名十二日夜十時大連出發、奉天へ赴き軍司令部へ獻金し歸途湯崗子の傷病兵を慰問し十四日朝七時歸連豫定である

喜んでお手傳ひ

林、久布白兩女史來る

滿洲における婦人團體の眞摯な活動は內地の婦人團に反映してゐるが、この運動の應援と駐滿軍隊慰問のためキリスト教婦人矯風會副會長林歌子女史、同理事久布白落實女史が十一日入港はるびん丸で各方面婦人代表多數の出迎へを受け來連したが林女史は六十八歳の老齡にもかゝはらず恐ろしく齒切れのよい口調で沖まで出迎へた記者に語る

滿洲では今度各地婦人團が聯合して全滿婦人聯合會なるものを結成しこの大きな國難時に處して獻身的な運動を起されてゐるがこの運動は全く我々の意志とピッタリ合ひ是非出來ればお手傳ひしたいと思つてゐたところ同婦人團より來てくれと依頼を受け實は欣喜して伺つたものである【寫眞右林女史、左久布白女史】

師走の聲は―警察の廊下から

金次第の年の瀬を越そうと急ぐ今年の總決算

師走のあわたゞしさは先づ警察署の廊下から描き出される、この頃の大連署保安係は借金の說諭願、家出の捜査、酌婦の前借に女給の紛議、さては給金やら貧困者寄附受付けで目の廻るやうな忙しさ、何んといつても地獄の沙汰も金次第の年の瀬をあと三旬に控へて不況に終始した一九三一年の總決算をしようといふのだから借金の說諭願が係官の机上に山積し、借りた方でも三分の理があると見え、喧々囂々の議論、越すに越されぬ年の瀬を控へて集金を持逃げされ泣き面に蜂で捜査願ひを出す者、借金逃避の旅行が飛んだ家出のナンセンスを生むかと思へば、食ふに食はれぬ身寄なき身をどうかして下さいと警察へ持ち込むルンペン君やかさうに見える一流どころの姐さんが繰り出す花柳界の不況に僅かな前借を願出て花柳界の不況を裏書きするなどこゝもの保安係には一番濃厚な暮氣分が彩き出してゐる、また殺伐な司法係なのそけは犯罪季節だけあつて籠抜け、掏摸、窃盜、詐欺の財産犯が不況に比例し激增加し留置場は滿員九日の寺內通の強盜捜査に疲れた刑事連を慨ましてゐる「お陰で三日間妻子の顏を見ないよ」と寢不足の顏で刑事が悲鳴を揚げる說問係は貸した金を返さぬ相手を詐欺で訴へたのや議會の不始末を刑事問題にした告訴狀が毎日十件以上提出され「年內にはとても片付かぬ」と四名の係官が汗だくである

新城子嚴戒

附近に匪賊團

虎石臺守備隊川島大尉は六十名を率ゐ十日午後七時新城子に到着、新城子北方八家子方面部落に三百名の匪賊來襲の報あり避難民續々新城子へ殺到せるため警官隊と共に附近の警備を嚴にしつゝあり守備隊は形勢により十四列車に搭乘歸隊する豫定である【奉天電話】

騎馬匪賊擊退

十日午後九時公太堡派遣隊の報告によれば車口營子を掠奪中の約二十名の騎馬賊團と遭遇した警官隊は砲火を交へ一里北方に擊退したがわが方が被害なく馬二頭を鹵獲し零時引揚げた、なほ公太堡の北に銃聲頻りに聽へ偵察中である、目下附近に大好な頭目させる五十の騎馬賊移動中である【奉天電話】

遼陽の大會

遼陽では十日午後六時半から公會堂に於て日本人大會を開き時局に關し左の宣言決議をなし直に政府當局並に各要路に打電し引續き有志の熱烈なる演說あり午後十時散會した【遼陽電話】

宣言

滿洲の新政權は既に確立し諸政その緒に就けり、而るに錦州政府は正規兵數萬及び馬賊を糾合し皇軍に挑戰行動に出で各地舊軍閥と通じ常に四省を攪亂し今や奉天省城包圍の形勢にあり、これを放置するに於ては一大禍亂を惹起せん、わが皇軍はこれが禍根を絕滅するため速に錦州政府を掃蕩すべし

決議

滿蒙平和のため錦州政府の擊滅を期す

日蓮宗慰問使

日蓮宗の駐滿軍隊慰問使本山蓮永寺住職僧正平間壽本師並に同宗社會課主事大僧都加藤通温師は十一日入港のはるびん丸で來連直に大蓮寺住職松村壽顯師同伴市內各方面歷訪挨拶、數日大連及び旅順に滯在して戰歿者の慰靈供養をなし十四日大蓮寺において執行される滿鐵殉職者伊東萬次氏の葬儀にも參列の上奉天その他奧地駐屯軍慰問に向ふ筈

船中で座談會

十一日入港のはるびん丸は時局に刺戟されて軍隊慰問、傷病兵慰問のため宗教家、軍人その他多數を乘せて來たが十日船中においてキリスト教矯風會林歌子、久布白落實女史步兵大佐狩野育彥氏日蓮宗社會課長加藤通温氏等參集のもと支那問題につき座談會を催した

共匪蒲圻襲擊

【漢口十日發】共匪軍二千は江西より湖北に侵入し武長沿線の蒲圻城（漢口の南約二十五里）を突如襲擊し新編十二師の一部も共匪に寢返つたので同地一帶は共匪の手に陷ちた武漢から一、二日行程の近距離なので武漢は俄に恐怖に襲はれて居るが行營は應急策として第四十一師の一部を今朝急派し引續き對策攻究中である

方面委員總會

關東廳方面委員は十一日午後三時から滿鐵社員俱樂部に於て第四回總會を開き左記議案に就いて協議する

一、方面事業報告
二、歳末同情週間實施に關する件
三、入船に便宜取計の件
四、カード者に對する葬儀貸特約の件
五、方面委員の請求に係る戶籍謄抄本の手數料に關する件
六、方面委員取扱實例報告（第一方面中川委員、第二方面永井委員、第三方面福田委員、第四方面委員香宗我部委員）

天氣豫報　十二日　北西の風　曇後晴

各地溫度

	十一日午前十一時	十日最低
大連	三、七	零下五、七
旅順	二、六	同　五、七
奉天同	八、〇	同　一三、六
長春同	一一、五	同　一七、八

けふの小洋相場（正午）　金百圓は二一〇圓八五錢

暗流阿修羅館 (269)

生田蝶介
挿畫 藤井耕達

傾く大樹 (四)

「どうも、あの新左衛門が解せない」

意次は、どうもあの人物が疑問に思へてしかたがなかつた。

時か、「怪しい奴のやうな氣がする。何、白書忍術によつて近づいて來た。あの、私と上樣との話を聞かうとした男は、確にあの男だと思ふが……また、あの丸八の大金の行方も、どうもあの男がやつたことのやうに思はれる。私の仕事の先へと廻つて、大仕掛で事をして行つた……あの男がまた、今日ぬけ〳〵と一橋殿からあのやうな使者に來た。伴天連のやうな男だ」

それから意次は何か考へてゐたが、紙をのべて一本の長い書面を書いた。

そのあて名は、遠山左衛門殿、とした。

「あのやうな破目になつて、妙な睨み合ひこになつてゐたが、新左衛門を調べ得るものは彼より他にはあるまい。このやうに辭を低うしたならば、あのやうに俠氣のある男、尾羽打ち枯らした私を氣の毒に思つてきつと來てくれるであらう」

小姓を呼んで、仲間に、この書面を屆けさせるやうに命じた。

「急いで……それから、要を呼べ」

小姓はかしこまつてさがつた。やゝして、鰹捷らしい若侍が來た。

「要か、其方のもとにはまだ佐々木周太郎のところから時々書面なり消息なりがあらうな」

「はい、昨日も參りました」

「本人がゝ、書面がゝ」

「書面が」

「こんのいゝ男ですな、まだ山村氏を狙つてゐると申して來ました」

「わかるものか、もう一年以上にもなるのに、かすり傷一つつけることが出來ないといふ事があるが相當に腕も出來てゐながら、一圖にそれにばかりかゝり切つてゐて何といふことだらう、うまいことを云つてゐて、のんきに遊んでばかりゐるのであらう」

「さうでない容子でございます。山村氏は實に不思議な人物らしいので、なかなか手が出せないのでございませう」

「とにかく、あの男に私は逢ひたい、逢つてよくきゝたいことがある。何とかして、今日明日にこゝへ來るやうに云つてくれないか」

「殿樣に、まだお目にかゝたことのないあの男ですから、殿樣が直々にお逢ひになると云つたら、どの樣に光榮に思ふかしれません。それでは、すぐに探し出して、今明日のうちに連れてまゐるでございませう」

「さうしてくれ、しかし、もう儚きかけた田沼の桂だ、何が光榮に思ふものか、天下の大罪人ぢやからの」

意次は淋しさうに苦笑した。

要が去ると、忠徳が現はれた。

「父上」

「おゝ」

と云つたが、意次、濟まない顔をなして横を向いた。

「父上」

「何ぢや」

「暗ゝなりましたな」

「暗いな」

「灯をともしませうか」

「あゝ、つけてくれ」

「父上は泣いておいでゝございりまするか」

「いや、別に泣いてはゐない。私は泣いたことがない。泣けないのぢや」

「最早、事、こゝに到りましたからには江戸にゐても詰りません。さうはお思ひになりませんか」

「私には、もう何もわからぬ」

「江戸から去つたらいかゞでございります」

キネマと演藝

三二年度のスター(二) 松竹は誰れ？

松竹はと見ると傳明一派の選社から多數新人の入社あり、まさに三二年度はこれ等スターが第一線に

あす公開の 舞踊會 愛國舞踊上演

時局に振ひ立つた大連舞踊研究所の義捐舞踊會は明十二日午後七時から協和會館で開催される、柳木氏が自ら舞臺に立つのが人氣を集めてゐるがサキ舞踊研究所の田中佐々市氏も助演することになつたプログラムはいづれも精練せられたるもので殊に小野京子孃が主演する「守れよ滿洲」は子供心にも滿蒙の權益は守られねばならぬと云ふ堅い決心を表したものであり村岡樂童氏作の行進歌「振ひ立つ可き」は過日護國祈願祭に全市に高唱されたもので舞踊化されて一層愛國の血潮が高鳴るだらうと期待されてゐる、なほ座席券は午前中に引換られたしと

活躍する事であらう、蒲田は城多二郎は既に大物として賣り出され江川宇禮男、清水將夫、水上幸夫とては美濃部進の改名した岡讓二も更生してゐる、田子明も亦三二年の人となるらう、女優軍は「生活線ABC」「麗人の微笑」の泉博子や絹川京子、音羽みゆきを斷然人氣ものにしようとある、この外務島黎子、香取千代子、兵藤靜枝明山靜江、江木秋子の美しいところも大馬力をかけることであらう下加茂は蒲田から移つた飯塚敏子が「唐人お吉」その他にいよ〳〵拔擢されて明年にはますます輝くにちがひない「悲戀大姫塚」の井上久榮も亦賣出される、又右太衛門プロダクションでは大江美知子の外に春日陽子といふ美人を賣り出さうとして宣傳を開始してゐる

東活實演隊 沿線巡演 正月興行中に

正月第一週に大日活に上演する東活現代劇部男女優の實演「出征夜話」は大連打揚げ後直に旅順昭和園を振出しに奉天奉天館、長春演藝館、撫順黎明シネマを巡演することに決定した

觀世會納會

大連觀世會では來る十三日正午から同會にて納會を催すが、番組は左の如くである

▲素謠 葛城、橋辨慶、三輪、大江山、船辨慶、紅葉狩、鐵輪▲獨吟 三井寺、天鼓、籠太鼓蘆刈、松風、放下僧、柏崎、蟬丸、女郎花、富士太鼓、融、班女、鉢木、鐵輪、阿漕

故大山峯月の香奠返し獻金

過日死去した前南座解說者故大山峯月氏の香奠返しは各關係者協議の結果、之を廢し金一封を軍隊慰問に寄贈した

話の噂

東活實演隊の用件で奧へ行つた長大日活館主が大體沿線の日取を極めて昨朝歸連した▲これと入違ひに常盤座の小泉氏が内地へ正月興行の準備に急行した▲プランは内定してゐるが、二十日頃に到着する發聲機を待つて第一週のプロを決めるらしく▲第二週はどうやらレザユウになる見込みで一切は小泉氏が内地に行つて確定してから計畫を秘してゐる▲またけふの船では小笠原雷音君らが歸り十四日の船では中野帝國館主夫人が歸り▲更に同船で松竹の事務員が來るが、確定した正月プロを持つてゐる筈である▲南館が大阪で内定して歸つた正月プロは第一週「生活線ABC」と「なげ節彌之」前篇▲第二週が「賢兄愚弟」と「なげ節彌之」後篇、第三週が「マダムと女房」と「眞理の春」である

買物ニュース

▲山内履物店 は年末謝恩として履物の一切を思切り大安賣をなし、表附五十錢均一、一圓均一等前例のない奉仕値段で提供すると

▲滿壽屋モスリン店 は五日より月末迄モスリン類の破格提供でモス着尺二圓三十錢以上、モス友仙大巾十三錢より、平絹友仙半巾一丈一圓五十錢よりの最低値であると

▲柳本吳服店 は本年掉尾の大安賣として、本場銘仙三圓三十錢より其他格安品を景品附で大見切り提供すると

▲白木屋洋服店 註文ハゾレ年末整理品の大見切大賣出しをなしてゐるが、品質が良くて、値段が安價なことは同店獨特の奉仕振だと

▲伊藤吳服店 歲暮品の五分より五割引大賣出中で、特に八日から十錢マーケットを開き、人氣を高潮させてゐる

▲ラクダ屋本店 は子供服とオーバの陳列廉賣會で、新柄を豐富に、値段を破格にして提供してゐる

▲勝又洋服店 は既製洋服の全商品を福引附大賣出中で、註文品と相違のない良品を斷然最廉價で奉仕するので人氣が良い

▲野崎洋品店 歲暮贈答品を豐富に取揃へ大特價提供と銘打つて大馬力をかけてゐる

本社特選 新棋戰 (其八)

平手番 香交 七段 △溝呂木光治
六段 ▲山北孫三郎

【圖は三七歩迄の局面】
△溝呂木氏「持駒」銀歩

▲山北氏「持駒」銀歩歩

△二三歩成　▲三四銀
△二八飛　▲二三銀
△七五歩　▲二七歩
△五八飛　▲四五歩
△七四歩　▲八四角

【土居八段講評】△山北君の二三歩成は一見無益な手段の如く看ゆるも敵に大事な銀を使はす意味に於て却つて安全第一の好手段である△而して今度は方針を變更し七五歩と突き、敵の防備の薄い七筋より大駒を壓迫の工夫を採つたのは良い。

【萩原六段解說】山北氏の二三歩成は敵に三四銀と打たれて損の樣だが、敵に手駒を費さす意味である。續いて二八飛も、三三と、二四銀、同角と指しても自玉が飛車を持たしては薄いし、二八飛と指したのである。山北氏の七五歩は二四銀と攻めても三八歩成があり敵の左翼は堅くなつたから六筋の位勝を利用して七三角を目標に攻めたのは大勢を見てよかつた。溝呂木氏の二七歩は同飛なら三八歩成を含んでゐる。續いて四五歩は敵の四六角出を避け、四四金と上る含みにもなつてゐるのである。

昭和六年…第三種郵便物認可

満洲日報

發行人 …… 編輯人 …… 印刷人 ……
發行所 大連市東公園町… 株式會社満洲日報社

定價 一ヶ月 金一圓二十錢 一部 金五錢
廣告料 普通一行 金二圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

若槻首相參內して闕下に辭表捧呈

きのふ午後五時卅分

【東京十一日發至急報】若槻首相は本日午後五時三十分參內闕下に辭表を捧呈した

牧野內府參內し御下問に奉答す

宮中重臣ら出仕協議

【東京十一日發】慌しき邊では牧野從來の空氣に鑑み給ひ鎌倉に在る牧野內府に即刻出仕を命ぜられ十一時內府は參內した

臣は午前十時前後して出仕、牧野內府も午前十一時過ぎ參內し陛下に拜謁仰せつけられ種々御下問に奉答し內大臣府に入り三十分から一木宮相、鈴木侍從長等訪問し重要協議をした模樣である

【東京十一日發】政局急轉直下的に進展し一木宮相始め鈴木侍從長奈良武官長、關屋次官等の宮中重

民政黨有志代議士會

【東京十一日發】民政黨は現內閣總辭職前に今後の歸趨の見越しがさなれば存置されることゝなるべく、同省三百名の官吏は若槻內閣總辭職の形勢にほつさ安堵の胸を撫でゝゐる

つかす十一日午前十時本部に有志代議士會を開き有志代議士六十餘名出席、岡崎久次郎氏を座長に推し討議の結果結局左の如き漠然たる決議を爲し午前の總務會に進言するに決し十一時二十分散會した

決議

既定方針に基き與黨一致結束を固くし時局に善處すべし

各省政務官

【東京十一日發】各省の政務官は

原田園公秘書興津に向ふ

首相の依賴で

【東京十一日發】若槻首相は十一日午前十一時官邸に原田園公秘書を招き安達內相は他の閣僚と意志を異にしてゐる實情より觀て自分も相當の決意してゐるさ述べ、重要傳言を依賴したので同男は午後一時東京發興津に赴き園公にこの旨報告する事となつた

十一日午前九時より政務官會議を開き政局に鑑み左の申合を爲し直に若槻首相並に黨幹部に提出した

申合せ

政黨政治の本義を破壞する小才の陰謀を排斥黨の結束に關し首相若槻總裁指導のもとに立憲的に善處せられん事を期す

蔣介石氏の下野說

後任主席には汪精衞氏

【南京十日發】蔣介石氏は四圍の政府部內俄に動搖の兆あり國民政府主席の後任は汪精衞氏が擧げらるべしとの說が高い

蔣氏下野せずば執監會議不出席

廣東側の意見一致

【南京十日發】蔣介石氏は四圍の事情不利なるを察し二、三日中に下野を聲明するとの說あり、下野通電起草中といはれるが之がため

【上海十日發】廣東派の孫科、伍朝樞、陳友仁、李文範氏等の一行は午後一時半プレシデント、クーリッヂ號で到着、午後四時より孫科氏邸に右四氏並に汪精衞、鄒魯氏ら參集、南京派を交へず會議の結果、蔣介石氏が下野を實行せぬ中は斷じて南京に開かれる新執行委員に依る第一次執監全體會議には出席せずといふに意見一致した旨發表した

廣東三代表陳銘樞氏と會見

【上海十一日發】廣東代表孫科、陳友仁、李文範三氏は十日午後二時クーリッヂ號で來滬午後五時から孫科宅で南京代表陳銘樞氏と會見した

貴院から一二名連れ込み組閣か

宇垣朝鮮總督語る

【京城特電十一日發】內閣總辭職の報を齎して宇垣總督を問へば意外の面持で左の如く語つた

何れは斯うなるだらうと思つてゐたが案外に早かつた、輿論が強力なる內閣の出現を望んでゐる際だから矢張り擧國一致內閣といふことになるだらう、隨つて新內閣は何うしても貴院から一、二連れ込むことになるかも知れない、然し後の內閣が出來るまでには大分晨圖つきはせぬかと思ふ

尚總督の乘り出し說について無遠慮に質して見たが笑つて答へなかつた

拓省廢止中止か

【東京十一日發】拓務省は新內閣ところ、犬養總裁は協力內閣問題に關し協定した事實はない、また幹事長等が諒解を求めた事もないとの回答を得たので鈴木顧問もこれを諒とし時局善處に關し意見を交換し十一時十分辭去した

覺書問題

犬養總裁否定

【東京十一發】富田氏政黨常務顧問と久原政友會幹事長との間に協定されたと傳へられる協力內閣實現に關する覺書につき問題の眞相を質すべく政友顧問鈴木喜三郎氏は十一日午前十時半大養總裁を四谷に訪問し右協定の有無を質した

満蒙中央政權樹立の三省首腦會議を開く

廿日奉天省政府で

満蒙中央政權樹立に關する三省首腦會議はいよく來る二十日奉天省政府内に開催に決し十日袁金鎧氏の名を以て**吉林熙洽、黑龍江張景惠、呼倫貝爾貴福の諸氏に招電**が發せられた、而して袁金鎧氏の中央政權に關する意見左の通りである

この際東北各所に分立的政權の割據するは考へものだ、矢張り**東北全省を一纏めにして統轄し得る新國家を建設せねばならぬ**そして**絕對に軍閥の掣肘を受けざる組織のものたるを要す**、その大體の骨子は既に出來上つてゐるがそれが帝政か大總統制かは未だ發表の時機でない【奉天電話】

現下の時局に鑑み運動中止要望

黨出身閣僚、安達內相を說く

協力內閣問題再燃

【東京十日發】協力內閣問題は去る五日安達內相の閑公訪問で一段落と觀られたが、裏面に於ては尚は運動が續けられてゐた處、富田顧問は十日午後一時突如若槻首相を訪問同問題に就き決意を促したので若槻首相は黨出身閣僚の參集を求めた結果、井上、町田、櫻內、小泉、田中、原各閣僚は午後四時より參集首相より富田氏の進言せる趣旨を述べ意見を聽取協議を遂げたが、井上藏相の如きは時局多難の時殊に歲末を控へ從來通り一致結束して邁進すべしと主張した

が何等意見纏まらず一應安達內相の眞意を聽取する事となり安達內相は午後六時廿分會議に加はり自己の眞意を披瀝したるに對し全閣僚より現下の時局に鑑み斯る運動を絕對中止すべき事を要望した

首相の決意を富田顧問が促す

松田氏一派も會合し畫策

【東京十日發】富田顧問は十日正午若槻首相を官邸に訪ひ政局今日の如き不安狀態を以てこの議會を乘り切る成算ありやと嚴重な質問をなし併せて政民聯

黨內の政情を報告し協力內閣の氣運は既に熟してゐる總理は須らく決心を要する時である

と勸告する處ありよつて若槻首相は熟慮の結果右勸告は聞き捨て置くべきものにあらずとして井上、櫻內、町田、田中、原の各黨出身閣僚を官邸に招致し右善後策につき重要協議をなす處あり更に午後六時安達內相を招き今後の方針に關する重要協議に入つたが協力內閣の空氣は相當濃厚に動いてゐる

模樣で今夜の閣僚會議の結果如何によつては政局は急轉直下するものと見られてゐる、なほ協力內閣主張者の一人松田源治氏一派は午後五時頃より日本橋倶樂部に集合何事か畫策中で政界の實行只ならぬものがある

所信を飜さず內相頑張る

協力內閣の膳立は高橋是清翁が首班

【東京十日發】富田氏の總理に對する勸告により協力內閣問題は又復燃かへされ政界にただならぬ風雲を捲き起してゐるが今回の運動の中心は安達內相の意旨によつて動きつゝあると見た富田氏は最近每夜某所で政友會の久原幹事長と會合し聯立內閣の具體的折衝を續けた結果、八日安達內相は興津庵に於いて久原幹事長と會見腹藏なき意見を交換の結果安達內相より協力內閣の絕對必要な力說も四圍の情勢ならびに政友會の同情より見て犬養總裁の下に政民聯立內閣の組織は何うかと思ふ、殊に財政問題を乘切るためには高橋是清翁の出馬を促し翁を首班とする聯立內閣を作りたいとの意見を述べ久原幹事長との間に充分の諒解を遂げたものゝ如く富田氏はこの諒解に基づき今日總理に對し、政友會も久原幹事長の斡旋により高橋是清翁を首班とする政民聯立內閣組織に異存なき模樣であるからこの際若槻首相は內閣を投げ出し協力內閣に向つて善處されたしと進言したものである、よつて若槻首相は別項のごとく黨出身全閣僚を召集し意見交換をなしたが四閣の情勢は必ずしも富田氏の言ふ如く簡單に運ぶか疑はしき點あり殊に與黨は絕對多數を擁し又最近現狀維持で邁進を申合せて居る事でもあるから名分のたゝぬ協力內閣に能動的に出る必要はないではないかと言ふに各閣僚の意見一致し現狀維持の申合せをなしたよつて若槻首相は午前六時安達內相を招き右の意嚮を傳へ午後七時より若槻首相安達內相以下全閣僚安達內相をして協力內閣運動を中止せしむべく說得に努めたが安達內相は總理以下總がかりの勸說にもかかはらず協力內閣の外難局打開の途なしとこの信念を一時間に亘り力說し容易にその所說をまげず茲に閣內の意見全く相對立し重大な破局を將來すべき危險が見えるので總理も大いに憂慮し內閣存續のためには今夜徹夜しても安達內相の所信を飜へさしむる外なしとし午後七時四十五分一先づ休憩晩餐を共にした後更に勸說に努めつゝある

首相官邸緊張

【東京十日發】井上、櫻內兩相は午後二時半町田、小泉、田中三相は午後四時半頃・原鐵相は午後五時夫々官邸に若槻首相を訪ひ各別に會見、櫻內商相は午後四時四十五分頃再度若槻首相を訪ひ首相官邸緊張す

丁超、作相系の軍隊に兵變

【天津特電十日發】北寧鐵路は昨今風雲急を告げ張學良は連日錦州方面に武器彈藥を輸送八日來鐵甲車二輛に食糧其他軍需品を盛んに輸送し對日示威を行つてゐる

ハルビン來電に依れば

一、ハルビン西方滿溝驛に在る丁超の護路軍第六八〇團第二營は丁超が密かに張學良、張作相と聯絡し何事か畫策しつゝあるに憤慨し八日朝兵變を起し六十名は逃亡した

二、吉林省長官熙洽氏は彼は彼に服從せざる李振聲、丁超、張作舟等に對し省民の苦惱並びに大局を洞察し速かに和平統一を圖られたいと打電し、若し之を容れざる時は相當の決意あるべきことを附言した、而して熙洽氏は着々實力の養成に努めつゝある

三、濱縣に在る張作相系吉林政府は漸次動搖を來し政府要人の意見一致せず、張作舟の第二十五旅第一連は兵變を起し連長引率して逃走した、また主席代理李振聲も張作相に對し不平の嘆聲を漏らしてゐると【奉天電話】

學良軍康平で戰鬪準備

學良の第二十旅第一團は康平に來りわが軍に對し着々戰鬪の準備を進めてゐる【奉天電話】

全國民衆運動を保護し蔣は即時北上せよ

南京學生團決議要求

【南京十日發】五千の學生團は本日大規模な示威運動を行ひ官憲の解散命令に應ぜず大會を舉行左の要求容れられればストライキは中止せずと決議した

一、顧維鈞を即時免職し懲罰せよ

二、全國民衆運動を保護せよ

三、蔣は即時離京北上を實行せよ

學生團鎮壓兵の武裝を解除

反政府運動益々熾烈

【上海十日發】學生團は今朝九時に至るも市政府を占領し支那街一帶を支配し一隊十名宛隊を組み棍棒を携へ對日宣戰布告、打倒蔣介石を口々に橫行してゐるのでフランス租界は小西門を閉ざし戒嚴令を布いた學生團の暴行原因は昨朝便衣隊のため一部の學生が毆打され市黨部内に監禁された爲めで市當局は兵を繰出したが手がつけられず却てその兵は學生團に武裝を解除された、學生の南京政府、國民黨反對は燎原の火の如く廣まり官憲は手を燒いてゐる

市黨部の要所を占據

制裁強請

【上海十日發】支那街工場を占領した學生代表約百名は本日午前九時より交通大學に參集昂奮の內に協議を續け當局市黨部を制裁する迄運動を繼續するに決し依然支那街の要所を占據して居る

王以哲が豪語

北平來電王以哲は八日蔣介石に左

南京で國難會議

目的は南北安協促進

【南京九日發】本日中央政治會議は十五日南京に國難會議を開くに決定した、同會議は政府委員以外民間から銀行、商工業者、學者、民間代表らの出席を求め對日根本策を協議する筈、實際は南北妥協促進が目的と觀らる

日本軍撤兵せずば直接交涉に應ぜず

國難對策協議會にて顧維鈞氏が聲明する

【南京九日發】特別外交委員會副會長顧天仇宋子文兩氏は九日官民合同國難對策協議會は廣治銀行上海實業銀行學生新聞人等を網羅して開會されたが、席上顧維鈞氏は支那の最後的方策として左の聲明を發した

一、日本軍撤兵せずば斷じて直接交涉…

日支宣言草案を提示

日本は中立地帶に觸れず

【パリ十日發】十二ヶ國會議はけさ十一時四十五分開會、芳澤大使より本日の公開會議で聲明すべき宣言草案を提示した、一方施肇基氏は十一時四十五分ドーズ大使と會見し、その際公開會議で聲明すべき支那側の宣言草案を提示した、なほ芳澤大使の宣言草案中には中立地帶問題に對しては何等言及されてをらず

張學良の別働隊

犇々と滿鐵線に接近

その數五千名を算す

張學良別働隊の滿鐵線附近の來襲漸次猛烈を加へ十日午後新城子驛西方二里の達連屯に多數現はれ、また石佛寺西南方三里の張馬天臺附近に六百五十名その他五六ヶ所合せて五、六千名に及び漸次滿鐵線に接近しつゝあり【奉天電話】

錦州方面へ軍需品

盛に輸送して對日示威

山海關守備隊の交代兵出發

【天津十日發】天津駐屯軍の戶叶少佐引率の〇〇名は山海關守備隊と交代のため十日午後二時十分天津發山海關に向つた

の如き檄電を發したさ本官は部下を率ゐて戰備全く整へ對日の一戰を待つのみ【奉天電話】

わが偵察機不時着

板橋子附近で

十日午後一時半新橋子西北一里の地點で錦州方面偵察に行つた飛行機一機は不時着陸したので救援のため飛行隊より小島中尉以下十九名急行した【奉天電話】

七年度滿鐵豫算

收入 一億八千萬圓

支出 一億六千萬圓

【東京十日發】滿鐵の七年度豫算に就ては市川經理部次長が過般來拓務省側に說明略諒解を得るに至つたが右に依ると收支見積りは左の如くである（單位萬圓）

科目	金額
鐵道收入	九、一四五
同支出	三、一四〇
旅館收入	一一六
同支出	一四一
港灣收入	八五九
同支出	六五五
礦業收入	五、九五五
同支出	六、二七四
製油收入	三四〇
同支出	三二五
製鐵收入	八五〇
同支出	一、一〇三
地方收入	四〇四
同支出	一、三九六
其の他收入	五五一
同支出	三、五四九
合計 收入	一八、二二〇
支出	一六、五八三

即ち純利益は六年度より約八百萬圓を減じ一千六百萬圓程度に見積られてゐるなほ事業別豫算を見るに（單位萬圓）

事業	金額
鐵道	三七九
旅館	六
港灣	一五一
炭坑	三九〇
製鐵●	三〇
地方支出	二四六

で事業總額は一千三百四十萬圓となつてゐる

昭和六年度歲出入現計

【東京十一日發】大藏省發表昭和六年度歲出入現計（九月現在、千圓單位）

歲入	四三六、八三七
歲出	四八七、一六八

なほ國庫金やり繰り局のため臨時部歲入に於て預金部手持證券貸付金償還金、賠償金繰入れ並に三千九百萬圓の剩餘金繰入れを繰上げ繰入し計六千七十二萬圓の增加を見てゐる

米穀調查總會

特別委員會開會

【東京十日發】米穀調查會第八回總會は午前十時開會若槻首相の挨拶事の前回迄の答申に對する處理報告あつて左の諮問事項を附議し前田利定子以下十七名の特別委員に附託正午閉會した

一、朝鮮米の內地移入の統制に關し執るべき方策如何

一、米穀法第三條の規定による許可に關し執るべき方策如何

一、米穀の數量調查の改善に關し執る方策如何

【東京十日發】米穀調查會特別委員會は十日午後一時半より開會、前田利定子委員長に當選諮問事項につき質問應答あり十一、二兩日審議を續行する事として同三時半散會した

新願祭の映畫

代表者に公開

護國新願祭に參加の各團體代表者及關係者招待の當日記念活動寫眞並に時局映畫は十日午後七時から本社講堂に於て公開、松山本社長の挨拶に次いで寫眞を映寫したが來觀者約七十名で頗る盛會であつた

賠償金改訂で米國へ覺書

佛國政府から

【ワシントン十日發】フランス政府は本日アメリカ政府に左の如き覺書を正式に通告した

賠償金改訂は如何なる場合でも必らずそれに相當して戰債の削減を伴はねばならぬ

社説
中央政局の重大化
對外方針は變らず

東京に於ける政界は俄然險惡の色を呈し來つた。過日來度々噂に上つた謂ゆる協力内閣説は、一時現内閣の申合せで沙汰止みとなつたが、一昨日來此説が再び擡頭し、中央の政界は、爲めに時ならぬ風雲を捲き起すに至つた。或は本日の新聞が讀者の手に配達する頃には、若槻内閣が既に總辭職を決行してゐるかも知れぬ。時節柄頗る遺憾の至りである。

◇

いふまでもなく現内閣は、衆議院に於て絶對過半數を占めてゐる。貴族院の形勢は未詳ではあるが、必しも最近大に惡化の樣にも見えぬ。況んや去る九月に行はれたる府縣會議員改選の結果は、與黨の大勝に歸し、國民の大多數は依然現内閣を信任するかに見える。從つて表面から云へば現内閣の基礎は頗る鞏固であるべきだ。然るにも拘らず現内閣の大黒柱たる安達内相が、突如として内閣の改造を主張する。これは何故であるか。

唯今まで吾人の請取つたる通信にては、安達内相が今日内閣改造の必要を強調する理由が判きりせぬ。之に反して政變を不可とする井上藏相の理由の方が寧ろ明瞭である。井上藏相の「時局多端の際、特に歳晩を控へての政變は不可である、宜しく一致結束して邁進すべきである」といへる方、寧ろ合理的の樣に聞える。されど政界には何れの場合でも底に又底あり、表面に現はれぬところに政治家の大なる苦心の存するものであるが、今回も夫れ相應に困難の潜在することゝ思ふ。

◇

今や我國は對外的に、或は未曾有ではないかも知れざれども少くとも稀有の難局に直面してゐる。されど國際聯盟に於ける我國の風向きは、最近大に良化してゐる。現に一昨日の公開理事會で全會一致可決せられた決議案は、大に我國の主張を容れたものである。而して滿洲に於ける我陸軍の行動は、殆んど無人の境を行くが如くである。而して國民は實に擧國一致して軍部の後援をしてゐる。故に吾人は時局多端の折柄とはいへ、對外的には左程憂慮するに足らぬ現内閣の苦惱するところは、多分財政經濟に關してであらう。

◇

本紙のこれまで屢報せし如く本年度の歳計豫算は、意外の歳入不足を示した。來年度の豫想に至つては更に甚しきものがある。之れが爲め現内閣は曩に大に行政財政の整理に努力したれども、全部其の赤字を補塡する能はず、終に六千五百萬圓の公債と四千萬圓の新税を計上するの已むなきに至つた。是れ實に現内閣の財政經濟上に於ける甚しき難局を物語るものである。新税は啻に之を徴收せざるのみならず、寧ろ惡税廢止と、負擔輕減が、民政黨内閣の生命であつた。非募債主義も亦現内閣の傳統的政策である。然るに昨年來の甚しき不況は、現内閣をして此重要なる政策を二つとも施實せざるを得ざらしめた。のみならず、金輸出禁止に於ても現内閣は甚しき苦境に立たざるを得なくなつた。一昨年濱口内閣が金の輸出解禁を斷行するや、今の井上藏相は之が爲めに左程多くの正貨は流出せざるものと斷定した。然るに其後假令豫想外の事件が續發したとはいへ、我が所有の正貨は約半減するに至つた。これが爲め我經濟界は今や全く行詰るに至つた。かく

て現内閣は財政經濟の上に於て甚しき難局に立つに至つた。これが果して今回の政局重大化の眞因か否かは知らざれども、現内閣が此點に於て非常な難局に立つたことは掩ふ可らざる事實である。

◇

安達内相は時局多端の爲め、擧國一致内閣を組織すべしと主張す。之が果して注文通り實現するや否やは、固より未定なれども、若し其の希望通り行くものとすれば、今日より更に一層有力なる内閣が組織せらるゝ譯である。假令この目的が外れて現内閣が爲めに崩壞することありとするも、其後に來る内閣は時局に對しては、依然強硬なる政策を、繼承するの外あるまじ。何となれば是れ以外の方針は、目下の大勢に於て、國民が承知せざればなり。何れにしても中央政界の異動如何に拘らず、我對外政策は毫も變動あるべからず。此點は吾人の大に安心し、且つ樂觀するところである。

アメリカ政府の銀會議招集を力説
上院でピットマン氏

【ワシントン十日發】上院外交委員會銀專門委員會長ピットマン氏は銀問題に對する上院の注意を喚起するため本日アメリカの對外貿易激減を示す統計を引用し、政府がこれに對し何ら對策を講じ得なかつた事を非難した、氏曰く

斯くアメリカの對外貿易が激減したのは從來アメリカより物資を購入してゐた

諸國の 爲替相場が下つたからである、アメリカのこの立場はイギリスの金本位停止により更に一段と苦しくなつた、我々は最早輸出市場に於てイギリスと競爭する事が出來なくなつてゐる、イギリスは國際會議に對してアメリカの如く興味を有してゐない、これはイギリスが外國市場において爲替の上で三割方有利な立場に立つてゐるからである、然しアメリカ政府としては銀會議を招集し世界各國をこれに招待する義務がある、さうすればイギリスもまた出席するであらう、若し我々が他の諸外國と

貿易を 續けんと欲するならば我々はイギリスの如く金本位の水準を低下せしむるか或は他の國の爲替を昂騰せしむるやうな方策を講じなければならぬ而して若し他の諸國が銀貨の品位低下又は鑄潰し等を中止するならば銀貨は需要供給の原則に依つて必ず正常なる地位に復する事とならう

又上院議員シップステット氏は次の如く述べた

この儘で行けばフランスとアメリカ丈が金本位國として殘され他の諸國は總て銀で取引を行ふ樣になるだらう又各國は巨額の戰債をこの不足せる金を以つて支拂ふ事は不可能である

更にフロリダ洲選出議員フレッチャー氏は

世界にある金の量は限られてゐる然し通貨としての銀の使用を增加せんとすれば何等かの國際協定を結ばぬ限り金本位が危ふくされる事となりはせぬか

との質問を出したが、これに對しピットマン氏は銀問題は研究せずしては世界貿易の問題を解決する事は出來ないと述べた

戰債委員會の復活を提案
◇―米大統領の批准勸告教書

【ワシントン十日發】フーヴァー大統領は本年六月ドイツ財政救濟に關し各國政府間の債務支拂一年猶豫を實施したが、本日これが批准案を上院に提出・批准勸告の教書を送つたが、教書中に於いて世界不況依然猛烈で現下の情勢に徵し更に戰債賠償金支拂ひに就き暫定的取極めの必要に迫られてゐる事をほのめかし、兩院に對し戰債の一時的調整を施すべき事を求め戰債委員會の復活を提案してゐる

教書は尚日支紛爭初め外交問題常設裁判所加入に言及し更に軍備制限の要を說き次いで佛ラヴァール伊太利グランヂ兩氏の訪問に及び兩氏との會談の結果刻下の國際的時局問題は極めて有意義なる効果を齎したと述べてゐる

獨大統領選擧

【ベルリン十日發】次期ドイツ大統領選擧は來年三月十三日を以て執行する事並に其際ドイツ憲法の規定せる絶對多數を獲得するものなき時は更に同四月十日を以て再選擧を施行すべき旨本日發表された

英勞働黨提出の不信任案を否決
チエンバレン藏相雄辯を揮ふ

【ロンドン十一日發】ポンド下落に關連し勞働黨の提出せる政府不信任案討議中、藏相チエンバレン氏は左の通り雄辯を揮ひ大喝采を博した

イギリスは依然世界に於ける最大の債權國である故に世界の形勢が安定したならポンドは國際金融界の主要なる標準貨となるであらう、一方イギリスの豫算が本年大々的不足を示すべしとの一般の懸念に對しては何等根據がない、來年度に對しては尚更の事である、政府は本年度の收入に依り總ての支出を賄ひ得ると信ずる、同時に債務償還についても多額を振り當て得ると信ずる

かくて不信任案は採決の結果四十四對四百三十九票の壓倒的大多數を以て否決された

大連商議から慰問使派遣
十日役員會で可決

大連商工會議所役員會は十日午後三時半より開催されたが、藤田副會頭以下十六名出席、藤田副會頭より諸般の事務報告あつて後過日東京における日本商議にて決議せる一、滿洲における邦人商工業振興に關して要請の件の文案を讀み上げ可決、更に軍隊、警官、鐵道線に活躍する滿鐵社員慰問に關する件の討議に移り慰問金は市と協力して募集することゝ及び慰問使三名を派遣することに決定した、次いで津久井誠一郎氏より今後の役員會開催時間を午後三時半にすることの緊急動議を提出し滿場一致可決して續いて秘密會議に移り軍部に對する答申書につき協議した、なほ同役員會終了後上海より來連せる加藤商務副參事官と滿蒙經濟事情について懇談した

明年の大演習地
京阪地方にて擧行

【東京十日發】參謀本部では七年度陸軍特別大演習施行地につき協議中であつたが、愈々第十六師團管區京阪地方で擧行する事に決定し本月中に金谷參謀總長は參内演習計畫につき上奏す決定した

時局後援會の各委員決る
小川會長から推薦

在滿日本人時局後援會では十日午後四時より市役所會議室で總務委員會を開き九日の州内代表會議で保留となつた奉天聯合會決議による「新政權樹立に關する件」の特別委員は協議の結果小川會長より田邊、高塚、仙波、相川、吉川の五氏を推薦、なほ聯合會上京委員には田邊、仙波兩氏を推薦、同旅順からは竹中氏を推薦された、委員は十一日午前九時發列車で赴奉同四時から奉天ヤマトホテルで開催される聯合會の特別委員會に出席する事として同四時三十分散會した、因に上京委員は奉天に勢揃し十三日陸路出發の豫定である

わが練習艦隊青島に向ふ
十日旅順港を拔錨

今村練習艦隊司令官は十日午前十一時半塚本長官、大谷要塞司令官、三浦内務局長、野田工大學長、野中佐、永山市長其他在旅名士を旗艦磐手に招待しアットホームを催したが、艦隊は午後三時青島に向け拔錨した

市長に謝電

練習艦隊今村司令官より小川宛左の謝電があつた

大連出港に當り在泊中當市官民一同の寄りたる御厚情を謝し貴市民の御發展と御健闘を祈る

熱して冷めぬやう
高木生

◇由來日本人は熱し易いが冷め易いといはれてゐる、滿洲事變も突發以來既に三閱月、敢て長しとはないが、國民の熱誠は日ともに加はり、日々の新聞紙上には幾多感激的記事が傳へられて、吾々の血を沸き立たせ紅涙を流さしめてゐる。

◇しかるに七日の滿洲日報朝刊紙上の「アルメニヤ商人の義擧」と題する記事は吾々を極度に感激せしめるものであつた、私はこれを讀んで感激の極しばし茫然自失の體であつた。

◇考へても見よ、日本臣民にして皇國に盡すはこれ臣民としての責務でもある、これに反しバリテ・ハムバルツシアンツ氏の擧たるや、一外人の日本に對する熱誠にして、實に義擧そのものである。

◇何がかくせしめたか、わが絶大なる皇威がしからしめたることは勿論であらうが、一面國民のより強き憐愛の心の迸しりであらねばならぬ。

◇そこで吾々のわが九千萬同胞に切望するのはバリテ・ハムバルツシアンツ氏に對して恥ないやう、終始一貫、熱し易くとも冷め難いやう、皇國のため各自その本分をつくされんことである

第一戰に立つ滿鐵社員（4）
食事は一日一回お漬物は贅澤品
大興戰當時の思出
七日鄭家屯にて　五百旗頭佐一

七日午前六時半毛布の中からモックリ頭を持上げるともう三四人が起きてゐる、ストーブの火が消えた合宿の中は極端に冷々とする早起のものがストーブの火を燃やす、バタ〳〵と皆が起きる、毛布が綺麗に積重ねられる不文律の内に氣持良く統制のされた合宿生活だ、七時半朝食、以下少し飯の話を書く

◇

仕事が一段落となつた今ではこの鄭家屯合宿所も廿人足らずの宿泊人ではあるが、戰時氣分横溢した忙しいころは五十人以上の人が泊つた、三十疊に五十人全く芋の子を洗ふやうであつたとは尤もな話だ、でその當然の結果として、襲つてくるものは毛布と寢具の不足である、一日中で一番寒い曉方になるとストーブの火はすつかり消え寒い蒙古風が窓の隙から遠慮なく吹込んでくる、しかも毛布の配給が充分でないためその頃になると無意識のうちに毛布の爭奪戰が起る「オ、寒い！」と思つて氣がつくとお隣さんが毛布諸共にグーグー熟睡をやつてゐる、取つたり取られたり翌朝まで完全に熟睡がされなかつたなんてことは合宿員の誰もが幾度か經驗した苦闘?であつた

◇

「その頃だよ、飯の鹿毎に驅い出のはまあ一杯目はどうやら有りつけるとしても二杯目になればもう駄目だ、飯の有難さをいふと大袈裟だが本當にそれを感じましたね、時局一段落後もそれ飯だと聲がかゝるとどんな仕事でもさし置いて一目散に飯のあり場所まで競走ですよ」

◇

次は矢張り奥地から歸途にあつた一機關士の話である「いや恥しい話ですが客車の着く度に列車内を「何か食べ物は無いかな」と探したり、兵隊さんが發つた後にはすぐ飛んで行つて殘り物を拾つたこともあり、全く乞食同然に食ひ物――がなくなつてしまひましたよ」眞黒な麥飯を何ぞか如何にも美味しさうに猛烈な勢ひでその機關士はかき込んだ【寫眞は樂しみな食事】

驕ぎと、おかげで飯の早食ひだけは大いに修養を積んだね、砂の交つた飯を本當に美味しく食つたのはその頃だよ」と一人は語つた、この時大興の總攻擊當時に同方面の中間驛で働いた某氏が口を入れた、その要點を書拔いて見る

總攻擊の當時同方面で働いた人々は一日二回の食事にありつければまあ好い方で大抵が一日一回それも漬物なんて贅澤（?）なものは一度もなく味噌汁の一點張、またその味噌汁は純粹の味噌汁でお湯と味噌と醬油だけ、たまにカヤクがあつたと思つたら味噌の豆であつたといふ「一ケ月振りに洮南に歸り初めて飯らしいものにありつきましたよ」とは彼氏の率直な告白である

十一月中の對支貿易
―大藏省發表―

【東京十一日發】十一月中對支貿易額左の如し（單位千圓）

滿蒙	輸出	八〇六
	輸入	四、二一五
北部	輸出	一、七〇二
	輸入	三、九六〇
中部	輸出	二、二四三
	輸入	二、三八九
南部	輸出	二三
	輸入	三五二
計	輸出	四、七七〇

關東州	輸出	一〇、九[illegible]
	輸入	四、七[illegible] 五、〇八[illegible]
香港	輸出	九[illegible]
	輸入	六[illegible]
合計	輸出	一〇、四[illegible]
	輸入	一六、〇[illegible]
	差引入超	五、六四[illegible]

これによれば前年同期に比し輸出が三分の一方減少した

新緊急令公布後の獨逸
極めて平穩

【ベルリン十日發】物價切り下げに關する新緊急令公布以來二日を經たるもドイツ國内は一般に平穩で憂慮された國粹黨社會黨方面の策動も現はれず政府の覺悟した暴動も此の分ならば施行の必要はなささうである、なほ緊急令中債務に關する部分は單にその利子につき三分の一乃至三分の一減となるものなる事が瞭らかとなつた

旅順管内の會長會議
各事項を協議

旅順管内會長會議は十日午前九時から警察署講堂において開催、關東廳より大和田理事官課長代理として臨席なほ地方課屬書記立會上米内山署長の訓示に次いで左記聽取事項及び諮問事項に入り第一日を終了、同日午後五時から聚德殿における署長宴に臨んだ、各事項は左の如し

▲聽取事項
一、各會管内狀況概要
▲諮問事項
一、會稅徵收期變更に關する件
二、普通學堂教員宿直手當料、宿料支給に關する件
▲指示事項
一、徵收事務に關する件
二、會事務整理に關する件
三、會吏員の服務に關する件
四、土木事業施行に關する件
五、農道青年團設立に關する件
六、蠶業組成に關する件
七、農業教育の振興に關する件
八、農業經營改善に關する件
九、會計經理に關する件
一〇、傳染病豫防に關する件
一一、獸疫豫防に關する件
一二、公有林事業に關する件
一三、私有造林事業に關する件
一四、森林保護組合助成に關する件

原案一部修正
市參事會委任事項中の改正

大連第六十二回市會で委員附託になつた、議長提案の「市參事會委任事項中改正の件」は十日午後三時半から市役所助役室に於て第二回委員會を開き愼重審議の結果、原案たる市參事會委任事項第十一號中「訴訟」を「訴訟及和解」に改めんとす

は和解に對する萬一の支障を防止する意味から金額に制限を附する必要ありとの說出て結局「訴訟」を「訴訟及金五百圓以下の權利拋棄並に義務承認に係る和解」に改めることに修正する事に決定、同四時半閉會したが十五日の續會市會に高塚委員長より說明ある筈である

婦人聯合會幹事會
重要事項議決

大連婦人團體聯合會では十日午後一時から中日文化協會樓上に幹事會を開催、四十有餘の團體代表幹事および評議員計五十餘の出席者あり、辛島名譽會長議事に就き大森幹事長議事進行をなし左の重要事項を議決した

一、時局に對し婦人團體の諸は成可く統一してこれに當ること
二、歳末同情週間援助に關する件
三、大連衛戍病院の傷病兵慰問に關する件
四、全滿婦人聯合會結盟式代表者報告
五、常務幹事の事務分擔に關する件
六、會費金醵集に關する件
七、生活改善運動に關する件
八、軍隊送迎、滿洲派遣軍人家族訪問慰藉に關する件
九、内地各婦人團體に時局に對する宣傳文發送の件

奉天兵工廠の解職々工歸鄉

奉天東北陸軍兵工廠使用支那人中には最近にいたり歸鄉を願出るものが續出するが軍部においては滿鐵と連絡を執り彼等の希望通り故鄉までの輸送に利便を與へてゐるが十日午後出帆天潮丸にてこれら解職支那人百十五名が天津に向つて歸省の途についた、なほ十一日出帆長春丸にても上海青島方面に約二百四十名が送還される筈であると

十五日に市會

八日開會された第六十二回市會續會は十五日午後三時から開會、左の事項を附議する

一、報告第十九號常設委員失職の件
一、定第七號區長推薦の件
一、名譽職參事會員選擧の件

大觀小觀

このごろ「インチキ慰問團」の渡滿が大分問題になつて來た、成程わが權益の擁護と在滿邦人の生命財産保護のために驅命となり▲追へども追へども追ひつくせぬ兵匪馬賊に加へて零下三、四十度の酷寒と闘ひつゝある皇軍將士の多忙さを知らぬ顏に美名に隱れて利權を狙ひ▲或は賣名のために、若くは好奇心や漫遊氣分を滿足せしむるために「國民の誠意」を押し賣りする「インチキ慰問團」の來訪が事實とするならば不都合この上なし勿論斷然、これを拒絕すべきであるが▲その反面また考へて見れば昔の名奉行は「親孝行の眞似」をした横着者にそれと知りつゝ褒美を與へた實例あり▲翻つて「善いことならば眞似でもよし」の雅量も或度までは必要なるべく、極端な賣名や利權漁りの確證や、或は相手の迷惑を顧みぬ行動なき限り必ずしも之を悉く拒否すべきでもなからう▲況んや「名前が怪しいから」とか「餘り知られて居ないから」とかいふ理由で來滿を謝絕するといふ理由で來滿する各種の慰問團に一々猜疑の視線を放つ事の不可なるはいふまでもない▲舊い文句だが百聞一見に如かず、機會あらば成るべく多く各方面よりの來滿を希望す▲「時局收拾の責任者は余の外になし、故に下野せず」と豪語する蔣介石の奉天軍將官の召集と河北の大軍を「日本と一戰せん」と力む張學良▲大沖の流れを知らず、いい氣なもんだ、大勢を知つて新政權樹立に合流する北滿の連中に「張馬」されるぞ▲「年越しの用意も出來ず空威張り＝多狂犬」

市況（十一日）

株式
內地株軟り
當市續騰

特產
銀高午ら一般大保合

錢鈔
標金低落
當市續騰

商品
麻袋軟り
綿糸急騰

市場電報
神戸特產
東京株式
大阪株式
横濱生糸
大阪綿糸
東京期米
大阪期米
神戸期米

チフスが下火になつて猩紅熱の流行期に入る

安東博士發明の新豫防注射液 試驗の結果素晴らしい成績

一時全滿殊に州内に於て猖獗を極めたチフスがやゝ下火となつてホツト一安心の間もなく今度は滿洲特有の猩紅熱が流行するシーズンとなつた、滿洲に於ける猩紅熱は毎年十一月頃から患者を增し冬季は最も流行する

滿洲に 於ける傳染病中チフス、赤痢、に次で第三位を占める恐るべき傳染病で幼兒に最も多い、然し滿鐵衞研安東博士は數年前から熱心に滿洲猩紅熱豫防注射液の研究完成は心血を注ぎ從來の豫防注射液を分析精製し高度の免疫效果を有し且副作用なき獨特の注射液を完成し本年度始めから滿鐵學務課と協力して幼稚園、小學校、公學校及び普通學校生徒に實施した處顯著な效果を示し流行期たる十一月に至つて昨年の六十二名に對し本年は僅々十五名、十二月に入つて四名の

患者を 出したに過ぎぬ、然も罹病者の多くは幼稚園兒以下の豫防注射を受けてゐない幼兒であることが判つた、これに依つて安東博士の同豫防液が確實にその效果を證明されることゝなつたので滿鐵では今後引續き毎年定期に實施することゝなり滿洲から完全に猩紅熱を驅逐する方針で進むこと右に關して千種衞生課長は語る

猩紅熱の感受性ある兒童は約四十パーセントで他の六十パーセントは感染の恐れのないものである、この四十パーセントの兒童に對しては一週間乃至三週間に一回の三回連續注射を爲し尚

免疫と ならぬものには四回目の注射をなして尚之等兒童は三ケ年間テストを爲しかくして凡ての兒童を完全に免疫とする方針である、かくして免疫となつたものは生涯罹病しないことゝなるので完全に猩紅熱を驅逐することが出來る、但し現在ある患者の多くは幼稚園兒以下の幼兒であるから各家庭に於ても是非自發的に之を實行して貰ひたい、さうすれば遠からず滿洲から該病を完全に撲滅することが出來る、右注射液は何等副作用が全くなく絕對に安全であるから安心してよい

荒れ性の方でも手入れ一つ

これなら大丈夫 ―綺麗になれます―

＝脂肪＝ の少い方はこれからの寒さに向ふと自然皮膚が荒れ顔手などカサ／＼になり主婦などはお炊事をいたしますのでカサ／＼の手に汚れが浸み込み大へん穢なくなり一寸人の前に出し難くなりますが荒れ性の方でも手入れの仕方では相當綺麗な手を保つことが出來ます、脂肪分の少い方はお風呂に入る時も石鹸でゴシ／＼洗はぬ樣石鹸を用ゐるとしましても上等の泡立ちのよい品を選ぶ樣にします、ホーサン石鹸など

＝皮膚＝ に大へん良いので す、然し石鹸の上等なのを使用するにもタオルにつけて強く洗はずに先づ手で泡立たせてそつと洗ふ樣にします、然し洗顔には洗粉もありますけれど洗粉、石鹸などよりは糠の方が大へんよろしいのです糠は皮膚の脂肪分を除去する許りでなく皮膚に脂肪分を與へ皮膚を養ひます、入浴後は皮膚をそのまゝ寒風に曝さないでクリームを塗る事を忘れてはなりません、生地のまゝでクリームも何もつけないでゐますと皮膚がひつぱり

＝痛い＝ 場合がありますがこれなどはあまり洗つて脂肪を取り過ぎたゝめなのでその結果顔に縮緬皺ができます、それだけでなく白粉ののりも惡くなります、入浴後は脂肪性でなくとも乾性のクリームでも好いのです、外出する場合は先づ微温湯で洗顔します（へん）或は蒸しタオルで顔を蒸すか熱湯は皮膚のためによくありませコールドクリームをつけて脫脂綿で拭きとつてのちハイセニッククリームか、水クリームをつけて薄く

＝化粧＝ いたします、近頃の樣にすぐ煤煙で汚れる季節はできるだけ厚化粧は避けて薄化粧にいたしたいものです、外出して歸つたら早速微温湯で垢を洗ひ落さないと顔についた塵は染さなつて顔を汚くしてしまひます、又寢る前も洗顔して塵を除去しておきたいのです、寢む前にコールドクリームをつけ脫脂綿で拭きとつて休みますと荒性の方でも綺麗に汚れは取り去られカサ／＼にはなりません、洗顔は幼い時から水で洗ふ樣に習慣づけられた人を除いては冷水で洗ひたくないのです

＝殊に＝ 入浴後冷水で洗ひますと急に收縮して皺となります

手にヒビの切れやすい方も始終水に手を入れなければならぬからと面倒がらず、水を使用後は手の水分を綺麗に取り去つて油性クリームをつけたいのです、水のついた手をそのまゝ放つておきますとつひガサ／＼にヒビが切れますから、できるだけ手入れをし寢る前にはコールドクリームか油性クリームを塗つて荒れを防いだら相當荒れた手も綺麗になります

十二月

瀬戸明

一
揩折り數へた
クリスマス
爺さん何を
くれるかナ

二
爺さんくれた
おみやげは
でんでんたいこに
しようのふえ

三
まだまだあるある
キヤラメル
チヨコレートも
はいつてゐたよ
うれしいナア

新年懸賞寫眞募集

課題	『新春』 滿蒙を背景にしたもの
印書	八切以上（臺紙に貼附せず裏面に畫題住所姓名撮影場所を明記）
締切	十二月二十日限り
宛名	本社編輯局（應募印畫は返却せず）
賞金	一等一名五拾圓、二等一名二十圓、三等六名五圓

滿洲日報社

童話 濱のお家（四）

八木橋ゆじう

「お母さん」

お母さんの姿を見ると、久は晴れ／＼しい聲で呼びました。

魚の干ぼしを造つてゐたお母さんは、久を振りかへつて見て、びつくりしました。

「久さん、どうしたの？そんなに體をビショ／＼にしてさ」

「お母さん！僕海をちつとも恐くなくなつたんだ」

「恐くなくなつたつて？まあ、久さんはどうしたつて言ふの？」

「僕れ、母さん！海にとびこんで女の人助けたのよ」

「助けたつて？海に飛びこんで？」

「さう、海恐くないれ、母さん」

「まあ、久さん、それほんと？」

「ほんとよ！」

「さう？あゝこんなに母さんは嬉しく思つたことないよ久さん。これで、亡くなつたお父さんに申譯がたつと言ふもの、あんなに海の恐い久さんではれえ」

お母さんは久の頭を抱きかゝえて頰ずりしました。

そんな事があつてから、久は、海を恐くない子になりました。

それから十幾年かの月日が經つた海の色は相變らず青々と深さ廣さを見せてひろがつてゐました。

しかも、久さんはずいぶん變つてゐました。あの海に恐がつた久さんは今は立派な海軍士官になつてゐました。

遠洋航海に出た練習艦隊は、列を揃へて、果てしなく廣がつた海原を縫つて進んでゐました。

陽は、まぶしく照りかへつてゐました。

水雷防禦の演習が濟んで、僚艦に入つた艦内は、しーんと靜まりかへつて、はた／＼と打ち寄せる波の外、何も聞えません。

時々、信號手の振る旗が光つてゐます。

一人の青年將校が、にゆーつと大砲の突き出てゐる廣い甲板の欄干にもたれて、さつきからじーつと海を見つめてゐるます。

それは久さんでした。久さんの眼に廣々と陽がはれかへつてゐる海が寫つてゐました。

「お父さん！」

久はそーつと「お父さん」を思ひ出して、さう言つてゐました。

ピタ／＼と鋼鐵板にぶつつかる小波の音です。

「お父さん！久を見て下さい。久はこんなに立派になりました。お父さん！」

久さんは獨りでつぶやきました。すると深い深い水底から、お父さんの笑顔が浮び上つて來ました。

「おー、お父さん」

久さんは、欄干から、兩手を出して呼びました。

眞黒い覺者のやうな鋼鐵艦は、素晴らしい勢で海を割つて行きます。

お父さんの微笑んだ顔が、[illegible]一緒に海上をついてきます。

「お父さん！久はお父さんと一緒にいつまでも海の上で暮らします。お父さん、見て下さい。このピッチリ身に合つた海軍將校の洋服を、こんなに恰好のよい短劍を、これこんなにりつぱな双眼鏡を胸にぶら下げて。

お父さん、淋しかつたでせう。これからは淋しがらせはしませんよ。久は、いつまでも海の上にゐるんですから。お父さん、お父さんに海軍士官として久の敬禮をしますよ。アハ……」

久さんは、海の上に浮んでゐるお父さんの顔に、りつぱに姿勢を正して、擧手の禮をして見せました。お父さんは感謝するやうに、ニコ／＼笑つて、頭を少し下げました。

アサヒノボル

中滿しんいち作　河野むさし画　（七）

一 ホラ　オカヘリダ　ト　オカアサン　ガ　トヲアケルト　ユキダルマ　ノ　ヤウナ　オホオトコ

二 イキナリ　オカアサンヲ　カカヘル　ト　スバヤク　ユキ　ノナカ　ニ　キヘテ　シマツタ

三 アトヲ　タイチヤンハ　イソイデ　オヒカケヤウト　スル　ト　ドアヲ　ボーン　ト　シメラレタ

四 アマリ　アワテタノデ　ドア　デ　オデコヲ　ポコリ　ヘウシヲ　クツテ　シリモチヲ　ピチヤリ　クヤシイ

滿日各地版

施家堡子の一帶 全然無人境化す
わが籾の搬出隊に從つて 住民殆んど引揚ぐ

【撫順】鮮農の籾全部を百三十臺の馬車に積み護送の重任を帶びた渡邊警部以下の警官隊は途中賊團の重圍に陷り危險であつたが幸ひ重圍を脱し午後四時頃馬蜂溝に到着鋳搬丁に連る馬車の列を督しつゝ午後五時夕闇の鐵嶺に到着した、附添ふ鮮農の顏は何れも歡喜に滿ち護衛の警察官は

重任を果し無事歸任し得

たことを喜び出迎への市民と握手するなど涙ぐましい一場面であつた、施家堡子を中心に附近の部落は全く荒れ果てゝ到るところ馬賊の巣窟となり殘留せる支那人は全く死の觀念に捉はれてゐた際我軍の出動に蘇生し警官隊引揚と聞くや泣いて縋つて同行避難を哀願し多數の支那人が引揚げて來た、今や施家堡子附近一帶は地方民一人も居住せず籾は全部搬出し終つたので後は全く

馬賊の天下であるが如何

に横行するとも再び出動するも再び出動する必要は無い程に全部引揚げて來た、到着せる馬車は籾と共に敷島町の元公安馬隊兵舍に入れ茲に完全な救援作業を終つた

施家堡子出動 部隊歸る

【鐵嶺】施家堡子出動中の我警官隊危險の報に接した鐵嶺守備隊並に警察署では既報の如く神田中隊長以下全員青木署長も自ら二十名の署員を指揮し出動準備を整へて臨時列車を編成發車を待つうち警官隊は賊團の重圍を脱して菓子園より遼河沿岸を下り馬蜂溝に出て夕刻歸鐵する旨情報ありよつて警察官は驛より引返したが神田中隊のみ萬一を慮つて平頂堡に出動したところが現地引揚げの星小隊は既に平頂堡に到着して居り其報告によつて警官隊の安全確實となつたので午後三時着臨時列車にて全部歸鐵したが一時は頗る緊張した

牛心臺の賊團は 明に正規兵
痛ましい邦人犧牲者

【奉天】牛心臺事件に付十日同地より歸奉せる一邦人の話によると八日午前六時半頃本溪湖司法主任以下八名の殘留部隊で牛心臺派出所附近を警戒中突然九十名ばかりの長銃を所持せる賊團が押寄せ先づ牛心臺の派出所めがけて猛射を浴びせ續いて牛心臺驛にも同樣射擊を加へ更に保線丁場の住宅にも發砲し派出所と驛を燒き拂つたが八名の警戒でよくこれを擊退することが出來た賊はその際號令をかけて射擊をなしたこと、又彼等が逃走の際後衛を附し後尾を護りながら本隊を逃がした事、何物も得ず立ち去つた事等によつてこの賊團は全く正規兵であることが明に知られるがこれ等賊團のため拉去された復興公司員杉山義政氏と殉職した三名の警官三名の負傷者は全く氣の毒に堪えない

中島巡査の 經過良好

【鐵嶺】關家屯子に於て馬賊より支那槍を以て襲擊せられ重傷を負ひたる中島巡査は前田外科醫長の獻身的な手當と本人の豪氣によつて經過頗る良好で餘病併發せざる限り意外に早く全快する模樣であるが此報に接した中谷警務局長は中島巡査に對し金一封と見舞の電報を寄せて來た、因に中島巡査は原籍佐賀縣佐賀郡久保田村字德萬で未だ獨身である

殉職警官の 市民葬

【本溪湖】牛心臺に於て匪賊と交戰し名譽の殉職をなしたる本溪湖警察署巡捕長外二名の市民葬は九日午後二時より公會堂に於て執行された式場は舞臺正面に三個の靈柩を列べ關東廳警務局長滿鐵總裁林奉天總領事其他各方面より贈られたる數十の花環を以てこれを飾らし支那側より贈りたる無數の聯を建て列べ神官僧侶は日支各宗住職三十餘名に及び又た一般參列者は在鄉軍人會滿鐵會社煤鑛公司官

錦州政府を掃蕩
撫順市民大會の盛況

【撫順】我が滿洲の治安攪亂の本源錦州政權の徹底的掃蕩決行大演說會は冬氣迫る十日午後六時より撫順公會堂に開催された何分問題が問題であるだけ定刻前より愛國の念燃ゆる聽衆續々と押寄せ同十分頃はさしもの廣き公會堂も身動きも出來ぬ盛況

定刻まづ滿堂起立君が代再唱宮澤庶務課長開會の辭につぎ一義を見てせざるは勇なきなり」社員會小林太市「即時增兵の要」滿鐵軍分會長大橋三「彼の醜爲を屠れ」寄職撫順支部長高久肇「全滿日本人聯合會の經過報告」實業協會長田中廣吉「錦州政府を擊滅すべし」撫順新報社長窪田利平「痩我慢の說」撫順體育協會長石橋米一「斷乎として錦州を職ひされ」撫順青年團長紀井孟「これ斷の一字あるのみ」地委議長寺西幸之一「徹底的軍部を支援せよ」明文會松竹勝馬各氏の言々火をはく熱辯あり聽衆に多大の感動を與へた

次で左記決議文と決議電文を滿場一致拍手裡に可決十時近く散會した

……滿蒙の新政權既に確立し舊軍閥との關係を斷絕して庶政その緒に就けり學良自ら揣らず遂に僞政府を錦州に設け兵匪土匪を嗾して敢て皇軍に挑み……

昭和六年十二月十日　撫順日本人大會

次で左記電文を決議、外務省、陸軍省、軍司令部その他六十餘に打電即時實行を期す處あつた

大石橋の 市民大會

白鳳岐氏を伴ひ 憲兵隊に禮廻り
泉氏北滿日報を辭す

長春北滿日報編輯長泉廉治(四七)が我が名譽ある軍の名を惡用して無智な蒙古役人から金錢を恐喝し惡德惡性したことは既報の通りであるが滿日報社でも廉治の惡德を許すべからざるものであり彼が今日まで新聞の暴威を振してありッたけの惡辣を敢行さし十一日稲田社長は同社木者を通じて斷然廉治を社との關係を絕ち今後入社を認めぬことは勿論嘱託としての手不足と稱しての加勢方もせぬ旨を言明するに至つた廉治部分が兩手を擧げて喜ぶことは長春から葬ることは長春市民あるが殊に銀行會社官廳商店人等は相像外に快哉を叫んでゐること、思はれる然し北滿日報を彼が敵するとは云へ秋毫も恥ぬ名譽ある我軍部に着せた惡を當然法に照して裁斷されると

彼は白鳳岐をして信

呼出して日本軍の飛

十人組の强盜

【長春】特産物賣出しのため九日大屯へ來た農夫の話によれば八日午後七時頃大屯西南方約八支里懷德縣泡子沿農業賀某方に拳銃を所持した十人組の强盜侵入、主人賀某及びその妻を射殺し傭家人四名に對し銃創を負はせ馬四頭を强奪

街市中の有志婦人會等公會堂は全く立錐の地なく斯くて神官僧侶支那僧侶の順にて祭事讀經を終り祭主として植田署長の祭文は聲淚共に降り關東廳滿鐵守備隊在鄉軍人會地方委員等主脳者の弔辭ありて午後四時終了した

指導員負傷

【開原】昌圖縣公署指導員多々良丹信氏は十二月九日午後四時出張歸縣の際昌圖城近き谷間に於て匪賊の狙擊を受け大腿部に貫通銃創を被りたるも屈せず勇敢にも直に應戰し賊を擊退し一ト先づ縣公署に歸り十日開原病院に入院したが至つて元氣である主治醫の談によれば創は幸ひに骨及動脈に支障を認めずと

何れへか逃走したと

奉天に晝强盜

【奉天】九日午後二時半市内富士町五番地無職田東洲方に二人組拳銃所持の强盜侵入し留守居中の妻女を脅迫し金品强要中外來者のあるのに驚き威嚇發砲しつゝ一物も得ず逃走した目下奉天署に於て犯人嚴探中である

五勇士の遺骨

【公主嶺】チ、ハル地方の戰鬪に名譽の戰死を遂げし公主嶺駐劄騎兵第二聯隊吉澤中尉以下五勇士の遺骨は十一日午前十時五十八分當驛發の南行列車にて柴田軍曹外二士捧持多數官民參列拜禮嚴肅なる見送りをうけ離公した

遺骨出發

簑棒な流言蜚語
學良一派の惡宣傳で 支那ルンペンの脅威

【撫順】學良一派は東北人の人心攪亂の目的のもとに事實無根途方もない各種宣傳をなしつゝあるが亦復次の如きベラ棒な流言を各地に盛んに流布しつゝある、卽ち奉天方面は日本軍部戰地諸工事の爲人手不足の爲無職の中國人浮浪人を强制募集酷使足鎖を用ひ逃走を防ぎつゝある而して仕事が終ると是を射殺する爲今や奉天には正業を持つもの以外中國浮浪人は絕無となつた近く撫順本溪湖方面へも浮浪人狩りに行くから注意せよ云々

といふのである、この流言撫順に者連に大なる脅威を與へてゐる、も傳はりその眞相を識らぬ爲失職勿論右は事實寸毫もなき日本を

高女出の才媛が 奉天で酌婦稼業
何が彼女をさうさせた

美擧 無名氏の 警官に百五十圓

四聯隊の慰靈祭
六日長春にて執行

鮮人の兒童に 小學生の溫情

鐵嶺小學兒童自治會では……

消費組合の撤廢を陳情

奉天市民葬
戰死者の慰靈祭

三百圓を獻金

旅順の婦人會

【旅順】……婦人會は八日午後一時から市役所に於て開催の結果愈々新市街を二區に分ち篤志看護婦人會キリスト教婦人會に於て又舊市街一圓は十一區に分ち各宗教婦人團體に依り出動軍隊並に警察官に對する慰問金募集の件を決定せるが募集開始は十日より十五日迄の間に行ふ事と決し二時半散會した

寺前氏の葬儀

【奉天】三間房附近の激戰で名譽の戰死を遂げた陸軍通譯官寺前彌七氏の葬儀は來る十九日派遣通り大本教分院で營まれることになつた

鐵道中隊北上

【安東】六日安東を出發した汗濟鐵道中隊〇〇名は九日午後八時四十五分發の列車にて北上したが驛には官民多數の送迎者あつた

營口閉河近し

【營口】營口埠頭は愈々閉河近くなり入港船も五日出港の日昌號を以て最後としボンツン大型十個小型六個は去る二十五日引揚げライター六個も數日前既に撤去した

奉天の火事

【奉天】十日午後零時半頃北市場支那人宅より出火し十戶を全燒して二時頃鎮火したがこの騷ぎで支那人一名燒殺された

沿線往來

▲伊藤關東軍々醫部長　十日來奉
▲首藤滿鐵理事　十日赴連
▲山西同理事　十日漂奉北行
▲櫻井關東廳遞信局長　九日來奉
▲金井章次氏　同上
▲松隈秘書　十日赴連
▲小河原中佐(獨立守備隊步兵第一大隊長)南嶺の激戰に名譽の戰傷後公主嶺衛戍病院に入院加療中のところ內地で加療することゝなり十一日多數の見送りを受けて公主嶺出發十四日大連發……
▲生駒拓務省管理局長　一行五名と共に十日鞍山着各方面を視察

公主嶺

花街の不景氣

當市の柳界は奉天事變勃發と同時に軍隊の出動警察隊と共に出動した青壯年者の緊張に殆ど休業狀態に陷り各旗亭の營業主に對し同情に堪へぬものがあつた四圍狀況に小康を得た昨今漸く積極的に客足がつき愁眉をひらきつゝあるも亡年會の如きも鳴物ぬきの極めて質素なものとなり年の瀨の難關を氣遣はれてゐる一方市內敷島町に新開業の料亭が許可となりしまさ名一枚一本式で大向ふを張るべく近々內地より數名の美形を抱へ乘りお手輕安値所謂兵隊さん歡迎このことで一般不況の折柄殊に時局に際しての開業なので如何なる結果を齎すであらうかと花柳通の下馬評をそのまゝ

安東

の野にお國の爲め健闘しつゝある軍部と國防の爲と國防發充の爲さの獻金運動に十二日より着手した [illegible]

遼陽

[illegible]

奉天

見聞一束

▲若松騎兵第二聯隊長は去る七日午後七時より公會堂に於て故吉澤將校斥候と山田一等兵の奮戰昂々溪附近における激戰の講演會を開催聽者は場外に溢ふれた

▲同日午後一時奥發園に日支官民を招待盛宴を張つた刀圭術の權威者當地滿鐵病院長新井博士は昨年の本月市內春日町棧を襲ひ殘虐を極めた馬賊の逮捕に向ひ奮鬪腹部に貫通銃創をうけた孫巡捕の腸切斷の大手術により九死に一生を得た記念として支那側商務會長外多數官民より贈られた一視同仁と大書した美術を盡せる額面の奮禮であつた

▲九日の午前午後に亘り飛行機が二機不時着陸したこれは當地における未曾有のことで一機は大朝のもので一機は大每とあるが該機は大破損解體汽車便にて送ることゝなつた

奉天

醫大リンク開き

滿洲醫大では同大學グラウンドに理想的インドアスケートリンクを建設中の處今回一切完備したので十三日午後六時十五分から盛大なリンク開きを行ふと尚當日の種目は外人チーム對醫大ホッケー試合フイギュアー及びスピード、一般滑走等である

日本人大會

全滿日本人大會奉天本部では十一日午後四時から特別委員會を開催し席上十二日上京出發する上京委員をも參集せしめ上京運動の方法その他に關し審議する筈である

撫順

高女の學藝會

撫順高女第九回學藝會は十日午前九時より父兄一般多數來觀いと盛大に催された、定刻まづ植村校長の開會の辭につぎ全校生徒の校歌合唱午前午後を通じて三十三回に亘り齊唱自作朗讀、オルガン獨奏三重奏、手藝談話、童話家事實習英語會話等々各方面に亘つて行はれたなかでも最も喝采を博したのは四年辻トヨ子外八孃の三重奏「千山の秋」三年行德和子外六孃の史劇「出山の釋迦」四年野崎恭子外五孃の舞踊「タランテラ」卒業生山上ハヤ子、四年山上さよ子二孃のピアノ連彈「ミリタリーマーチ」「ワルツ」補習科全部の合唱「庭の千草」等であつた

同校學藝會も年と共に異常な進境を見せつゝある事は指導者並に生徒自體の精進の程も偲ばれる、斯くして午後三時冬に似合はぬ暖かな氣に全校を包み終了した

佛教婦人會

佛教婦人會、淨土宗、金光教、天理教、各婦人會の相連携して聯合

遼陽

婦人會の役員

遼陽聯合婦人會に加入せる團體は二十二の多きに達し會員總數九百七十一名で八日午後一時から各團代表者會が開催され多門師團長夫人を聯合會長とし各會當番幹事及び聯合會各係左の如く決定した

▲東本願寺婦人會六十八名當番幹事高木サシ子▲西本願寺九十名安藤ハル子▲福田寺五十名林トク子▲興國寺二十名本間ウメ子▲基督教二十五名松野晴江▲友の會十七名杵淵八重子▲金光教三十名佐々野トモ子▲郵便局二十名星野フヨ子▲處女會二十五名出雲房子▲警察婦人卅二名長山マサ子▲銀行十名大串ワカ子▲天理教卅名江口ハル子▲電燈公司十三名中村シツ子▲立正婦人會齋藤ハルエ▲倶樂部婦人會二百六十名田中ヒサ子▲居留民會婦人團廿四名細矢ミセ子▲將校婦人團四十名宮城經子▲白百合會六十名田中ヒサ子▲木曜婦人會十五名齋藤ハルエ▲青葉卅五名宮田チワ子▲滿紡四十五名玉木芳子▲社員會婦人部卅二名小野かの子▲記錄係宮城、細矢▲庶務田中、玉木、長山、中村、星野、松野、高木▲慰問係安藤、林、本間、佐々野、江口、高田▲會計大串、齋藤、出雲、計畫係杵淵、小野

遺骨遼陽出發

第二師團各部隊戰歿者の芳骨は十三日大連發ハルビン丸で故山に歸還と確定遼陽步兵第十六聯隊武者少尉以下四十四名の分も十二日午前八時四十五分發列車で北方部隊と共に出發に付在住者は當日弔旗を掲げて敬弔の意を表すると同時になるべく多數停車場に見送られたしと因に平井神職と町野東本願寺主任は越後新發田まで遺骨を見送ることになつて居る

關東長官招宴

本關東長官は十二日午前十一時四十分着列車で來遼正午から多門師團長天野旅團長を始め師團旅團の幕僚及滿鐵本聯隊長笹井衞戍病院長其の他を領事館に招待午餐會を催すと

鞍山

遺骨鞍山通過

北滿に於て戰死した第二師團管下の戰歿者遺骨は十二日午前九時廿四分鞍山驛通過に就き市民は多數驛頭に於て謹送せられたしと

十一月の人口

鞍山警察署管內十一月の總計人口調査表左の如し

	戸數	日本人	鮮人	支那人	計
鞍山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
立山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
千山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
湯崗子	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大孤山	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
櫻桃園	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

鞍山人口移動

鞍山警察署管內の十一月中人口移動を示せば左の如し

	日本人	支那人	計
出生	一七	一三	三〇
死亡	五	一	六

製鐵所工產品

鞍山製鐵所十一月中主要工產品統計左の如し

品目	數量
銑鐵	一八、九七〇、四〇七
燒結鑛	三一、五二七、〇〇〇
骸炭	二四、五一二、〇〇〇
粉骸炭	二、六八〇、三〇〇
硫安	三七〇、三〇〇
ピッチ	五三三、二九〇
タール	一、一四四、八六〇
特製タール	三三、七八〇
粗製ナフタリン	五〇、七九〇
精製ナフタリン	二六、五一〇
クレオソード	一九四、六九〇
ベンゾール	二一五、〇〇〇
耐火煉瓦	一八九、三一〇
硫酸	五一七、〇五〇
鑄鐵	三、〇三七、〇〇〇
日本酒	一〇石〇〇〇
高粱酒	三三二、〇〇〇

大石橋

青聯臨時總會

當地青年聯盟支部は昭和四年以來支部長幹事等殆ど轉勤異動等に依り全く有名無實の狀態なりしが時局の重大性を加ふると共に其の活動に期待する處甚大なるものあり全滿聯盟の趣意もある事故數日來同志間に於て協議の結果十日午後六時より公會堂に於て盛大裡に臨時總會を開催し左記の通り支部長顧問幹事の選擧を行つた

大石橋青年聯盟支部長愛甲直剛▲同顧問小林才治、平尾康夫、赤倉龜次郎、山下義明、齋藤準一郎、齋藤輪之助、日野熊雄の七名▲幹事豬之崎勇、前田龜吉、井上敏治、藤井正一、山下君藏、佐藤照、高梨源三、小林龍男、美座時省の八名

地委月例會

本日午後一時より大石橋地方委員第一回月例會を地方事務所に開催せり決議事項左の如し

議長小林才治氏は總てを統制し爾今部門を三門に分ち專攻委員左の通り定む

第一門　教育山下義明、衞生川西重作

第二門　產業(農商工)愛甲直剛、楠川益三

第三門　土木(公共施設)赤倉龜次郎、川村勝之進

而して月例會五日前に各門の意見を取り纏め協議事項として提出すべし

普蘭店

護國祈願祭

普蘭店婦人團護國祈願祭第一日の十日の朝は惠まれた天候で近來稀な無風狀態であつたので小さいお子達の手を曳いた婦人連續々南山社頭に參集九時半には既に九十餘人の多數を算するに至つた定刻三宅神官の司祭によつて嚴かに祭式修祓供饌祭文奏上あり次で東利夫人婦人團を代表し玉串を奉奠一同列拜午前十時嚴粛裡に無事第一日の祭典行事を終了した

驛員非常召集

交通狀況調査中殉職した伊東萬次氏の遺骸が十日午前六時七分普蘭店驛通過南下に際し普蘭店驛に於ては同五時三十分驛員の非常召集を行ひ非常時に於ける訓練をなすと同時に一同驛頭に整列して伊東氏の靈に對して敬弔哀悼の意を表する處あり夫れより全員南山の普蘭店神社に參拜護國の祈願を捧げて解散したが時節柄各自緊張した氣分で終始し召集通知後五分間にして全員漏れなく集合驛長の命令一下各部署に就いた其成績は誠に良好であり且效果的であつた

旅順

遺骨を見送る

十二日午後一時三十分旅順驛發列車にて離旅する步兵第三十聯隊井上大尉以下二十九名の遺骨に對し同日廳山助役は市を代表し大連迄見送りを爲し十三日大連にて催さる慰靈祭に際しては永山市長西野內藤兩市會議員は市民を代表し赴連參拜を爲すと

黃金臺

修養團旅順支部では十一日午後六時半から民政署倶樂部に於て向上會例會を開催「滿洲時局觀察談」中川第一小校長「修養團に就て」吉村第二中教諭の講演があつた

◇

豫て計畫中であつた旅大道路老座山隧道內三キロの電燈施設案は愈々實現する事となり近かく起工の豫定で竣工の上は五〇〇ワット五個が取付けられる

第二の反抗 (101)

三宅やす子　阿部金剛畫

女同士(五)

「氣を落さないでね。死ぬなんてほんとに、いつだつて死ねるんだわ」

佐枝子は、ついさつきまで自分が決心して居たことを、お靜に向つて止めだてして居るのだつた。

「ね。あたしも、あなたも不幸な女なんだから、一緒に考へませう力になりあつて」

「御親切にありがたうございます──あたし、奥樣のやうに、やさしく云つて頂くと、つひ、まだどうにかなるやうな氣がして」

「なりますとも──大丈夫よ」

「それに、今は、大事な人の形見を、生んで育てたい氣がして來ました」

「よかつたわ、それがいゝわ」

「でも、そんなこと、考へて見るだけで──第一、これからさき居るところもないし──父は私がこんな身體だと知つたら一日だつて置いてはくれませんし」

「ぢや、私んとこにいらつしやい」

佐枝子は何の心配もなく、云つてのけた。

「…………」

「今からでもいらつしやい。私の用をして貰ふつてことにして、人目に立つやうになつたら、東京にさう云つて、居場所を作つてあげるわ──」

それだけは──とお靜は、すぐに斷りが唇を洩れるのを、佐枝子の親切に對してどうしても云ひかねた。

「ありがたうございます、──でも」

「遠慮することは無いのよ。ほんとに私の自由になるのよ。私だつて、さうすれば、どんなに氣丈夫かしれないのよ」

「ほんとに、御言葉を無にするやうですみませんけど」

「あゝ、さう、うちぢや具合が惡いつて、いふの？」

佐枝子は、察しをきかせて

「お父さんが承知しないんでしよ。さうでせう」

「お宅樣には、いろいろ御厄介をかけてますさうで」

「だつて、そんなこといゝのよ。私が勝手にたのんで來たことにすれば何でもないのよ。私はこれから其位の自由はすることにしたんだから」

「實は──」

さうく何とか斷りの口上をつけなければならなくなつた。

「近所の人からお邸に御奉公に上るやうにつてすゝめられましたけれど、父がお斷りしたすぐあとなので」

「うちで？人が足りないつて云つたの？」

「世話する人の話では、そんな──」

「うちはほんとは女中は足りてるのよ、どうしたんでしよ。何かの間違ひぢやない？」

「…………」

「斷つたあとだつていゝこもよ。私が頼んで承知して貰つたつてことになれや、良人だつて何も云やしないわ」

「…………」

お靜は蒼い顏で

「父は明日、私を東京の方にやる約束をして、明日私を受け取りに──私は東京に連れてゆかれるんでしたわ」

お靜は明日に迫つたことを今更のやうに思ひ出して、さめざめと泣いた。

東北軍閥の掃蕩を決議し要路に電請
十日夜の非常市民大會

「兵匪の集團錦州政府を撃つべし」とのスローガンをかゝげた全滿各市の非常市民大會は十日夜を期して大連始め奉天、長春、安東營口その他各地に於て

一齊に開催されたが大連に於ける非常市民大會は在滿日本人時局後援會主催の下に時局大演說會を兼ね十日午後六時より敷島町歌舞伎座にかて開催された、時局を思ひ國家の前途を憂ふる市民は午後五時過ぎより會場に詰めかけ大連は勿論遠く旅順金州より來會するもの多く中には多數の婦人聽衆も混じり六時開會の際は文字通に滿場立錐の餘地もない程の盛況振りであつた、定刻主催者を

代表して實性確成氏開會の辭にかへて「聽衆の絶叫」と題して一場の演說をなし終つて小川市長の時局後援會各關係者全部激壇に現れ小川市長非常市民大會の開會を宣し市長自ら司會者となり本非常市民大會の決議案として左の如き決議文を朗讀し同時に右決議案を首相始め要路方面に打電すべきことを聽衆にはかり滿場拍手を以てこれに贊成かくて非常市民大會を終り直に非常市民時局大演說會に移つたが辯士交々立つて

錦州政府の非と國際聯盟の認識不足を鳴らせば全聽衆は熱狂的なる拍手を以てこれに答へ全市民の憂國の至情をこの一堂に集めたかの感を抱かしめ午後十時過ぎ盛會裡に散會した、なほ當夜の決議文は夕刊所報のものを一部修正したもので左の如きものである

決議文

滿蒙に於ける新政權は確立し庶政其の緒に就かんとす然るに錦州側政府は正規兵數萬と匪賊とを糾合せる大軍を編成して我關東軍に向つて公然挑戰行爲に出て常に東三省を攪亂し暴行掠奪至らざるなく逐次其の數を增加し今や奉天省城は包圍せらるゝの形勢にあり之を放置する時は滿洲は將に一大混亂の巷と化せんとす、此際我が皇軍は萬難を排し速に之れが禍根を絶滅するため錦州を中心とする東北軍閥を卽時掃蕩し以て滿蒙の絶對安全を圖るを急務とす

右決議す

旅順からも打電請願
市民大會の形式を以て

十日午前九時市役所に急遽招集された對時局旅順市民會委員會において協議の結果、當夜更に第二次非常市民大會を開催ぜる形式を以て左の如き電文を母國各要路者四十名に對し打電した

學良軍閥の餘燼錦州方面に集結して各地舊軍閥と通じ皇軍に對し挑戰行動に出づるのみならず匪賊より成る別働隊も亦其數萬に達し各地に出沒して脅掠略奪を恣にして東四省は無政府狀態に在り生民の困苦言語に絶す、願はくば速かに我軍隊を增派せられ錦州軍閥を掃蕩し新政府を擁護し以て治安を確保せられんことを請願す

下賜繃帶着奉

皇后、皇太后兩陛下下賜の繃帶は梶井陸軍省衛生課長が捧持して十一日午後一時着安奉線急行にて着奉、驛には軍部、官民その他多數の出迎へがあつた【奉天電話】

內鮮滿電話の開通を急ぐ
經費十萬圓を投じて
明春三四月頃までに完成

【東京十日發】內地鮮滿間電話連絡の必要は夙に唱道され內地の方は既に對馬迄完成してゐるが財源難のため擴張工事を中止してゐたところ、今回の滿洲事變で一層その急務が痛感されるに至つたので遞信當局は愈々是が非でも明年度豫算に於て對馬釜山間の工事を完成する事となつた、而して遞信省ではこれとは別に下關釜山間電信線を利用して電話連絡を圖るべく計畫中であるが、その通話試驗の結果其の成功は確實となつたので時局の重大性に鑑み對馬釜山間電話線の完成を待ち切れず愈々經費十萬圓を投じて右電信設備をなすに決し丹羽博士に委囑して明春三月中旬迄には工事を完成し遲くも四月には內地鮮滿間電話の開通を見る運びとなつた

決議文を朗讀　十日夜の非常市民大會

滿鐵の現業員慰問の金品
東京支社を通じて續々と寄贈し來る

【東京特電十日發】滿洲特產協會理事長、東京肥料協會々長松本新平氏は十日滿鐵支社を訪問し大淵支社長と會見の上左の主旨を以て金二百圓を滿鐵從業員にして戰線第一線に活躍する同志のため慰問金を贈呈する事になつた

今回日支事件以來滿洲軍隊並に滿鐵從業員の御奮鬪と御努力は滿蒙の治安に絶大の關係を有する吾人特產商として等しく深甚の謝意を表する處である、殊に第一線に活躍する滿鐵從業員に對して最大の敬意を表したい

また赤坂區の中西敏二氏外二名の區會議員は十日正午頃大淵支社長を訪問し金一封を持つて滿鐵從業員に對し感謝の意を表した、更に千葉縣白里水產農業補習學校より同校學生の成績品を一纏めとして滿鐵現業員の慰問の意を以てこれを寄贈したが滿鐵現業員に對する後援は日を追つて益々さかんになりつゝある

兵隊さんの慰問に
松林小學生が一生懸命
三十餘圓を貯金して十日獻金

松林小學校の兒童が組織してゐる自治會では時局に鑑み兵匪と酷寒に闘つてゐる出動軍隊に對し慰問金を贈る事となり、總會を開いた結果去月十四日以來いたいけな各會員は校內に募金箱を造り學業の傍ら家庭にあつて餓に靴磨きを始め或はお掃除を爲し走り小使ひ等をして調達した金を入れてゐたが締切りの十二月一日に役員の男生徒二人、女生徒二名立ち會ひ箱を開いて調べた處三十四圓八十九錢に達してゐたので十日市役所に出頭し軍隊慰問金として屆け出た、因に學校當局の調査した處によれば兒童の調査方法內譯は左の通りで軍隊ならずとも感激措く能はざるものがある

▲お部屋を掃除して二七▲神棚佛壇をお掃除して六▲お使をして一一四▲お炊事をして一八▲靴磨きをして（父その他家中の人の）四一▲兩親老人の肩を叩き四六▲弟妹の子守をして二八▲床敷き、ストーブ焚き、薪割等家事の手傳を始めて九二▲おやつの節約によるもの一一五▲電車賃を節約して三二▲子供デー活動をよしたもの一七▲手袋が古いので我慢する事にして二▲この月だけ雜誌をよして三▲その他小使を節約して三四▲貯めてあつた金で一六▲勉強したり良い點による賞金を六▲他家のお手傳によるもの三▲活動の札賣して一▲親類や兩親から貰つた金二〇合計六二一件

小學校は曾てない日本人的な感激の渦を卷き既報の如き聲明書を中外に發表し五項に亘る決議をなし大成功を收めたが、歸滿した一行を代表し小山貞一氏はサロンで大要次の如く語る

時局の生んだナンセンス
水上署高等係員大慌ての事

時局柄針の樣に尖つた水上署高等係員が慌てさせられたナンセンスもの、十一日午後埠頭構內を一名の店員風支那人が白革トランクを重そうに吊つて行くのを發見した水上署員は有無を云はせず本署に引致取調べると該トランク中より「敵國的日本」「中國經濟史」なんて云ふ排日文字を羅列した書籍がギッチリつまつてゐたのでさては目星に違はずと直にこれが本據を突きとめたところ何の事はない右は我が軍部滿鐵その他より見本として上海より排日書籍を購入したものでこれを持ち出さんとしてゐたものと判明、卽座に該店員劉某は釋放されたが時局柄一時は噂がされた

因緣の軸を床の間に飾つて
東京の郊外和田堀に
平安な落合隊長の留守宅

滿蒙の風雲いよ／＼急を告げ、○○電信隊と共に急遽出征した自動車隊々長落合忠吉少佐の留守宅を東京市外和田堀に訪れた。掃き淸められた淸楚な玄關の樣子も軍人の家族らしい

氣持が見える、刺を通じて、留守中の模樣をたづねれば孝子夫人と、少佐の叔父君須永少將とがニコやかに迎へて孝子夫人は次の如く語るのだ

廿九日に奉天に着いたと云ふ電報が參りましたきり、その後何の便りもございません。先達つて動員の命令が出ますともうすぐ出發でございました。餘り急だつたので、ゆつくり御話も出來ませんでした。出發の時は皆樣方の御見送が一杯で、私達は憲兵の方に賴んでやつと近づいて御別れだけ致しました。主人も皆樣方の盛んな御見送りに大へん感激しまして、非常に心强いと云つて出て行きましたそれから須永少將は流石に毅然として曰く

落合も元氣で御奉公してゐる事と思ひます

出發に際しましても苟くも輕率の行爲の無い樣に、君國の爲に捧げた體を充分に大切にする樣に申し渡した樣な次第です當人は家に居れば時々漢詩などをやつてゐましたが酒は親讓りで相當にやりますな今日、長男の廣一が入つてゐる岳東少年團（筑紫中將が名譽團長）にし、和泉小學校長が團長に於て皇軍の戰捷を祈る祈禱會があります

滿洲に出征するし、又シベリヤにも出征して武功を立てた猛將である。滿洲軍年志願兵として出征し、日露戰爭には君須永四郎少將も日露戰爭には

の話が出ると、須永少將は本庄軍司令官とは陸軍大學で同級だつたが其の頃から、あの人は秀才で光つてゐた、其の後支那語の學生の時又一しよになりましたが、本庄さんの明敏な頭腦、高潔な人格には我々等しく敬服して居る

と往時の追懷談をする、床の間には猛虎を描いた美事な軸がある、叔父が、日露戰爭に出征中かけたものだと云つて叔母が贈つてくれましたので早速かけて居ります

と孝子夫人にきくと

三人の愛兒があり、皆揃つて元氣である。殊に次男の治男君は、騎兵志願者であるといふ因緣ある軸である、落合少佐の家庭には長男廣一君（一）次男治男君（一）長女とし子さん（一）つまり

なか／＼の元氣ものである【寫眞後列右落合少佐、同左長女とし子さん、前列右から長男廣一さん、夫人孝子さん、二男治男さん】【東京特信】

戰爭に行くんだ」と頑張つたとか父君の少佐出征の際には「一緒に

皇軍慰問に支那人が獻金
京城在住の十五名が

【京城特電十日發】在滿皇軍に對する慰問は各方面からなされてゐるが京城黃金町二丁目石炭商三榮商會の支那人勞働者徐某ほか十四名は各自三十錢づゝ九圓を醵金し本町署に出頭し、「本國であんな騷ぎがある時こうして安心して仕事が出來ることは全く感謝に堪へません」と、僅少だが日本軍の慰問金の一部に加へて頂きたいと述べ係官を面喰はせたがその美しい心根に何れも感激した

居留民大會から滿洲代表等歸る
一致の結晶を土產に

在支邦人は一つに結束して……とのスローガンのもとに上海において去る六日開催された在支日本人居留民大會に滿洲より出席した時局後援會代表小澤太兵衛氏、滿洲靑年聯盟代表小山貞一氏、在鄕軍人代表西川宗太郎氏、滿鐵社員會代表粟屋秀夫氏等は打連れて十一日入港

大連丸にて歸滿したが、遠くは漢口、宜昌、南京、長沙、蕪湖、溫州をはじめ全滿各地より參集したもの實に六百名を越え、上海老靶子路中部日本

また新城子に匪賊團迫る
遼河を渡つて移動中

十日午後四時頃新城子の西北方二十支里の達連屯に約百名の匪賊現れ同村民約三十名は新城子に避難し來つたが、約一千名の匪賊は遼河を渡り河の東方に移動しつゝありとの情報に虎石臺守備隊は午後七時半の列車で主力を新城子に移し警戒中である、また不僣方面にも匪賊が遼河を渡り續々移動中のものあり奉天署では午後六時半鈴木部長以下五名の警官が新城子附近地警戒に派遣された【奉天電話】

諸木瑾に襲來

史家荒派出所員からの報告に依れば同地の西北約一里半に蟠居せる諸木瑾に約百名の兵匪來襲の情報ありこれが防備に就いて目下警備中である【奉天電話】

史家堡の籾を搬出
鮮農一同感泣

開原西南方約四里の史家堡には鮮人同胞數百戶あるが曩に兵匪の來襲を受け籾もその儘放棄し鐵道沿線に避難中のところ去る七日守備隊長田所中佐は大隊の主力を指揮し史家堡附近に到り兵匪を討伐したる後尾中尉の指揮する一個小隊を四日間同地に滯在せしめ籾二千石を鮮農の擁護をなし籾約二千石を鮮農に引揚げ掩護しつゝ、十日滿鐵沿線に引揚げた、南滿在住の鮮人同胞は毎度のことゝて關東軍の特別保護に對し感泣してゐる【奉天電話】

乘船客數を峻烈に取り締る
入港の日本船に對し

最近にいたり上海靑島天津をはじめ支那各港における日本船舶に對する公安局或ひは海關吏の執務振はとみに峻嚴の度を加へ殊に靑島の如きはデッキパッセンジャーにいたるまで一人々々デッキに列ばせその頭數を數へ上げた上萬一定員より超過の際はそれが理由たると嚴る不遜な態度をしめすのでで各船ともにこれがため迷惑を受けてゐる、右は滿洲事件に對する支那側の感情が手傳つてゐるものと見えて十日午後にいたり當地大汽本社宛靑島支店より今後は假令苦力といへど定員を超過せざる様辨法を設けられたしと依賴電があつた

忘年會費を獻金
福昌華工が三百圓を

福昌華工會社では日本人社員の決議により時局柄忘年會を取りやめこれが代りとして北滿各地に活動する軍隊に獻金すべく十日午後金三百圓を水上署高等係を通じて依賴があつた、右三百圓は百五十圓を軍隊に五十圓を滿鐵社の第一線に活動する人達に百圓を派遣警察官の慰問とするさ

滿洲で橫行する馬賊は人類の敵
英國武官シ氏視察談

【京城特電十日發】日支衝突事件の眞相調査を終へ歸東の途にある駐日英大使館附武官シムソン中佐は十日朝京城を

通過したが左の如く記者に語つた

滿洲へ視察に行つた事は頗る有意義であつた、視察の結果を素直に述べられぬのは甚だ遺憾であるが各地視察の結果最も深く感じたのは無政府狀態にある滿洲において日本軍が嚴然たる規律の下に如何に滿洲の治安に努力しつゝあるか同時にまた支那兵が如何に賴むに足らないかといふ事實である、兵匪馬賊の殘虐な事は眞に

想像以上で彼等こそ人類の敵であることを痛感した、滿洲の治安を維持するためには先づ馬賊を絶滅すべきであるのを十分に知つた、奉天で解散してから錦州へ行つたが物騷で步けなかつた、張學良が錦州にどんな兵備をなしてゐるかは不明だが錦州軍が東進して日本と衝突を起しても致方あるまいと思はれる

消息通

大會は六日に開かれたが非常な盛會であつた、殊に滿洲からは時局後援會の小澤氏が先發して居られたので非常に都合がよく滿鐵社員會の粟屋課長、在鄕軍人會同志會の西川大佐夫々その道の

消息通が集つてゐた事とて大いに面目が立つた、大會の空氣としてうれしい事が二つあつた、滿洲事件を單なる滿鐵の問題とせずに現國民政府の對日侮蔑橫暴政策が北には今日の事件を起し南には經濟絶交を激成したとの認識を持つに至つた事さ、大會は眞に全支日本人一致の結晶であつてローカルカラーが少しも無かつた事の二つである、これは政府に對しても外國に對しても心强い現象であると思ふ併し長江筋の人の認識の程度には自ら段があるそれは環境が違ふ故であらうそれは仕方ないと思ふが我々の論議により或程度の諒解を得た、それに意外だつたのは

大會の空氣が何となく重光公使不信任に向つた事で群衆心理とは案外正直なものである蔣介石氏の下野、廣東派の進出が今日邊り上海に着く筈だが何とも情報が入つてゐないかれ

技術協會例會

滿洲技術協會では十六日例會を午後四時半より大連ヤマトホテルで開催し滿鐵技術局長斯波三郎男の講演ある筈で會費は不要、尙十四日十二時より大連ヤマトホテルで富次素平氏送別會を開催するが會費は三圓

事故係で獻金

滿鐵鐵道部事故係員十五名は、時節柄亡年會及年末年始の禮を廢止しこれらの費用を醵金して軍隊慰問に獻金することにした

忘年園碁會

日本棋院大連支部では十三日正午より三河町筋同部において忘年園碁會を催すが賞は十等まで會費一圓五十錢

群小カフエー界に大きい刺戟と脅威を與へてゐる信濃町水產會社跡の大連會館も愈々十三日を以て開業披露をする運びとなつたので先日來大連署めがけて女給の願ひ出でが押しかけ、ここもと藤井保安主任は「女攻め」にあつてクタ／＼の態。

……◇……

はたの見る目は羨ましさうな役目でも當の藤井主任にして見れば原籍、現住所、經歷と微に入り細を穿つて調査の上いち／＼許否の印を捺さればならぬ、中には妻子ある男と同棲し男を養はんがため女給に出るもの、前科の前身を隱してゐるもの、內地で藝妓稼業中前借を踏み倒して逃走して來てゐるものなど千差萬別、こんなのには公安風紀上許可は出來ぬ、そうかと思ふと不幸な家庭の內幕を聞かされてついホロリと同情せねばならぬものなどもあり、三十人もの身元調べには全くグッタリ疲れたものださうな。

……◇……

ところで新輸入を看板にしてゐる大連會館の女給の色彩は內地直輸入は僅か二十人足らず、あとの數十名は市中のカフエーを轉々として步いてゐる顏馴染ばかり、これでは大連のカフエー戰線も女給サンだけにおいては大して異狀なしと見てよからう【カットは診斷縮のスタンプ】

曙の鐘（135）

倉田潮　河野想多畫

幸福（三）

新聞が廻つて來た。

約一と月分もある綴ぢこみだつた。上の一枚は殆ど讀めないほど手ずれがして、その三分の一はボロ／＼になつてゐた。が、春木とたえ子は寄りそつて、その新聞に眼を吸ひつけた。

大山家の事件は當日の夕刊に「大山剛太郎氏殺さる」と云ふ大みだしで詳しく出てゐた。犯人はまだ誰とも判明しないが、恐らく長男壯三の所爲だらうと記されてある。次日の新聞には昨日の中に壯三が逮捕されたが、彼は犯行を否定して、斧で打つたことは事實であるが、餘程加減して打つたので、その爲に父剛太郎が死んだなぞとは思ひも及ばないと申し立てたと報ぜられてゐた。しかし大山剛太郎の平常の素行には一行もふれてゐないし、たえ子や春木の名も出てゐない。犯行の原因は父子日頃の不和からで、當日の午前中父子は烈しく室の内外で爭論したが、剛太郎は已の居屋に子息壯三を入れることをかたく拒絕した。で、壯三は夜陰に乘じて、剛太郎の居屋の壁を斧で破り、そこから室内にちん入したと記されてあつた。壯三は犯行を否認してゐるが、司直も新聞も壯三の言葉を信じてゐないやうな書き振りである。

二人は待ちきれないやうに、次日の紙面をめくつた。何も出てゐなかつた。で、またその次日の紙面を、顫へる手でへがして見た。何も、一と言も出てゐない。更にその次日の紙面を……まるでたくんだやうに、新聞は三日目からこの事件に對してフッツリと口をつぐんでゐる。

警察の方から事件探索の都合上新聞に書かないやうにと頼んだのだらうか。それともこんな事件は世間にザラに起こるので、一二日の記事でもう澤山だと云ふのだらうか。とにかく今迄の、いや、綴じ込みにあるだけの新聞では、春木やたえ子は別に心配すべきではなかつた。名さへのつてゐないところを以てすれば、見當外れのけん疑なぞかかつてゐないと思つてもよい。

しかし、一度新聞を見ると、春木もたえ子も次日の新聞が見たくてたまらなくなつた。この村には二日に一度しか郵便の配達がないので、東京から取よせても三日前の新聞でなくては手に這入らないが、と云つて廻覽を待つてゐたのでは二十日に一度も見られないかもしれない。で、二人は新聞を東京から取りよせることにきめたが、剛太郎やよもぎにはいろ／＼世話になつてゐるので、木田良子に譯を話して秘密に新聞を送つてくれと云つてやることにした。

正月は目の前に迫つてゐた。宿の主人は毎晩遲くまで繩なひや藁あみをして良い年を迎へようとしてゐた。が、仕事にあきると時々二人の部屋へ遊びに來た。とは云へ、二人の身を察してゐるのか、そうとそれにはさはらないで、村の百姓の苦い話なぞをして歸つて行つた。この附近は草深い田舍なので、まだ小作爭議はないらしかつた。が、隣り村では既に「やらかしてゐる」と主人は話した。

また利根川に一丈ぐらゐの緋鯉がゐて、それが「川の主」だと云ふ話もした。或人がバケツ一杯のさなぎを川にすてると、川の主が三尺もある口を開いて、パクと一息にのんでしまつたとか、深い淵が紅く見えることがあるが、それは底に「主」が沈んでゐる爲とか――主人はそれをそのまゝ信じてゐるらしかつた。

春木はその話を眞面目に聞いてゐながら、自分もまた草の奥に深く埋まつてしまつたことをしみ／＼と思はせられた。しかも、川へ行く度に彼は時々「主」の姿を見やうと深い淵をのぞいて見るのだつた。

或る日春木が夕方散歩から歸つて來ると、たえ子が奥から狂つたやうに走つて來て、袂をつかんで彼を家に引きあげた。

「何うしたの」

と彼が訊いても、たえ子は返事もしないで手に持つた新聞を顫へる手先に差し出した。

滿日俳壇

寒の月　島田青峰選

大連　北斗
寒月や塔をめぐりて傾けり
戰跡の塹壕深し寒の月

大連　霧峰
橋走る鴨綠江や寒の月
冬枯の枝にかゝれり寒の月

長春　宮本峻岳
病院の窓を照しぬ寒の月
寒月や城門堅く閉されて

旅順　上倉木賊
寒月やことりと音す警邏函
驢馬の鳴く夜を白々寒の月

奉天　田中扇浦
泊り船並ぶ河口や寒の月

北翠
寒月に客待つ車夫の息白し

旅順　虛翠
寒月や木立の馬子の唄冴ゆる

新刊紹介

▲刀劍研究（第十二號）備前刀の銘の研究（川口陟）鐔の話（加州鐔金工）（大臥山人）秋風雜記（池畔生）刀劍鑑定會（平田生）僕の「初學講話」へ（三浦義邦）刀劍研究の一利用法（山陰生）價五十錢、東京市下谷區茅町二ノ三南人社
▲レコード（十二月號）價三十五錢、東京市神田區小川町四十一
▲新興佛教（十二月號）價二十錢 東京市外高田町雜司ケ谷龜原六〇佛旗社
▲偉人（クレマンソー傳記）價十錢、東京市本鄕區上富士前町五
▲つはもの（第三二一號）價四錢 東京牛込原町三ノ八つはもの社

けふの放送

大連 JQAK　十二月十二日

▲午前七時　ラヂオ體操
▲午後六時五十分　ニュース
▲獨逸語講座「テキスト第二十九課」大連語學校講師 荻榮
▲箏曲「冬の曲」　箏 富森大檢校、同 高木夫人
▲長唄「綱館」　唄 藤田夫人、三味線 杵屋六榮、同 池田夫人
▲映畫物語「岡軍次郎」　瀨愛好
▲職業紹介事項
▲天氣豫報
▲ニュース

東京 JOAK　十二月十二日午後六時卅分

▲時事講座「滿洲事變の推移」陸軍參謀本部陸軍少將 建川美次 ▲琵琶「新曲扇の的」永藤錦穰 ▲ヴァイオリン獨奏（一）ウンポコトリステ作品一七ノ三スーク作（二）アルレス歌舞曲作品一七ノ四スーク作（三）ジプシーの唄ドアオルザーク作（四）スラブ舞曲三ト長調（五）同一ト長調ドアオルザーク作（六）民謠四イ長調（七）我祖國よりスメタナ作、アレキサンダーモギレフスキー、ピアノ伴奏ナデジタロイヒテンベルク ▲連續浪花節「尾花丸」席一 早川辰燕

新年俳句川柳募集

◇俳句　課題「新年雜詠」五句以內、東京市牛込區若松町八一 島田青峰氏宛（滿日俳句と朱書の事）
◇川柳　課題「編」五句以內大連市能登町十高橋月南氏宛
◇締切　十二月十五日
◇賞金　俳句川柳とも天五圓、地三圓、人二圓づゝ

滿洲日報社

滿洲日報

發行人 鈴木
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武雄
大連市東公園町卅一番地 發行所 株式會社滿洲日報社

定價 一ヶ月 金一圓二十錢 郵稅 金十五錢 一部 金五錢
廣告料 普通一行 金一圓三十錢 特別一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算

滿洲問題こ 英外相の演說

【ロンドン十日發】英外相サイモン氏は國際聯盟協會午餐會において演說して聯盟理事會は全會一致を以て滿洲問題を解決し得る充分なる希望があるこ述べた

若槻内閣遂に總辭職に決定

(東京十一日發至急報)協力内閣問題に關する本日の臨時閣議で愈々總辭職に決した

異常なる緊張の裡にけさ緊急閣議を開く

【東京十一日發至急報】協力内閣問題で暗礁に乘上げた若槻内閣は愈々總辭職の最後決定を爲すため午前十時極度の緊張に達した首相官邸に召集され、九時三十分小泉遞相を先頭に渡邊、原、井上、南、安保、町田、幣原の順で何れも緊張の色を浮べ來邸、次いで十時二十分田中、櫻内兩相はそれぞれ民政黨の長老山本達雄男を訪問懇談の上來邸した、之で閣議不出席を通告した安達内相を除き全閣僚の顏觸れ揃ひ最終閣議は愈々若槻首相出席の上開會、凝議の結果總辭職斷行前、安達内相と會談今一度協議することゝし閣議は零時卅五分休憩した

内相に更に飜意交涉

【東京十一日發至急報】若槻内閣最後の態度を決すべき閣議は午前十時半より安達内相を除く閣僚出席若槻首相より昨十日富田幸次郎氏の訪問を受けて以來協力内閣問題の經緯特に安達内相の態度を詳述し

安達内相は昨夜十時歸邸後は再三の招致に應ぜず電話にて今朝九時會見の約をなしたるに今朝これを拒絕した、安達内相の意見はこれで極めて明瞭であるが、安達内相の態度に變改なき限り現狀維持不可能である、今日强ひて安達氏と會見するも昨日と同樣と思ふから閣内不統一の故をもつて總辭職の外なし

と述べ熟議の結果兎も角今一度安達内相と懇談し血路を開くこと、なり井上、田中兩相が安達内相を訪ひその協力内閣に對する飜意を求め安達内相若しこれに應ぜれば單獨辭職を促しこれを拒絕されたる場合總辭職決行との手筈を整へ各閣僚は辭表を若槻首相に提出し零時三十五分散會した

安達内相交涉を拒絕

【東京十一日發至急報】井上、田中兩相は午後一時十五分安達内相を私邸にとひ會見は一時四十五分終了したが、内相は協力内閣を飜意せざる旨述べ、交涉は決裂、辭職勸告に對してもその理由無くとの理由で拒絕した、尙内相の辭表は總辭職決定の上提出すると申し出で斯くて閣議は午後續開總辭職を決定した

與黨の態度を協議

總務會、政務官會議開催

【東京十一日發】黨出身閣僚側では十一日の定例閣議に先立ち、安達内相を加へた黨出身のみの閣僚會議を開催し、内相の最後的決心を聽取の上政府としての方針を決定することゝなつてゐたところ内相は今朝九時川崎翰長に對し表面出席する積りで昨夜御答へしてゐたが自分は身體の具合が惡いので今日の閣議には出席出來兼ねるから、若槻首相初め各閣僚にお傳へを乞ふ旨の電話があつたので、川崎翰長は直に首相に報告の結果、黨出身閣僚會議は暫く見合せ午前十時半より定例閣議を開會する一方、民政黨の態度決定のため午前十一時より丸の内常盤において緊急總務會を開催し、尙午前十時から首相官邸で緊急政務官會議を召集し態度につき協議した、なほ與

安定期待

貴族院側觀測

【東京十一日發】協力内閣問題具體化し政界は俄然重大化して來たが右につき貴族院側は左の如く觀てゐる

協力内閣問題に關し政府は遂に暗礁に乘上げた、歲末ではあり内外多事の際として非常な衝動を與へるを以つて一日も早く政局の安定を圖られればならぬ

政局速に

黨の風見章、杉浦武雄、川崎克、山田道兒、田中養達諸氏は今朝九時半麻布廣尾の自邸に安達内相を訪問し内相の意嚮を聽取した

後繼内閣の觀測

協力内閣說が有力

内政外交の難局に鑑み

【東京十一日發】若槻内閣の總辭職は決定的のものとなり後繼内閣がいづれに落着くか、政局は刻々微妙な空氣に支配されつゝあり、組閣の大命は西園寺公に御下問あるべく、過般の安達、久原兩氏の西園寺公訪問で相當諒解を求めたことは事實なので、時局多端の際激烈なる政爭を避け兩黨協力して政局に當る諒解の下に降下するものでないかとの觀測が政界有力者間に行はれてゐる、而して重臣、樞府、貴族院方面は内政、外交共に難局なれば單獨内閣では對議會關係において幾多の支障あり協力内閣待望の空氣濃厚で結局政權の落着きどころはこの邊と見られてゐる

大命再び若槻男に

降下を政府首腦部期待

【東京十一日發】協力内閣問題は一俄然政局を重大化し將來若槻内閣一は閣内不統一の責を負ひ總辭職を斷行する事は確定的となつた、後繼内閣に關しては政府首腦部は大命再び若槻男に降下するものと期待してゐる

久原、安達兩氏新黨樹立說

政、民分解作用を豫想

【東京十一日發】安達内相、富田一派は後繼内閣は高橋是清翁に降下あり、之により政民兩派の協力内閣が出來るものと確信して居る、同時に政友會より久原幹事長、民政黨より安達派が離脫し分解作用を起し新政黨を作つて新内閣を支援する事になるであらうといつてゐる、然し此場合新政黨に入るものは僅に議席の半數以上に達すべく議會の解散なくして政局を處理し得べしといつてゐる

黨出身各閣僚

今朝來奔走

【東京十一日發】井上藏相は十一日午前八時半青山に江木前鐵相を訪ひ財界諸般の關係から協力内閣の反對を力說し、午前九時過ぎ同じく江木前鐵相を訪問した櫻内商相と三人鼎座し善後策に就き熟議した結果、櫻内商相は更に午前九時半山本達雄男を訪問、また井上藏相は午前十時江木邸を辭し直に若槻首相を官邸に訪ひ、また田中文相は午前九時半山本達雄男を訪問し、原鐵相は同時刻に町田農相を訪ひ各閣僚それぞれ協議を凝らしてゐる

日支紛爭の解決には特殊の方法を執つた

ブ議長の結論英代表も贊成

公開理事會の議事

【パリ十日發】最終の聯盟公開理事會は本日午後四時四十五分(滿洲時間十一日午前零時四十五分)佛外務省に開會、芳澤日本代表は匪賊並にその他不逞分子討伐權を留保聲明した

支那代表の聲明要旨

次いで施支那代表は左の如き留保聲明をなした (十一日號外續き)

六、支那は中立國オブザーバー及び他の諸國代表の報告に關する現在の制度を繼續し且つ改善せんとする目的を諒承するものである

七、日本軍の鐵道地帶への撤退を期する本決議案に同意するに當り、支那は軍隊を鐵道地帶に維持する事に關し支那は從來の立場より決して讓步するものでない事は諒解されねばならぬ

八、支那は其領土的或は行政的保全に影響する政治的精神の紛糾を齎らさんとする一切の日本側の企圖を以つて誓約の明瞭なる侵犯行爲であると見做すものである

次いで英のセシル卿起つて理解ある態度で日本留保を支持し次ぎの如く述べた

余は日支が決議案を受諾した事を感謝するものである、日本は決議案の二項につき釋明されたが滿洲事態は極めて困難且つ例外的のものである、從つて日本人の生命財產が危殆に瀕する場合、日本軍は匪賊討伐の必要が生ずるであらう

而して事態回復すれば直ちに之を停止する事を明かにした事を多とするものである

次いでスペイン代表マダリアガ氏はセシル卿の言に贊成し述べて曰く

余はセシル卿と同感である芳澤氏の演說に深く感銘した、芳澤氏の言は決議と何等矛盾する所はない

ブリアン議長は次いで決議案を表決に附し十四國代表全員一致贊成した、時に五時十分、それよりブリアン議長は滿洲事變の發端より解き起し日支紛爭の全般的結論をなして曰く

理事會は撤兵につき何等期限を確定しないが、我々は可及的速かに撤兵の行はれん事を希望する、今回の紛爭は九ヶ國條約、聯盟規約並にパリ不戰條約にも關係あるが、極めて特殊的事情に鑑みかゝる特殊方法を執らざるを得なかつたのである今回の紛爭に對する聯盟の功績は戰爭に對する脅威を回避し戰鬪の脅威抑制に寄與した、今後事態の起る事は絕對に避けねばならぬ、又起らざる事を期待する權利を確實に有するものであると確信する最後に余はアメリカが理事會に協力した事を多とするものである

次いでセシル卿は再び起つてブリアン議長の結論に贊成演說を爲し次いでペルー代表ブラダ氏は何れの國家も他の國家に對し武力を以つて條約を承認せしむる權利を持たない又一旦他の領土を占領して直接交涉に入る事は畢竟武力の下に之が交涉を開始せんとするもので之亦正當でないと述べその他グアテマラ、ポーランド代表の簡單な演說に次ぎブリアン議長再び施肇基氏を驚き施代表は不戰條約聯盟規約が滿洲に適用されざるを不滿とし、更に錦州軍隊集結を否認し最後にブリアン議長の功績を讚へ斯くて波瀾重疊の第三次聯盟理事會も二十五日の後遂に幕を下した、時に午後六時二十五分

わが主張貫徹

萬事上首尾で愈よ終幕

【パリ十日發】本日の理事會公開會議は豫想通り徹頭徹尾日本の主張通り終結、一ケ月に垂んとする第三理事會々議の幕を閉づるに至つた、日本の主張は實質的に總て通り最後まで一の未解決問題として殘つた匪賊討伐權の問題も芳澤代表の留保條件に對しセシル卿とマダリアガ氏が好意的發言をなしたのみで小國代表も亦日本に都合宜しき發言をなさず萬事上々の首尾であつた

非公式會議

【パリ十日發】公開會議終了後更に非公式會議を開き本日の決議に基き調査委員の任命並に滿洲事態の進展に引續き接觸を保つべき件に關する取極めに就き種々協議した

調査委員會構成

兩三日詳細に協議

【パリ十日發】一月二十五日までの厄介な問題から開放された理事會各代表は早速昨夜パリ出發、歸國の途に就く事となつた、英代表セシル卿は明日パリを去る、一方起草委員會は今後兩三日パリに留まり調査委員の構成を詳細に協議を遂げる事となつた、英側は駐佛英大使チレル氏がセシル卿に代り起草委員會に出席する筈

米國決議案同意

ドーズ米代表言明

【パリ十日發】日支兩國を含む全員一致の贊成に法的效力を發生した理事會第三次決議案に對し米代表ドーズ氏も同意承認の旨言明した

員國代表はブリアン議長に對し同委員國政府に向け委員の人選を提案せん事を要請すべしと期待されて居る

調査委員任命協議

十二ケ國會議

【パリ十日發】公開理事會の後十二ケ國會議が開催し支那調査委員國を任命する事になる模樣で同委

ド大使歸還

【パリ十日發】ドーズ大使は午後三時ドラモンド氏と會見、日本の主張する支那軍を關内に撤退せしむる件につき協議したがド氏は今日中に解決の見込ありとし十一日正午當地發ロンドンに歸還の豫定であるといつて居る

奉天に着いた鐵道聯隊の一部隊(きのふ奉天驛にて)

内相民政黨を脫黨

同志八十餘名に上らん

【東京十一日發至急報】安達内相は民政黨を脫黨することに決定したもの丶如く郞黨は八十餘名に上るといはる

余の主張鐵の如し

閣議不出席の安達内相語る

【東京十一日發】所用と稱して十一日の重要閣議に出席を斷り麻布廣尾の自邸にある安達内相は左の如く語つた

我輩の主張は鐵の如き固い意志を以て今後と雖も終始する方針である、今日は病氣のため閣議には出席しなかつた

西園寺公の意中

犬養總裁說も傳ふ

【東京十一日發】後繼内閣は若槻男に大命再降下說、高橋是清氏に對する協力内閣說等行はれ居るが一面犬養政友會總裁への大命降下說が行はれてゐる、即ち西園寺公は國論一致には若槻内閣をして自信を遂行せしめたが可いと漏らした事あり、此點より園公に勅問ありたる時は憲政の常道よりして園公は政友會の犬養總裁に大命降下方を伏奏するのでないかとの見方である、然し園公は絕對に協力内閣を不可とするものでない、大勢には無理があつては可くない、政治勢に順應すべきものであるとの議論であるから協力内閣が大勢となつて來た以上、園公が强て之を阻止する事はあるまじく國事多端の場合國内の紛糾を避くるため議會解散、總選擧等を無くするため協力内閣の内容を以て新内閣を組織するに至るやう取計らはるのでないかといふのである

機を觀て學良下野

【天津特電十日發】當市各方面では反張運動日に日に熾烈となるので張學良は部下を處置し機を見て下野通電を發するものと觀てゐる

學良失脚近く天津動搖

【天津十一日發】奉天より當地に避難し來つた人々は年末に至るも事態斯くの如き狀態にあるので全國各團體に向け張學良攻擊通電を發した、一方學良失脚近きにあり當地では自宅に鐵條網を張つて警戒してゐるもの多數で、公安局より電工出張してこれを取除くも又これを張り直してゐる有樣で一般市民は如何に奉天軍を毛嫌ひしてゐるかゞわかる

吉林政府の交涉署

支那内政上の重大なる一轉機として成行は最も注目されてゐる

吉林長官公署に交涉署が設置されその署長に謝介石氏が任命され長春延吉にも公署辦事處を設置することになつた【奉天電話】

錦州軍依然戰鬪準備

錦州方面の敵は依然戰鬪準備を行つてゐるが十日皇姑屯に在つた枕木一千噸を戰鬪作業に使用のため大虎山附近に輸送した【奉天電話】

林總領事歸任

【東京十一日發】去月十七日外務並に軍部との打合せのため上京した林奉天總領事は十日午後九時四十五分東京驛發奉天に直行した

號外發行

聯盟理事會並に政局重大化に關し十一日號外を發行す

人事

▲豐橋陸軍教導學校一行山田梅二中佐外四名 十一日入港はるびん丸にて來連
▲林歌子女史(矯風會副會長)同上
▲久布白落實女史(同理事) 同上
▲第十師團管下在鄕軍人代表狩野育彥氏以下十二名 同上
▲加藤涌溫氏(日蓮宗社會課長)同上
▲平間壽本氏(滿洲開教司監)同上
▲橋本康平氏(旅順第十六驅逐隊主計長) 同上
▲船石晋一氏(滿洲醫大教授)同上
▲原田甲之氏(帝國在鄕軍人岡山縣後月郡聯合分會副長)同上
▲瓜谷長造氏(特產商) 同上歸連
▲池内滿清氏(檢察官) 思想事務視察の爲二週間の豫定で十一日出帆長春丸で上海へ
▲村上義一氏(滿鐵理事) 十一日朝奉天より歸連
▲首藤正壽氏(同) 同上
▲藤井準三氏(大連署保安主任)事務打合せのため十一日關東廳訪問

蔣、汪妥協成立說

【上海十日發】支那側の情報によれば廣東派中の汪精衛氏等改組派と蔣介石氏一派との間に妥協成立したと傳へられる、若し事實とすれば第九次全國代表大會で選ばれた執行委員の顏觸より見て蔣、汪兩派を合して過半數の四十名以上を占むる事となり、蔣、汪兩派の聯立政權が確立さるゝ事となり胡漢民氏一派が置き去りを喰ふ譯である

廣東側救國會議

汪氏の名で召集通電

【上海十一日發】廣東代表一行は十日着滬後孫科氏宅で汪精衛、鄒魯兩氏及び陳銘樞氏を交へて廣東四全大會の經過を報告し廣東委員入京は蔣介石氏下野を前提とする旨を告げ約二時間に亘つて協議したが何等決定を見なかつた、尙昨日附汪精衛氏は個人の名義で全國各級黨部政府及び民衆團體に宛て國民救國會議の召集を提案した電報を發したが、之は南京側で問題となつてゐる國難會議と同樣の性質を有するもので汪氏が南京廣東間を何とかして取纏めんと企圖せるものと觀らる

顧部長辭意固し

蔣氏の勸告に應ぜず

【南京十日發】顧維鈞氏は蔣介石氏の勸告を固辭し本日又辭表を提出したが、明日の國民政府會議では多分顧維鈞氏の辭表を承認に決するものと觀られ、顧維鈞氏の外交部長は三日天下に終る形勢である

蛇角

國際聯盟理事會決議案、幕内で練りに練つて遂に可決、大體日本の主張通り。

◇

國聯は何を得した、支那は普通國家の概念にはあてはまらぬ國である事、滿洲は世界の特殊地域である事、隨つて日支關係には第三者の立入り難きものである事を廣く世界に知らしめた。

◇

我芳澤代表は此處に全く男振りを揚げた、實際其功績たるや大。

◇

支那學生團の暴動愈々險惡、南京政府危殆に瀕す。

◇

蔣汪聯盟運動く、三民主義は花話る、内戰にも飽きた支那の今日、苦るしい蔣介石更生の策。

◇

東京方面暴風雨の兆。

『東亞の謎』休載

打倒國民黨を目標に國家主義青年團指導

胡漢民氏から資金を受けて擴大する學生運動

【上海特電十日發】學生運動の取締り彈壓に就いては政府はこの上の惡化を恐れて彈壓を差控へてゐる狀態であるが當局は施す術なく昨夜の眞茹驛の線路破壞等鐵路局側の學生阻止の苦肉策で濟南の砲彈列車爆發も同じ手段だと云はれる、而して學生運動今後の發展如何によつては內政上重大結果を齎すものとして注目されてゐるが、之が中心の指導者は北平及び上海地方に勢力を有する國家主義青年團で打倒國民黨を目標に廣東胡漢民氏から資金の供給を受け目下市黨會方面五十餘の公會と連絡をとり上海の全罷市を行ふ可く策動してゐると云はれ形勢は豫斷を許さざる模樣である

南京暴動化せん

北平濟南から四千七百名到着 要人の身邊を嚴戒

【南京十日發】濟南及び北平の大學生四千七百名は本日午後五時相ついで南京に着京し金陵、中央兩大學に分宿したが、途中我領事館前に於て先づ打倒日本帝國主義その他のスローガンを叫んで入京の挨拶代りの第一聲を擧げたが、明日からは南京學生も合同して更に大騷ぎを始むべく恐らく暴動化するに至るべしと豫想され人心恟々として既に國民政府各機關要人の身邊等は今夜から嚴重警戒され南京は學生運動のため全く恐怖の街と化した

日支問題の武力解決を叫びハンスト決行

日貨取扱者を罰する

【漢口十日發】當地學生は滿洲問題に對して無力なる國民政府の外交交涉を不滿とし一部のものは十日朝よりハンガーストライキに入り日支交涉は宜しく武力によるべしとなし募兵に應ずるといきまいてゐるが日貨ボイコットは更に猛烈となり沒收した日貨は一寺院に集めて監視を附し日貨取扱者はごしく罰してゐる、なほ漢口政府の山地山麓地帶は共匪旺に出沒し無警察狀態を呈してゐる

上海の各租界嚴重に警戒

けふの廣東記念日に大々的大示威運動說傳はる

【上海十日發】今朝まで市政府に集つて喊聲を擧げてゐた學生團は張群市長から公安局長陳其宗氏を逮捕三日以內に處分する旨の約束と學生の愛國運動を阻止せぬとの聲明を聞き又昨日行方不明となつた河南大學學生代表の身柄を引渡したので張群市長の意を諒とし凱歌を擧げて十一時すぎ全部解散したが、張群氏は右の事實を南京に報告すると共に責任を負つて辭表を提出した、一方學生團は午後二時から南洋大學內に大會を開催今次の事件並に之等の最後要求に對する蔣介石氏からの回答に就き審議をなしつゝあるが大擧赴京する事に決するだらう、なほ學生は昨日南京代表と北平代表を撲はんとした一味の一名を取押へ目下市政府側役人と學生團との手で取調べ中だが市黨部から使嗾された事を自白し居り學生の市黨部に對する感情は益々惡化した、斯の如く學生が運動を開始するに至つた裏面には當地にある汪精衛氏以下廣東一派の煽動もあると云はれ明十一日の廣東事件記念日を期して更に大々的示威運動が行はれるとの風說が傳へられ支那側始め各租界共特別警戒を行つてゐる

罷市を要求

市長各校長連袂辭任

【上海十一日發】市政府占領に勢ひを得た當地學生團は昨日交通大學で大中學緊急會を開き大學二十七中學四十三の代表二百餘名會合

上海市長の擁護決議

學生團打電

國際聯盟起草案拒絕を國府に電請する件等を討議し可決之を國府へ打電した、然し二十四時間に回答要求の電報に對する政府回答に對し大學側は之を不滿とし商工業罷市を要求するに反し中學校は政府回答に滿足し罷市に反對し茲に兩者の分裂となり形勢緊張を示したが結局中學側が說き伏せられて一先づ散會この問題は本日意見を纏め明日又聯合會で決定の事となつたなほ學生騷動の責を負ひ昨夜上海市長張群氏が再び辭表を提出關係各大學中學校長連袂辭職を提出し混雜を極む

【上海十日發】學生團は午前十時に至り漸く鎭靜に歸したが市長張群は南京政府に對し昨夜の騷擾の責を負ひ辭表を提出したこの報に接した學生團は緊急會議を開き「學生團の要求を容れた張群を擁護すべし」と擁護的決議をなしその旨國民政府に打電した

滿蒙平和の確保を打電請願

昨夜の奉天市民大會

全滿日本人聯合會本部主催緊急奉天市民大會は十日午後六時半より春日小學校講堂に於て開催された時節柄會場目ざして參集する市民會場に滿ち、先づ荻原氏の挨拶に次いで大會の決議文を朗讀し滿場一致贊成し、終つて錦州事件に關した大演說會に入つたが、荻原、青山、上田、鯉沼、吉田氏等を始め十餘名交々立つて熱辯を揮ひ大いに意氣をあげ、九時過ぎ散會した、なほ決議文は左の如くであるが、直に各關係要路に宛て六十六通を打電した

わが皇軍が遼西より撤退したる後、舊東北軍閥は數萬の正規兵を關外へ進出せしめ敗殘兵と馬賊を集結し之に金錢及武器を與へ、隨所に出沒して邦貨掠奪をほしいまゝにして我軍の守備區域を侵し我れに挑戰の態度に出づる等、不信義にして暴虐なる行動を執りつつあり、爲めにわが鐵道沿線並びにその附近は之が脅威を受け、極度の不安を感じ我軍警は之が討伐に憫めり、而して舊東北軍閥錦州假政府の存在を看過するは東北省の治安を維持するの途に非ず政府はこの際皇軍をして關外に掃討し、錦州假政府を徹底的に掃討し、舊東北軍閥を解消せしめ、以て滿蒙の平和を絕對に確保するの途を講ぜられたし、右奉天市民大會の決議を以て要望す【奉天電話】

軍隊慰問團來る

駐滿軍隊慰問のため第十師團管下在鄕軍人聯合支部では十四萬在鄕軍人代表として步兵大佐狩野育彥氏を團長として一行十三名が意氣頗る盛んなところを見せて十一日入港はるびん丸で來連した、また豐橋陸軍教導學校教官山田梅二中佐外四名は軍隊慰問のため十一日入港はるびん丸で來連した（寫眞上圖鄕軍慰問團、下圖教導學校慰問團）

三年修了の乙種商業學校に

市立商工學校の改革成案をけふ主査會議で協議

大連市政三大案の一つと云はれてゐる大連市立商工學校の問題に關しては廢校すべきか或は存續すべきかは市調查係に於て鋭意調查中であつたが、此程いよ〳〵成案を得たので十一日午後二時から主查會議を開き提案される事になつた

廢校は何時でも實行可能の事故別箇の問題として考慮し存續する事を前提として調查した者であるが存續するとすれば現在のまゝでは生徒數も尠なく從つて一人當りの經費も多額に上る割合には敎育的效果が尠ないので自然改革を必要として來るが調查後では學校以外の利用として婦人會、授產所學校として職業學校、工業學校等種々立案して見たが結局商業學校乙種三年修了を最適の案として結論を得た模樣である

なほこれに對し五年終了の說もあるも調查後において強て三年制としたのは年度を短縮し時代の趨勢に適せしめ一般商業智識を授け以て敎育の實際化を圖り實質的人物を養成し就職を容易ならしめんためで經費の點並に現學校の校舍および運動場の收容力をも考慮に容れての案らしい

右案による時は現校舍並に運動場が二百四十名の收容力あるを假定し現敎職員數を以て例へ二級を受け持たしめても何等の支障を來さないから二級制（一級四十名定員）を採る事とすれば豫算も一年度は從來と大差なく二年度は四級となるから敎諭二名を増員し三千圓三年度は六級となり敎諭十二名を要する故四名の増員を必要とするから六千圓を増額すれば足ると

滿鐵全社員が釀金し慰問

戰死者遺族傷病兵を

滿鐵社員會は同胞の生命財產並に權益擁護の犧牲となつた戰死者遺族並に傷病兵に對して適當な慰問方法を講じ感謝の意を表すべく研究中であつたが全社員が擧つて多少に拘はらず釀金してこれら遺族及び傷病兵に贈るのが最も效果的であらうと云ふに一致し近く社員會から全社員に通牒することゝなつた、釀金は本月の給料中から差引くもので月給の百分の一を一口とし一人數口を大體の標準として任意に口數を申出ることゝなつてゐる

健康の秘訣

風も引かぬ樣、身體を益々強くするには、一番大切です。誰方も朝夕一杯の「ごりこの」を召上つて身體の榮養をよくして下さい。

滿鐵忘年會中止

時局に鑑み內外共に

滿鐵本社では每年暮には滿鐵に關係深い官公吏、實業家、新聞雜誌社長等各方面の人士をそれ〴〵招待し盛大な忘年招待會を催す例となつてゐるが本年は中止すると、又社內首腦部の忘年會も時節柄中止すると

大連青年團慰問使

女子部も派遣

大連青年團では嚮て滿洲事變獻金募集をなした募集金が一千二百餘圓に上りこの際軍隊慰問使を派遣することゝなり同時に今回青年團女子部を創立し等しく代表を選み團長小野實雄氏引率のもとに一行十二名十二日夜十時大連出發、奉天へ赴き軍司令部へ獻金し歸途湯崗子の傷病兵を慰問し十四日朝七時歸連豫定である

喜んでお手傳ひ

林、久布白兩女史來る

滿洲における婦人團體の眞摯な活動は內地の婦人團體に反映してゐるが、この運動の應援と駐滿軍隊慰問のためキリスト教婦人矯風會副會長林歌子女史、同理事久布白落實女史が十一日入港はるびん丸で各方面婦人代表多數の出迎へを受け來連したが林女史は六十八歲の老齡にもかゝはらず恐ろしく齒切れのよい口調で沖まで出迎へた記者に語る

滿洲では今度各地婦人團が聯合して全滿婦人聯合會なるものを結成しこの大きな國難時に處して獻身的な運動を起されてゐるがこの運動は全く我々の意志とピッタリ合ひ是非出來ればお手傳ひしたいと思つてゐたところ同婦人團より來てくれと依賴を受け實は欣喜して伺つたものである【寫眞右林女史、左久布白女史】

新城子嚴戒

附近に匪賊團

虎石臺守備隊川島大尉は六十名を率ゐ十日午後七時新城子に到着、騰士屯八家子方面部落に三百名の匪賊來襲の報あり避難民續々新城子へ殺到せるため警官隊と共に附近の警備を嚴にしつゝあり守備隊は形勢により十四列車に搭乘歸隊する豫定である【奉天電話】

師走の聲は―警察の廊下から

金次第の年の瀨を越そうと急ぐ今年の總決算

師走のあわたゞしさは先づ警察署の廊下から醸出される、けふこの頃の大連署保安係は借金の說諭願、家出の搜査、藝酌婦の前借に女給の轉籍、さては慰問金やら貧困者寄附受付けで目の廻るやうな忙しさ、何んといつても地獄の沙汰も金次第の年の瀨をあと三旬に控へて不況に終始した一九三一年の總決算をしようといふのだから借金の說諭願が係官の机上に山積し、借りた方でも三分の理があると見え、喧々囂々の議論、越すに越されぬ年の瀨を控へて集金を搾逃げされ泣き面に蜂で搜査願ひを出す者、借金逃避の旅行が飛んだ家出のナンセンスを生むかと思へば、食ふに食はれぬ身許なき身をどうかして下さいと警察へ持ち込むルンペン藝やかそうに見える一流どころの姐さんが繰り廻そうにも僅かな前借を願出て花柳界の不況を裏書きするなどこゝも保安係には一番濃厚な暮氣分が彩られてゐる、また殺伐な司法係などそれは犯罪季節だけあつて飛拔け強盜、竊盜、詐欺の財產犯が不況に比例して激増し留置場は滿員九日の寺內通の強盜搜査に疲れた刑事連を惱ましてゐる「お陰で三日間妻子の顏を見ないよ」と疑問係は貸した金を返さぬ相手を詐欺で訴へたのや議會の不始末を刑事問題にした告訴狀が毎日十件以上提出され「年內にはとても片付かぬ」と四名の係官が喞つくのである

騎馬匪賊擊退

十日午後九時公太堡派遣隊の報告によれば車口甕子を掠奪中の約二十名の騎馬賊團と遭遇した警官隊は砲火を交へ一里北方に擊退したがわが方が被害なく馬二頭を鹵獲し零時引揚げた、なほ公太堡の北に銃聲頻りに聞へ偵察中である、目下附近に大好な頭目とせる五十の騎馬賊移動中である【奉天電話】

遼陽の大會

遼陽では十日午後六時半から公會堂に於て日本人大會を開き時局に關し左の宣言決議をなし直に政府當局並に各要路に打電し引續き有志の熱烈なる演說あり午後十時散會した【遼陽電話】

宣言

滿洲の新政權は既に確立し諸政その緒に就けり、而るに錦州政府は正規兵數萬及び馬賊を糾合し皇軍に挑戰行動に出で各地舊軍閥と通じ常に四省を攪亂し今や奉天省城包圍の形勢にあり、これを放置するに於ては一大禍亂を惹起せん、わが皇軍はこれが禍根を絕滅するため速に錦州政府を掃蕩すべし

決議

滿蒙平和のため錦州政府の擊滅を期す

日蓮宗慰問使

日蓮宗の駐滿軍隊慰問使本山蓮永寺住職僧正平間壽本師並に同宗社會課主事大僧都加藤通溫師は十一日入港のはるびん丸で來連直に大蓮寺住職松村詩顯師同伴市內各方面歷訪挨拶、數日大連及び旅順に滯在して戰歿者の慰靈供養をなし十四日大蓮寺において執行される滿鐵殉職者伊東萬次氏の葬儀にも參列の上奉天その他奧地駐屯軍慰問に向ふ筈

船中で座談會

十一日入港のはるびん丸は時局に刺戟されて軍隊慰問、傷病兵慰問のため宗教家、軍人その他多數を乘せて來たが十日船中においてキリスト敎矯風會林歌子、久布白落實女史步兵大佐狩野育彥氏日蓮宗社會課長加藤通溫氏等參集のもとに支那問題につき座談會を催した

共匪蒲圻襲擊

【漢口十日發】共匪軍二千は江西より湖北に侵入し武長沿線の蒲圻縣城（漢口の南約二十五里）を突如襲擊し新編十二師の一部も共匪に寢返つたので同地一帶は共匪の手に陷ちた武漢から一、二日行程の近距離なので武漢は俄に恐怖に襲はれて居るが行營は應急策として第四一師の一部を今朝急派し引續き對策攻究中である

方面委員總會

關東廳方面委員は十一日午後三時から滿鐵社員俱樂部に於て第四回總會を開き左記議案に就いて協議する

一、方面事業報告
二、歲末同情週間實施に關する件
三、入船に便宜取計の件
四、カード者に對する葬儀費特約の件
五、方面委員の請求に係る戶籍謄抄本の手數料に關する件
六、方面委員取扱慣例報告（第一方面中川委員、第二方面水井委員、第三方面福田委員、第四方面委員香宗我部委員）

天氣豫報　十二日
北西の風　曇後晴

各地溫度　十一日午前十一時　十日最低

	十一日午前十一時	十日最低
大連	三、七	零下五、七
旅順	二、六	同　五、七
奉天	同　八、〇	同　一三、六
長春	同　一一、五	同　一七、八

けふの小洋相場（正午）
金百圓は二一〇圓八五錢

雨から雪へ。。　けさ中央公園で

暗流阿修羅館 (269

生田蝶介
挿畫 藤井耕達

傾く大樹 (四)

「どうも、あの新左衞門が解せない」

意次は、どうもあの人物が疑問に思へてしかたがなかつた。

「怪しい奴のやうな氣がする。何時か、白晝忍術によつて近づいて來た。あの、私と上様との話を聞かうとした男は、確にあの男だと思ふが……また、あの丸八の大金の行方も、どうもあの男がやつたことのやうに思はれる。私の仕事の先へと廻つて、大仕掛で事をなして行つた……あの男がまた、今日ぬけ〳〵と一橋殿からあのやうな使者に來た。伴天連のやうな男だ」

それから意次は何か考へてゐたが、紙をのべて一本の長い書面を書いた。

そのあて名は、遠山左衞門殿、とした。

「あのやうな破目になつて、妙な睨み合ひになつてゐたが、新左衞門を調べ得るものは彼より他にはあるまい。このやうに辭を低うしたならば、あのやうに俠氣のある男、尾羽打ち枯らした私を氣の毒に思つてきつと來てくれるであらう」

小姓を呼んで、仲間に、この書面を屆けさせるやうに命じた。

「急いで……それから、要を呼べ」

小姓はかしこまつてさがつた。

やゝして、緞燼らしい若侍が來た。

「要か、其方のもとにはまだ佐々木周太郎のところから時々書面など消息なりがあらうな」

「はい、昨日も參りました」

「本人がゝ、書面がゝ」

「書面が」

「こんのいゝ男ですな、まだ山村氏を狙つてゐると申して來ました」

「わかるものか、もう一年以上にもなるのに、かすり傷一つつけることが出來ないといふ事があるが相當に腕も出來てゐながら、一圖にそれにばかりかゝり切つてゐて何といふことだらう、うまいことを云つてゐて、のんきに遊んでばかりゐるのであらう」

「さうでない容子でございます。山村氏は實に不思議な人物らしいので、なかなか手が出せないのでございませう」

「とにかく、あの男に私は逢ひたい、逢つてよくきゝたいことがある。何とかして、今日明日にこゝへ來るやうに云つてくれないか」

「殿様に、まだお目にかゝたことのないあの男ですから、殿様が直々にお逢ひになると云つたら、どの樣に光榮に思ふかしれません、それでは、すぐに探し出して、今明日のうちに連れてまゐるでございませう」

「さうしてくれ、しかし、もう傾きかけた田沼の柱だ、何が光榮に思ふものか、天下の大罪人ぢやからの」

意次は淋しさうに苦笑した。

要が去ると、

「父上」

と忠德が現はれた。

「おゝ」

と云つたが、意次、濟まない顏をして横を向いた。

「父上」

「何ぢや」

「暗うなりましたな」

「暗いな」

「灯をともしませうか」

「あゝ、つけてくれ」

「父上は泣いておいでゞございまするか」

「いや、別に泣いてはゐない。泣けないのぢや」

「最早、事、こゝに到りましたからには江戸にゐても詮りません。さうはお思ひになりませんか」

「私には、もう何もわからぬ」

「江戸から去つたらいかゞでございます」

キネマと演藝

三二年度のスター (二) 松竹は誰れ?

松竹はと見ると傳明一派の退社から多數新人の入社あり、まさに三二年度はこれ等スターが第一線に活躍する事であらう、蒲田は城多二郎は既に大物として賣り出され江川宇禮男、清水將夫、水上幸夫さては美濃部進の改名した岡讓二も更生してゐる、田子明も亦三二年の人となるであらう、女優軍は「生活線ABC」「麗人の微笑」の泉博子や絹川京子、音羽みゆきを斷然人氣ものにしようとある、この外霧島黎子、香取千代子、兵藤靜枝明山靜江、江木秋子の美しいところも大馬力をかけるところであらう下加茂は蒲田から移つた飯塚敏子が「唐人お吉」その他にいよ〳〵抜擢されて明年にはます〳〵輝くにちがひない「悲戀火焔塚」の井上久榮も亦賣出される、又右太衞門プロダクションでは大江美知子の外に春日陽子といふ美人を賣り出さうとして宣傳を開始してゐる

あす公開の 舞踊會 愛國舞踊上演

時局に振ひ立つた大連舞踊研究所の義捐舞踊會は明十二日午後七時から協和會館で開催される、柳木氏が自ら舞臺に立つのが人氣を集めてゐるがサキ舞踊研究所の田中佐々市氏も助演することになつたプログラムはいづれも精練せられたるもので殊に小野京子孃が主演する「守れよ滿洲」は子供心にも滿蒙の權益は守らねばならぬと云ふ堅い決心を表したものであり村岡樂童氏作の行進歌「振ひ立つ可き」は過日護國祈願祭に全市に高唱されたもので舞踊化されて一層愛國の血潮が高鳴るだらうと期待されてゐる、なほ座席券は午前中に引換られたしと

東活實演隊 沿線巡演 正月興行中に

正月第一週に大日活に上演する東活現代劇部男女優の實演「出征夜話」は大連打揚げ後直に旅順昭和園を振出しに奉天奉天館、長春演藝館、撫順黎明シネマを巡演することに決定した

觀世會納會

大連觀世會では來る十三日正午から同會にて納會を催すが、番組は左の如くである

▲素謠　葛城、橋辨慶、三輪、大江山、船辨慶、紅葉狩、鐵輪▲獨吟　三井寺、天鼓、龍太鼓、蘆刈、松風、放下僧、柏崎、輝丸、女郎花、富士太鼓、融、班女、鉢木、鐵輪、阿漕

故大山峯月の香奠返し献金

過日死去した前南座解說者故大山峯月氏の香奠返しは各關係者協議の結果、之を廢し金一封を軍隊慰問に寄贈した

噂話

東活實演隊の用件で奥へ行つた長大日活館主が大體沿線の日取を極めて昨朝歸連した▲これと入違ひに常盤座の小泉氏が内地へ正月興行の準備に急行した▲プランは內定してゐるが、二十日頃に到着する發聲機を待つて第一週のプロを決めるらしく▲第二週はどうやらレヴユウになる見込みで一切は小泉氏が内地に行つて確定してから發表すると計畫を秘してゐる▲またけふの船では小笠原雷音若ら十四日の船では中野帝國館主夫人が歸り▲更に同船で松竹の事務員が來るが、確定した正月プロを持つてゐる筈である▲南館主が大阪で内定して來た正月プロは第一週「生活線ABC」と「なげ節彌之」前篇▲第二週が「賢兄愚弟」と「なげ節彌之」後篇、第三週が「マダムと女房」と「眞理の春」である

買物ニュース

▲山内履物店　は年末謝恩として履物の一切を思切り大安賣をなし、表附五十錢均一、一圓均一等前例のない奉仕値段で提供するさ

▲滿壽屋モスリン店　は五日より月末迄モスリン類の破格提供でモス着尺二圓三十錢以上、モス友仙大巾十三錢より、平絹友仙半巾一丈一圓五十錢よりの最低値であるさ

▲柳本吳服店　は本年掉尾の大安賣として、本場銘仙三圓三十錢より其他格安品を景品附で大見切り提供するさ

▲白木屋洋服店　註文ハヅレ年末整理品の大見切大賣出しをなしてゐるが、品質が良くて、値段が安價なことは同店獨特の奉仕振ださ

▲伊藤吳服店　歳暮品の五分より五割引大賣出中で、特に八日から十錢マーケットを開き、人氣を高潮させてゐる

▲ラクダ屋本店　は子供服とオーバの陳列廉賣會で、新柄を豐富に、値段を破格にして提供してゐる

▲勝又洋服店　は既製洋服の全商品を福引附大賣出中で、註文品と相違のない良品を斷然最廉價で奉仕するので人氣が良い

▲野崎洋品店　歳暮贈答品を豐富に取揃へ大特價提供と銘打つて大馬力をかけてゐる

本社特選 新棋戰 (其八)

平手香交番 七段△溝呂木光治 六段▲山北孫三郎

【圖は三七歩迄の局面】△溝呂木氏「持駒」銀歩

▲山北氏「持駒」銀歩歩

△二三歩成 ▲三四銀
△二八飛 ▲二三銀
△七五歩 ▲二七歩
△五八飛 ▲四五歩
△七四歩 ▲八四角

【土居八段講評】△山北君の二三歩成は一見無益な手段の如くであるも敵に大事な銀を使はすことは……

羽根フトン專門 勝山洋行 連鎖街京極 電二三二八番

【萩原六段解說】山北氏の二三歩成は敵に三四銀と打たれて損の樣だが、敵に手駒を費さす意味である。續いて二八飛も、三三と、二四銀、同角と指しても自玉が飛車を持たしては薄いし、二九飛と打たれて惡いから二八飛と指したのである。山北氏の七五歩は二四銀と攻めても三八歩成があり敵の左翼は堅くなつたから六筋の位勝を利用して七三角を目標に攻めたのは大勢を見てよかつた。溝呂木氏の二七歩は同飛なら三八歩成を含んでゐる。續いて四五歩は敵の四六角出を避け、四四金と上る含みにもなつてゐるのである。意味に於て却つて安全第一の好手段である△而して今度は方針を變更し七五歩と突き、敵の防備の薄い七筋より大駒を壓迫の工夫を採つたのは良い。

米國シカゴ有名會社製 ナショナルサンスチール
超モダンタイプ 交流ラヂオ 一九三二年型驚異的優秀品
十一月三十日迄に申込の御方は二ケ年分聽取無料券差上ます 此他に五球、六球、八球、電氣時計付種々在庫品之有候
弊店發賣のラヂオは使用中故障が出來ても直に修繕が出來うる樣にさ再度使用にたへる樣製作されて有ます
氣電オヂラ澤谷 大連市磐城町電話六六六二番

液狀濕布劑 キソール
醫學博士 大久保先生　醫學博士 大平先生　御推奬
正しい濕布に
咽喉並に氣管支炎 肺炎・胸痛 神經痛・中耳炎・腫瘍等
凡ゆる濕布療法に應用して最も的確なる治療的効果を奏す
用法 「キソール」一〇瓦を一〇〇―二〇〇瓦の水又は溫湯を以つて稀釋しタオル其他の布に濕潤せしめて適度に絞り局部に纏絡して油紙又はゴム布を以つて被覆す
定價 二〇瓦入 一圓廿錢　一〇〇瓦入 五〇錢
全國藥店に販賣す
發賣元 松下商店　製造元 和光堂
X-02

巡査
內地及植民地の巡査志願者は本會行の巡査養成講義錄にて合格必勝られよハガキで申込次第會則及全試驗問題無代進呈す
東京巢鴨町二ノ三五 日本警務學會

溫い贈物 慰問袋に
ミカサカイロ
外出に家庭に 事務に旅行に 風邪の豫防ともなり 溫灸治療器ともなる
優美・輕便 （コンパクト形）
炭は銀色手につかず 保溫長時、立消へせぬ
（デパート、藥店、雜貨店にあり）
東京市日本橋區岩附町 株式會社 鳥居商店
Mikasa

スケートは大塚にキマッタ

獨逸ボーラー會社 滿洲一手販賣

政變氣構へにて諸株一齊に狂騰す

落ちつくさき尙ほはかりがたく 其後案外冷靜を保つ

【東京十一日發】政府は從來屢々不安を傳へられ政變氣構へは依然各市場に潜在してゐたが、十日夕刻より突如危機再來を傳へられ十一日の諸株市場は一齊に狼狽的狂騰を演じた短期新東は一躍十二圓方上放れ寄際鐘紡の親七圓二十錢、新六圓以下一齊に一、二圓から三四圓方昂進、綿糸八圓八十錢高、生糸五圓二、三十錢高、期米その他も前日より高値、なほ内閣の運命は本日の閣議の結果をみれば確實なるを得ず、後繼内閣また奈邊に赴くや測り難く一時狂騰の市場もその後案外冷靜を保つてゐる

大連各市場へ斯う響いた

内閣の動搖は歳末に直面した財界に一大衝動を與へると共に株式を首め各重要商品市場では早くも政變來に伴ひ金輸出再禁止の實施期近しとの觀察から買人氣爆發し相場は稀有の變動を示したが當地各市場の商況を示せば左の如し

けさ鈔票忽ち四圓内外暴騰す

鈔票般來、銀相場は汎く世界的にみて強氣材料一巡の觀あり、最近支那時局の惡化、ドイツにおける銀貨鑄造說、日本政局の不安など傳はるも當市においては依然として先安觀を見越すものが多かつたところ昨夜來、日本における政變來濃厚となつたため今朝忽ち鈔票の暴騰を見るに至つた、卽ち海外銀塊は倫敦近物先物とも十六分の七高、紐育二分の一高、孟買一留比八分の一高と大したことないが、上海標金は三兩四高の六八九兩に寄りたるのち日本政變氣構へにより急落を續け六六六兩まで落した、而して當市は上海市場より一層敏感に政變を案じて期近において昨止値より三圓十五錢高の五十二圓五十五錢、遠期において三圓二十五錢高の五十三圓丁度と三圓以上引離して寄付き一時利喰のため二圓臺を割りたるも買物の殺到やまず、一方追擊賣と新規買物凄く期近五十三圓二十錢、遠期五十三圓八十五錢と高値止めし昨止値に比ぶれば四圓内外の暴騰振りである、從つて商内も大いに彈み一千四百十三萬圓の巨額に上つた、而して目先は聯立內閣の出現が殆ど確定的とみられ加之首相候補が高橋氏なるのみならず、三土氏の藏相說も多分に豫想されるので必然的に金の輸出再禁止說と結び付けられなほ一段と高値を出現するとみる向きが多い

綿糸十圓高 當市は利喰急

十一日前場大阪三品市場は米棉堅物五ポイント高、先六、八ポイント高、印棉六七留比安と海外材料は區々乍ら內閣動搖の報を入れ早くも政變來から金輸出再禁止近しとみて當限は前日九十一圓四十錢から一氣に十圓高の百一圓四十錢中先各限とも八九圓攫みの猛騰を入れ當地商品市場の綿糸もこれにつれて各限とも八九圓方の急騰を示しマバラの利喰急ぎで相當手合せをみた

特産市場の各品低落

十一日前場の特產市場は銀價の猛騰を眺めて一齊に軟化したが仕手關係で下濫り大豆は二錢乃至四錢安、豆粕は一錢安、豆油は五錢乃至十錢安で何れも軟調を辿り高粱のみは五錢乃至七錢方の低落を示した、卽ち銀價の猛騰一濡りもなく崩れるかと思はれたが比較的冷靜であるのは仕手關係によるもので取引だけは相當の活況をみせた

經濟界動搖せん 井上藏相語る

【東京十一日發】今朝の新東氣配は協力內閣出現を見越し一躍十二圓高となつたが、政局危機の到來に際して井上藏相は十一日午前三時重要協議終了後左の如く語る

政變に依つて爲替相場その他經濟界に相當の動搖あるものと豫想されるが金輸出の再禁止を斷行するか否かは總辭職を行ふ時の情勢に依つて適宜に處置すべきものである

滿洲金融組合聯合會 旅順から大連進出

兼任理事長制を專任制に改めて 充分に機能を發揮

關東廳では十日附で來在滿中小商工業者唯一の小口金融機關として滿洲各地二十に達せる金融組合の資金調節の業務指導監督に當つてゐた關東廳內滿洲金融組合聯合會の兼任理事長制を專任制に改め、かつて鮮銀大連支店に勤務し興信銀行專務として活躍し前に大連金融組合理事長として斯界に重きをなしてゐる天滿善次郎氏を理事長に任命し同時に明春早々聯合會の大連進出を實施することゝした、右に關し關東廳瀬田財務課長は語る

金融組合聯合會は各金融組合の業務執行上の指揮及び監查をなすと共に其の資金調節を計るを以て職能となすものである、設立早々直ちに專任の理事長及び理事を置くことは經費その他の關係で許されぬので差し當り暫定的處置として事務所を關東廳內に置き理事長は財務課長が兼任して來たが最早創立後滿二ケ年を經過し尙所屬組合もそれぞれ順當なる發達を遂げ今や組合數三十に上り各組合の預り金は都市組合金勘定三十五萬圓、村落組合金勘定五十萬圓、小洋錢勘定七十四萬元、又その貸付金は都市組合金勘定百五萬圓、村落組合金勘定六十萬圓、小洋錢勘定八十萬元を數ふるにいたつたため聯合會の組合資金調節業務も追々增加して來ると共に各組合の發展及び財界の近狀に照らし組合に對する業務執行上の指導監查を適切周到ならしむる必要を痛感するに至つたので今度姑息なる官吏兼務制を廢し專任の理事長を置くこととなつたわけである、何れ遠からず理事以下の職員も充實した上、明春早々事務所を金融の中心地たる大連に移し、聯合會をして十二分にその機能を發揮せしめ、よつて以て金融組合の業務執行をして過誤遺漏なからしめ所期の効果をあぐる上に遺憾なからしむる次第である

農産物の輸入關税引上 全國的に反對だ

産業貿易の功勞者として表彰された瓜谷長造氏歸る

日本產業協會總裁伏見宮博恭王殿下より產業貿易の功勞者として表彰の榮譽を得、表彰御親授式參列のため東上中であつた特產商瓜谷長造氏は十一日入港のハルビン丸で歸連左の如く語る

今回の表彰者は內地四十一名、海外十名合計五十一名で出席者は二十八名であつた、二十七日午後四時より華族會館に於て表彰御親授式が行はれたが會頭藤村義朗男、副會頭阪谷芳郎男はもとより若槻首相、櫻內商相、町田農相外高位高官の來賓百數十名で先づ總裁伏見宮博恭王殿下から優渥なる令旨を賜り、若槻首相ほか關係大臣の答辭ありて後殿下より餐を賜つた

滿洲特產物の輸入關稅の引上げは政府案として愈々今議會に提案さるべき運命にあるので、自分は田村商議副會頭と共に大藏省當局を訪問、日本の必需品たるべき農產物の輸入關稅引上げの不可なる理由を力說して置いた、元來今回の引上案は農林省が農林保護に藉口して熱中してゐるが當の大藏省でさへ引上げたものには不合理であるとの見解を持つてゐる位だし、全國の特產商は一齊に反對の烽火を擧げる氣勢であり日本商工會議所も御承知の通り反對の決議をしてゐる

滿洲の經濟復興は匪賊を徹底的に掃蕩の上

首藤滿鐵理事歸連して語る

東三省官銀號顧問として事變以後の東北金融機關並に省政府財政の整理について專ら技術的指導と助言を與へつゝあつた首藤滿鐵理事は吉林、ハルビン方面の一般經濟狀態、特に金融機關の現況を視察中であつたが十日夜歸任し視察の感及び新政權の樹立後において當然具體的問題としてその實現過程が重大視さるゝ東北全省の幣制改革問題の前途につき左の如く語つた

吉林の永衡官銀號は事變前の狀態にまで復舊してゐるとはいへぬがハルビンに較べると政情も安定して居り順調に營業を續けてゐる、然し鐵道線路から十支里許り奧地に入ると匪賊の橫行が甚だしいので特產の取引搬出なんか思ひもよらぬといふ狀態にあつて、事變後の經濟的復興は先づこの各地に散在して掠奪を働く匪賊の掃蕩を徹底的に行つた上でなければ望まれぬことを痛感した、ハルビンは吉林よりも一層甚しく錦州方面の時局不安と黑龍江省の政情不安定から各種の金融機關が極度に警戒してゐるので一般商取引も不振を極めてゐる、黑龍江省の發券銀行であつた廣信公司の內容整理が今後問題であるが、萬福麟や馬占山が公金を持逃げしたとの說は大袈裟に傳へられた程のこともないから新省政權の確立に伴ひ漸次その機能を復活するものと思ふ、兎に角東北地方の眞の經濟的建設はこれから開始される譯であるが東三省官銀號、吉林永衡官銀號、黑龍江官銀號等の三省の發券銀行の資產整理內容充實はそのため出來る限り速かに完成しなければならぬ、これ等個々の發券銀行の確立をまつてそれを基礎に所謂幣制改革、東北地方の貨幣制度の統一といふが如き問題が實現の緒につく順序であるがそのためには今後における東北の政情安定が絕對的條件であることはいふまでもない

金本位制の惱と金爲替準備

(四) 金爲替準備の得失

金爲替準備の有つ意義や性質がどんなものであり、どういふ理由に基いて起つてきたかは以上大體述べた、ところが大戰後、大體において是認され重用されてきた此の金爲替準備が最近、殊に英大國が金本位制度を停止して以來、いろんな意味において論難される樣になつた、そこで進んで金爲替準備の主なる利益得失に觸れてみやう

◇

先づ金爲替準備の長所から初めると第一は之によつて戰後各國が、その貨幣價値安定の方法として、過渡的ではあるが金準備に代るものを現出したことである、一九二四年から一九二八年に至る四年間において急劇に金本位に還つた世界の大部分の國における中央銀行は、その金需要において劇しい競爭を惹起するだらうと思はれたが、金爲替準備によつて大いに緩和することが出來たのである

◇

第二の長所は金價値の期節的變動を制限したことである、卽ち金爲替準備の存在する限り、發券銀行の決濟するものは相互の間における支拂殘高の差額に過ぎない、而もこの制度は金請求權行使の延期を認むるから、金需要の變化に伴ふ期節的變動をも制限することが出來るのである、また金價値の安定を來せば當然物價安定に寄與することも少くない、されば金爲替準備の廢止は急劇な物價の變動を豫想されるので未だ責任の地位にある人々からは說かれてゐない

◇

次に金爲替準備の短所はどうか、その第一は金爲替準備が世界的に見て次第に增加し來り、また增加してゆく傾向があることである、蓋し金爲替準備の採用は世界市場において、戰前全く豫想しなかつた資金を生ぜしめた、そしてこの資金は世界經濟一般の發展よりも急劇な割合を以て增加してゆくといはれる、これはいふまでもなく通貨膨脹を助長するものである

◇

第二の短所は金爲替の性質が專ら短期信用的であるといふことから來る缺點である、一般にかくの如き短期信用資金は動もすれば、これを準備として發行する通貨をば膨脹せしめ易いといはれる、しかのみならず、かくの如き資金は多くは政府又は中央銀行によつて所有されてゐるため金利關係を無視して運用されることがあり、それ故勿論爲替相場の引上を迅速ならしめるやうなこともあるが、長期的又は世界的に見る時は益々物價調節を澁滯せしむるであらう

◇

第三の短所は金爲替準備思想の前提に難點があることである、卽ちこの思想は必然的に金中心地を重視することになるが、これは國際關係が平和に進行する間は問題ないが、一度混亂する場合は忽ち關係諸國にその影響を及ぼし、その結果は徒らに國內における金の蓄積思想を煽ることゝなるであらう、從つて金はその國際的移轉の自由を失ひ、折角、金節約の原則の下に立案された金爲替準備が、その本質を侵されるに至るからである

◇

金爲替準備の得失につき更に具體的に述べたいと思ふが、餘白が少いから茲には一例だけあげやう、佛國が一九二八年金本位制度を採用するや國內金融組織の特殊性と從來外國に逃避してゐた資本歸還とのために、海外にあつた金爲替は次第に本國に戾つ[illegible]卽ち一九二八年末において三一八億フランだつた正貨準備が一九三〇年八月には四六九億フランに激增してゐる、そして各國とも金の局部集中を警戒してゐたので、この金偏在に對し列國就中、英國の輿論の反對をうけたのはいふまでもない

◇

これはほんの一例であるが、これによつて理解されることは、金爲替準備は國際的に劣勢な國によつて行はれてゐる間は大した問題は起らないが、一度有力な國によつて運用される時は、その影響するところが大きいことである、かくて從來專ら樂觀視され有望視されてゐた金爲替準備は漸くその缺陷を暴露し、その將來に及ぼす禍根を次第に、理論上並に實際上論議されるに至つたのは當然だといはればならぬ

萬塵

◇…千丈の堤も蟻の一穴から崩れると言ふが況んや一黨の立役者副總理格の安達內相が協力內閣の大芝居を打つたのだから絕對多數黨の威力も一切空に歸せざるを得なくなつた。

◇…この報一度傳はるや東株・鐘紡株を首め諸株一齊に暴騰し商品市場も爆發銀市場も五十三圓臺に急騰するといふ有樣だ。

◇…現內閣のお家安泰が裏切られると共に我が國の金輸出再禁止氣運が愈々濃厚となつたからである。

◇…英國のやうに正貨準備が二割八分に低下してから金兌換停止を行つたので時期既に遲過ぎる。

◇…卽ち最近における爲替の慘落がこの事實を最も雄辯に物語つてゐる。

◇…我國も正貨流出の勢ひがますます甚だしくなつてからの金輸出禁止では財界は一層の苦患をなめなければなるまい。

◇…この意味においてどうせ再禁止せねばならない事態であれば政變によつてその時期が早められた方が結局よいことかも知れぬ。

混保大豆標準見本品査定會

本年度產混合保管大豆の標準見本品の查定會は來る二十日公主嶺農事試驗場で開催の筈だが特產三團體からはそれぞれ代表者が出席する

武安鮮銀支配人

武安大連鮮銀支配人は奉天出張中のところ十一日八時着列車にて歸連した

市況(十一日)

錢鈔 政變氣構へ當市暴騰

今朝海外銀塊は倫敦近物二十片十六分の五(十六分の七高)同先物二十片八分の三(十六分の七高)紐育二十九仙八分の五(二分の一高)孟買六十三留比十六分の九(一留比八分の一高)と躍りを報じ、一方上海標金は日本政變氣構濃厚のため急落した、而して當市は政變を專ら重視して暴騰した

特產 銀高を眺め一齊下押

今朝の定期は銀價の猛騰を眺めて一齊下押したが仕手關係もありて比較的に下濫りつゝ大引した

豆

今朝銀價の猛騰で各品共一齊軟化したが仕手關係で下濫りさしたる動きも見せなかつた▲勿論普通であれば一瀉千里もなく崩れる筈に決つてゐるのだがそうゆかぬ所が既に變態である▲現物大豆は油房六十車、華商二十車で八十車の手合、普通大豆は二車で福順厚の賣に西記の買物▲今年度產混保大豆の標準見本查定會は二十日開催の筈だが或は事變の關係もあり多少遲れるかも知れぬ▲例によつて特產關係者の視察旅行が行はれるかも知れぬ

銀

內地にて政變があるかも知れぬといふことが▲大分前から隱微の間に當市を壓迫してゐたが▲當市としては一寸不意討のかたちにおいて爆發してしまつた▲而も大體において大勢弱氣說が行はれてゐただけに怪我人が少からず出た▲目先き觀としては愈々政變があれば首相は高橋是清氏らしく三土氏の藏相も多分に豫想されるので▲

綿糸

ポイント先六八高を示し印棉は五六留比安と海外材料は平凡であつたが大阪三品は內閣の動搖にいよいよ金の再禁止近しとみてか期近十圓高中先八九圓方の猛騰だ▲異常な突發材料で急騰しただけにこのまゝ一本調子に立直る相場とはみられないが問題が問題だけに綿糸に對する相場觀も全然變へてかゝらなければなるまい

內地株猛騰 地場株旋り

北濱定期の寄は大株三圓五十錢高大新三圓八十錢高鐘紡十二圓高鐘新八圓七十錢高と猛騰し東京短期の東新は一氣に十二圓高の百三十圓臺に奔騰し當市は寄鼻七圓六七十錢高ながら引際十圓搦高に急騰鐘新大新も猛騰を演じて內地株はいづれも卽時計算となり地場株は二三十錢高の強保合であつた

株式

十二時 一 一〇九六〇 一
出來高 銀對金 百六十五萬三千圓 銀對洋 四萬四千圓

埠頭在高貨物

12月4日 (單位噸)

品目	本年ノ本日	昨年ノ本日
大豆 混保	178,437.0	79,468.7
非混保 黃眉豆	12,263.4	5,057.7
青豆	6,334.5	3,464.9
合計	190,034.9	88,591.3
小豆	4,352.8	4,193.3